

2009年業績目録

(2009年1月～2009年12月)

松本歯科大学

生物学

論文発表

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2009). Expression of HSP in dental root pulp cells due to experimental orthodontic mechanical stress. *J Hard Tissue Biol* 18 : 127-30.

学会発表

日本解剖学会学術集会 (第114回) 2009年3月
マウス顎下腺の形態形成過程における p63発現動態 : 松浦幸子, 菊田彰夫 (解剖学雑誌 84 : 130, 2009)

松本歯科大学学会 (第68回) 2009年7月
マウス顎下腺の形態形成過程における p63転写因子発現の免疫組織学的解析 : 松浦幸子, 宇都野創, 田所 治 (松本歯学 35 : 227, 2009)

35th ADEE Association for Dental Education in Europe meeting, August, 2009

The practice and approach toward dental students and dental faculty in Center for Excellence in Teaching and Learning : Okafuji N, Otagoto J, Semura E, Tomida M, Furukawa H, Masuda Y, Miyazawa H, Yoshizawa H, Kurasawa I and Hasegawa H (Program and abstract : 53, 2009)

日本動物学会大会 (第80回) 2009年9月
イソギンポ科3魚種における鰓の構造ならびにイオン輸送体の分布 : 小宮山牧子, 吉澤英樹, 清水則雄, 今野紀文, 松田恒平, 内山 実 (予稿集 : 99, 2009)

生息環境の異なるイソギンポ科3魚種における腎ネフロン構造と細胞膜輸体の分布 : 田中美沙樹, 吉澤英樹, 清水則雄, 今野紀文, 松田恒平, 内山 実 (予稿集 : 99, 2009)

日本組織細胞化学会学術集会 (第50回) 2009年9月

マウス顎下腺の形態形成過程での上皮基底細胞の核の配向と p63転写因子の発現 : 松浦幸子, 菊田彰夫 (第50回日本組織細胞化学会学術集会講演予稿集 : 102, 2009)

松本歯科大学学会 (第69回) 2009年11月
銀担持光触媒のう蝕原性レンサ球菌への殺菌効果 : 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 木曾有紀子, 大石真太郎, 宮下みどり, 柴田幸永, 吉澤英樹, 伊藤充雄, 藤村節夫 (松本歯学 35 : 331, 2009)

日本唾液腺学会学術大会 (第54回) 2009年12月
マウス顎下腺の形態形成と Aquaporin 5 の発現 : 松浦幸子 (日本唾液腺学会誌 50 : 23, 2009)

松本歯科大学推進研究費による研究

松浦幸子, 田所 治, 宇都野 創 : 唾液腺の形態形成過程での腺房構築における細胞の増殖と分化

田所 治, 松浦幸子, 宇津野 創, 井上勝博 : ラット耳下腺に分布する自律神経線維と腺細胞の相互関係についての免疫組織化学的検討

中野敬介, 川上敏行, 松浦幸子, 富田美穂子, Siar CH : 口腔腫瘍の細胞分化における形態形成調節因子の解析

化学

論文発表

Koide M, Kinugawa S, Ninomiya T, Mizoguchi T, Yamashita T, Maeda K, Yasuda H, Kobayashi Y, Nakamura H, Takahashi N and Udagawa N (2009) Diphenylhydantoin inhibits osteoclast differentiation and function through suppression of NFATc1 signaling. *J Bone Miner Res* 24 : 1469-80.

Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Nakamura H, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors *in vivo*. *J Cell Biol* 184 : 541-54.

Takahashi M, Mizoguchi T, Uehara S, Nakamichi Y, Yang S, Naramoto H, Yamashita T, Kobayashi Y, Yamaoka M, Furusawa K, Udagawa N, Uematsu T and Takahashi N (2009) Docetaxel inhibits bone resorption through suppression of osteoclast formation and function in different manners. *J Bone Miner Metab* 27 : 24-35.

その他の学術著作物

山下照仁 (2009) 海外文献紹介 : SIRT6 は、ヒストンH3の9番目のリジン残基を脱アセチル化し、NF- κ B に依存する遺伝子発現と生物の寿命を制御す

る. THE BONE 23 : 99.

学会発表

日本生化学会大会合同大会 (第82回) 2009年10月
P. gingivalis SODの金属寛容性を発現するアミノ酸残基の検討

三原正志, 大澤雅樹, 山倉文幸, 山田一尋, 平岡行博 (生化学 81 (臨時増刊): 258)

松本歯科大学推進研究費による研究

平岡行博, 大澤雅樹, 小町谷美帆, 三原正志: *P. gingivalis* スーパーオキシドジスムターゼの金属寛容性を発現するアミノ酸残基の検討

洞澤功子, 山下照仁, 上原俊介: 純チタン板上における新バイオ界面の形成-各種足場材料の検討とその固定法-

日本学術振興会科学研究費による研究

山下照仁, 高橋直之, 二宮 禎: 抗癌剤アクチゲニンの新しい骨吸収抑制機構の解明 (基盤研究 C)

溝口利英, 中道裕子, 山下照仁, 細矢明宏, 二宮 禎, 小出雅則: 骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明 (新学術領域研究・研究課題提案型)

物理学

著 書

江尻有郷, 田中忠芳, 興治文子, 長谷川修司, 杉山忠男, 並木雅俊 (編著) (2009) 物理チャレンジ2009・国際物理オリンピック2009年度報告書, 物理チャレンジ・オリンピック日本委員会, 東京.

有山正孝, 江尻有郷, 北原和夫, 金 信弘, 毛塚博史, 杉山忠男, 鈴木 亨, 田中忠芳, 並木雅俊, 長谷川修司, 波田野 彰, 原田 勲, 光岡 薫, 向田昌志 (分担執筆) (2009), 物理チャレンジ2009・国際物理オリンピック2009年度報告書, 39-40, 物理チャレンジ・オリンピック日本委員会, 東京.

学会発表

日本リメディアル教育学会関西研究大会 (第1回) 2009年3月

初年次学生に対する総合演習科目の実施と語彙量および数物系科目成績の推移: 田中忠芳, 瀬村江里子 (日本リメディアル教育学会第1回関西研究大会発表要旨: 17, 2009)

日本物理学会年次大会 (第64回) 2009年3月

医科歯科系初年次学生のための物理系教育Ⅲ-講義と問題演習および実験実習とを連携させた授業実践-: 田中忠芳, 増田裕次, 熊井俊文, 川原一郎, 小出雅則, 奥村雅代, 大島和成 (日本物理学会講演概要集第64巻第1号第2分冊: 407, 2009)

高等教育セミナー「ニューキャンパスシリーズ40 (通算428回)」(地域科学研究会高等教育情報センター) 2009年7月

全寮制型初年次教育の成果と挑戦~学生寄宿舎「キャンパス・イン」を基軸とした医療人としての全人教育~: 田中忠芳

日本リメディアル教育学会全国大会 (第5回) 2009年9月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築とe-Learningコンテンツの開発 I: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本リメディアル教育学会第5回全国大会発表予稿集: 53-4, 2009)

初年次教育学会大会 (第2回) 2009年9月

自己を知る試み-「良き歯科医師」への第一歩-: 瀬村江里子, 金銅英二, 増田裕次, 今村泰弘, 田中忠芳 (初年次教育学会第2回大会発表要旨集: 130-1, 2009)

日本物理学会2009年秋季大会 2009年9月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築 I: 田中忠芳, 大島和成, 増田裕次, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊 (日本物理学会講演概要集第64巻第2号第2分冊: 310, 2009)

大学初年次物理系教育のためのe-Learningコンテンツの開発 I: 鍵山茂徳, 田中忠芳, 大島和成, 増田裕次, 江尻有郷, 並木雅俊 (日本物理学会講演概要集第64巻第2号第2分冊: 310, 2009)

第40回国際物理オリンピック (メキシコ大会) 報告: 向田昌志, 浅井吉蔵, 江尻有郷, 北原和夫, 毛塚博史, 近藤泰洋, 真梶克彦, 杉山忠男, 鈴木 亨, 田中忠芳, 中屋敷勉, 並木雅俊, 長谷川修司, 原田勲, 光岡 薫, 山田達之輔 (日本物理学会講演概要集第64巻第2号第2分冊: 315, 2009)

第5回全国物理コンテスト・物理チャレンジ2009報告 I. 第1チャレンジ: 長谷川修司, 鈴木 亨, 江尻有郷, 山田達之輔, 種村雅子, 興治文子, 田中忠芳, 近藤一史, 増子 寛, 呉屋 博, 榎本成巳, 大山光晴, 小林雅之 (日本物理学会講演概要集第64巻第2号第2分冊: 315, 2009)

日本教育工学会研究会 (09-4) 2009年10月

大学初年次物理系教育のためのハイブリッド型e-Learningコンテンツの開発: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本教育工学会研究報告集 JSET 09-4: 45-8, 2009)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

田中忠芳：大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュール構築と e ラーニングコンテンツ開発 (基盤研究 C)

実践：岡藤範正，瀬村江里子，横井由紀子，岡田芳幸，足立忠文，倉澤郁文 (プログラム・抄録集 p 99)

言語表現

論文発表

瀬村江里子，赤地憲一，宮本祐子，望月紀子 (2009) 「言語表現 (英語) II」における 3 クラス編成の取り組み ～授業アンケートの結果から～. 松本歯科大学紀要 **38** : 207-14.

金銅英二，音琴淳一，瀬村江里子 (2009) 「医療人行動学 I・II・III」を展開して -人間性豊かな歯科医師育成に向けての取り組み-. 松本歯科大学紀要 **38** : 215-22.

学会発表

日本情報科教育学会第 2 回全国大会 2009 年 6 月
歯科医学教育における情報リテラシーと情報モラル：瀬村江里子，岡藤範正，倉澤郁文，加藤隆史，金山隼人，伊藤高志，松沢みわ子，兼宗 進 (講演論文集 p77-8)

35th ADEE Association for Dental Education in Europe meeting (Helsinki, Finland), August 2009

The practice and approach toward dental students and dental faculty in Center for Excellence in Teaching and Learning : Okafuji N, Otagoto J, Se-mura E, Tomida M, Furukawa H, Masuda Y, Miyazawa H, Yoshizawa H, Kurasawa I and Hasegawa H (Program and abstract p53)

初年次教育学会第 2 回大会 2009 年 9 月

自己を知る試み-「良き歯科医師」への第一歩-：瀬村江里子，金銅英二，増田裕次，今村泰弘，田中忠芳 (発表要旨集 p130-1)

日本リメディアル教育学会第 5 回全国大会 2009 年 9 月

学習者の意思決定によるクラス編成を行って：瀬村江里子，赤地憲一，宮本祐子，望月紀子 (発表予稿集 p101-2)

日本リメディアル教育学会 九州・沖縄支部大会 ITK-FUKUOKA 2009 2009 年 11 月

日本語力を測る・育てる-測りやすい力と育てる力-：たなかよしこ，野崎浩成，瀬村江里子，馬場真知子 (合同講演会論文集 p23-6)

日本歯科医学教育学会総会 学術大会 (第 28 回) 2009 年 11 月

歯学部初年次教育における「情報リテラシー」の

松本歯学 36(1) 2010

論文発表

Tanaka T, Okumura M, Iwata K, Himeno K, Tokizaki T, Yamada K, Okafuji N, Kurihara S, Iwakami T and Kondo E (2009) Gene expression in trigeminal ganglion neurons in temporo-mandibular joint inflamed rats. -Change in Transient Receptor Potential channels- PAINRES **24** : 147-58.

Tadokoro O, Kawahara IH, Vandevska - Radunovic V and Inoue K (2009) Distribution of epithelial cells and their relationship to immunocompetent cells in rat molars : a confocal and transmission electron microscope study. J Histochem Cytochem **57** : 315-25.

梅村恭伸，田所 治，宇都野 創 (2009) ヒト口唇腺の自律神経線維の免疫組織化学的局在について. 松本歯学 **35** : 8-16.

田所 治 (2009) 重複上大静脈と対性の奇静脈および右心室内の異常筋束が同時にみられた一例. 松本歯学 **35** : 17-22.

田所 治 (2009) 重複する下顎後静脈および総顔面静脈が同時にみられた一例. 松本歯学 **35** : 23-8.

Kawahara I, Koide M, Tadokoro O, Udagawa N, Nakamura H, Takahashi N and Ozawa H (2009) The relationship between calcium accumulation in osteoclast mitochondrial granules and bone resorption. Bone **45** : 980-6.

Tadokoro O (2009) Epithelial and PGP 9.5- immunoreactive cells of Malassez epithelium in the periodontal ligament of cats : A transmission electron microscopic study. Acta Odontol Scand **67** : 388-92.

三木 学，内田啓一，藤木知一，宇都野 創，黒岩博子 (2009) 抜歯後に縦隔部にまで及んだ皮下気種の 1 例 日本口腔診断学会雑誌 **22** : 317-20.

金銅英二，音琴淳一，瀬村江里子 (2009) 「医療人行動学 I・II・III」を展開して -人間性豊かな歯科医師育成に向けての取り組み-. 松本歯科大学紀要 **38** : 215-22.

学会発表

日本解剖学会総会・学術集会 (第 114 回) 2009 年 3 月

ラット歯周組織における上皮細胞と免疫担当細胞

の相互関係：田所 治，川原一郎，井上勝博（解剖学雑誌抄録集 84：179）

日本口腔顔面痛学会総会・学術集会（第14回）日本顎関節学会総会・学術大会 2009年7月（東京）

神経損傷によるアロディニアと遺伝子発現の変化に対する Gabapentin の効果：奥村雅代，金銅英二（プログラム・抄録集第21巻，P.38）

日本疼痛学会（第31回）2009年7月

神経損傷によるアロディニアと遺伝子発現の変化に対する Gabapentin の効果：奥村雅代，金銅英二（PAINRES Vol. 24, No. 2, P.65）

松本歯科大学学会総会（第68回）2009年7月

マウス顎下腺の形態形成過程における p63転写因子発現の免疫組織化学的解析：松浦幸子，宇都野 創，田所 治（松本歯学 84：179, 2009）

ORIGIN 神経科学セミナー（第11回）2009年8月

下歯槽神経切断モデルにおけるアロディニアと Gabapentin：奥村雅代，金銅英二（ORIGIN プログラム・抄録集 P.9）

初年次教育学会大会（第2回）2009年9月

自己を知る試み-「良き歯科医師」への第一歩-：瀬村江里子，金銅英二，増田裕次，今村泰弘，田中忠芳（発表要旨集 p130-1）

歯科基礎医学会学術大会・総会（第51回）2009年9月

ラット臼歯歯根膜における上皮細胞および免疫担当細胞の力学的負荷への反応：田所 治，川原一郎（J Oral Biosci 51 Suppl：144）

日本組織細胞化学会総会・学術集会（第50回）2009年9月

ラット耳下腺におけるデストリンの免疫組織化学的局在について：田所 治，井上勝博，金森孝雄（講演プログラム・予稿集 P102）

社団法人日本補綴歯科学会東海支部学術大会 市民フォーラム 2009年11月

知っておきたい“あごとお口の痛み”-神経や脳の変化について-：金銅英二（日本補綴歯科学会東海支部総会ならびに学術大会 プログラム・抄録集 P.10）

大阪口腔懇話会 特別講演（第30回）2009年12月

口腔顔面痛の諸問題 -神経や脳の変化について-：金銅英二

松本歯科大学推進研究費による研究

金銅英二：三叉神経節神経細胞の侵害刺激に伴うマイクロ RNA の発現上昇の解析。

田所 治，安藤 宏，富田美穂子，浅沼直和，宇都野 創，井上勝博：カエル味蕾を構成する諸細胞の機能形態の分類および副交感神経終末の関与についての免疫組織化学的検討。

松浦幸子，田所 治，宇都野 創：唾液腺の形態

形成過程での腺房構築における細胞の増殖と分化

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

田所 治：歯根膜上皮細胞-免疫担当細胞間の相互作用と，異質性細胞集合体の解析（若手研究 B）

口腔解剖学第2講義

論文発表

Hiraga T, Ninomiya T, Hosoya A, Takahashi M and Nakamura H (2009) Formation of bone-like mineralized matrix by periodontal ligament cells in vivo: a morphological study in rats. J Bone Miner Metab 27: 149-57.

Hiraga T and Nakamura H (2009) Imatinib mesylate suppresses bone metastases of breast cancer by inhibiting osteoclasts through the blockade of c-Fms signals. Int J Cancer 124: 215-22.

Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Nakamura H, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. J Cell Biol 184: 541-54.

Hirata A, Sugahara T and Nakamura H (2009) Localization of runx 2, osterix and osteopontin in tooth root formation in rat molars. J Histochem Cytochem 209: 397-403.

Narita N, Kobayashi Y, Nakamura H, Maeda K, Ishihara A, Mizoguchi T, Usui Y, Aoki K, Simizu M, Kato H, Ozawa H, Udagawa N, Endo M, Takahashi N and Saito N (2009) Multiwalled carbon nanotubes specifically inhibit osteoclast differentiation and function. Nano Lett 9: 1406-13.

Koide M, Kinugawa S, Ninomiya T, Mizoguchi T, Yamashita T, Maeda K, Yasuda H, Kobayashi Y, Nakamura H, Takahashi N and Udagawa N (2009) Diphenylhydantoin inhibits osteoclast differentiation and function through suppression of NFATc1 signaling. J Bone Miner Res 24: 1469-80.

Kawahara I, Koide M, Tadokoro O, Udagawa N, Nakamura H, Takahashi N and Ozawa H (2009) The relationship between calcium accumulation in osteoclast mitochondrial granules and bone resorption. Bone 45: 980-6.

Nagase Y, Iwasawa M, Akiyama T, Kadono Y, Nakamura M, Oshima Y, Yasui T, Matsumoto T,

Hirose J, Nakamura H, Miyamoto T, Bouillet P, Nakamura K and Tanaka S (2009) The anti-apoptotic molecule Bcl-2 regulates the differentiation, activation and survival of both osteoblasts and osteoclasts. *J Biol Chem* **284** : 36659-69.

Jimi E, Takami M, Hiraga T, Nakamura I, Urade M and Miyamoto Y (2009) The light and dark side of bisphosphonates. *J Oral Biosci* **51** : 177-87.

Hosoya A, Lee JM, Kim JY, Jung HS and Cho SW (2009) Expression of p63 during early craniofacial development of the mouse embryo. *Dev Reprod* **13** : 89-95.

Cai J, Cho SW, Ishiyama M, Mikami M, Hosoya A, Kozawa Y, Ohshima H and Jung HS (2009) Chick tooth induction revisited. *J Exp Zool B Mol Dev Evol* **312** : 465-72.

Cho KW, Cai J, Kim HY, Hosoya A, Ohshima H, Choi KY and Jung HS. ERK activation is involved in tooth development via FGF10 signaling (2009) *J Exp Zool B Mol Dev Evol* **312** : 901-11.

その他の学術著作物

細矢明宏 (2009) 歯根膜幹細胞を用いた歯周組織再生. *The BONE* **23** : 108-9.

細矢明宏 (2009) 歯髄を用いた再生療法の試み. *歯界展望* **113** : 1174-5.

平賀 徹 (2009) 歯の形態形成を制御する分子に関する最近の知見. *歯界展望* **114** : 610-1.

学会発表

日本解剖学会学術集会 (第114回) 2009年3月
軟骨膜, 骨膜に存在する Thy-1 (CD90) 陽性細胞の骨芽細胞分化能について: 中村浩彰, 雪田 聡, 平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎, 小澤英浩 (*Acta Anatomica Nipponica* **84** Sup : 138, 2009)

松本ボーンフォーラム (第8回) 2009年5月
軟骨膜 Thy-1 陽性細胞の骨芽細胞分化能について: 中村浩彰

36th European Symposium on Calcified Tissues, May, 2009

Localization of heparanase during palatal bone formation in palatogenesis in mice : Hirata A, Tsuji T, Ueno T, Yamada T, Imura H, Kagawa T, Matsu-mura T, Mishima K, Sugahara T and Nakamura H (*Bone* **44** Suppl : S 294, 2009)

日本歯科保存学会・春季学会 (第130回) 2009年6月

ヒト歯髄組織における Fibrillin-1 の局在に関する免疫組織化学的研究 -石灰化および細胞分化との関連性について- : 吉羽永子, 吉羽邦彦, 重谷佳見,

細矢明宏, 中村浩彰, 興地隆史 (プログラム抄録集 **62**, 2009)

日本骨代謝学会 (第27回) 2009年7月

歯胚形成期のビスフォスフォネート投与は歯の形成・萌出を生害し, 歯牙腫様病変を誘発する: 平賀 徹, 二宮 禎, 細矢明宏, 中村浩彰 (プログラム抄録集 **188**, 2009)

骨膜の Thy-1 (CD90) 陽性細胞の骨原性細胞としての役割: 中村浩彰, 雪田 聡, 平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎, 小澤英浩 (プログラム抄録集 **199**, 2009)

31st Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, September, 2009

Treatment with bisphosphonate during tooth development inhibits tooth formation and eruption, and induces odontomas : Hiraga T, Ninomiya T, Hosoya A, and Nakamura H (*J Bone Miner Res* **24** : S 225, 2009)

歯科基礎医学会学術大会 (第51回) 2009年9月

歯根膜組織の歯槽骨再生能: 細矢明宏 (*J Oral Biosci* **51** Suppl : 56, 2009)

骨芽細胞分化における SUMO 化修飾因子 UBC 9 の役割: 雪田 聡, 細矢明宏, 二宮 禎, 中村浩彰 (*J Oral Biosci* **51** Suppl : 81, 2009)

口蓋の骨形成過程におけるヘパラン硫酸とヘパラーゼの役割: 平田あずみ, 植野高章, 松村達志, 森谷徳文, 菅原利夫, 中村浩彰 (*J Oral Biosci* **51** Suppl : 123, 2009)

ヒト歯髄組織における Fibrillin-1 の分解が細胞分化および石灰化に及ぼす影響: 吉羽永子, 吉羽邦彦, 重谷佳見, 興地隆史, 細矢明宏, 中村浩彰, 小澤英浩 (*J Oral Biosci* **51** Suppl : 140, 2009)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

中村浩彰, 細矢明宏, 雪田 聡, 二宮 禎: 歯根膜組織幹細胞の誘導と再生歯科医療の可能性 (挑戦的萌芽研究)

平賀 徹, 二宮 禎, 小林泰浩, 細矢明宏: 骨髄癌幹細胞を核とする癌骨転移の成立・進展メカニズムの解析 (基盤研究 B)

平賀 徹, 二宮 禎, 細矢明宏: 造血幹細胞ニッチを介した癌の骨転移成立機構の解明 (挑戦的萌芽研究)

細矢明宏: 歯髄 SP 細胞を用いた象牙芽細胞分化機構の解明 (若手研究 B)

雪田 聡: SUMO 化修飾の調節による歯根膜細胞から骨芽細胞への分化制御 (若手研究 B)

小林泰浩, 平賀 徹, 高橋直之, 山下照仁, 溝口利英: 矯正治療への応用を目指した Wnt5a による歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明 (基盤研究 B)

二宮 禎, 平賀 徹, 小出雅則, 中村浩彰: 硬組

織形成における組織幹細胞微小環境の解明 (基盤研究 C)

溝口利英, 中道裕子, 山下照仁, 細矢明宏, 二宮禎, 小出雅則: 骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明 (新学術領域研究: 研究課題提案型)



論文発表

Hashii K, Tomida M and Yamashita S (2009) Influence of changing the chewing region on mandibular movement. *Australian Dental Journal* **54**: 38-44.

Murayama K, Sonoyama M, Terada T, Yokoyama Y, Nara M, Tomida M and Matsuda S (2009) Bisphenol A Weakens Calcium Binding Affinity of Sites III and IV in C-Terminal Domain of Bovine Brain Calmodulin. *Chem. Lett.* **38**: 1062-3.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar C-H and Kawakami T (2009) Expression of HSP in Dental Root Pulp Cell due to Experimental Orthodontic Mechanical Stress. *J Hard Tissue Biol* **18**: 127-30.

富田美穂子, 林 基弘, 石丸純一, 川上順子 (2009) 三叉神経痛に対するガンマナイフ治療. *口科誌* **58**: 1-6.

沼尾尚也, 山下秀一郎, 笠原隼男, 富田美穂子, 浅沼直和 (2009) 味の広がり認識するのに必要な咀嚼回数をもとにした新たな味覚検査法の確立. *日本補綴会雑誌* **1**: 378-85.

学会発表

IADR 87th General session & Exhibition, April, 2009

Newly Designed gustatory test based on progress of mastication: Kasahara T, Yamashita S, Numao S, Tomida M and Asanuma N

36th International congress of Physiological Sciences, July, 2009 Reducing effects of additional sensory stimuli on perception of pain.: Tomida M, Yamashita S, Onozuka M, Hirano Y, Tachibana A, Ando H and Asanuma N (Program 178, 2009)

35th ADEE meeting, August, 2009

The practice and approach toward dental students and dental faculty in center for excellence in teaching and learning.: Okafuji N, Otogoto J, Semura E, Tomida M, Furukawa H, Masuda Y, Miyazawa H, Yoshizawa H, Kurasawa I and Hasegawa

H

日本口腔科学会学術集会 (第63回) 2009年4月
クラウン, 義歯およびインプラントの治療費に関するアンケート調査: 中村浩二, 富田美穂子, 中村弘之 (プログラム・抄録集317, 2009)

松本歯科大学学会 (第68回) 2009年7月

三叉神経因性疼痛モデルによる冷痛覚過敏の解析: 浦野浩子, 尾崎紀之, 杉浦康夫, 富田美穂子, 浅沼直和

日本神経科学大会 (第32回) 2009年9月

三叉神経因性疼痛モデルによる冷痛覚過敏の解析: 浦野浩子, 尾崎紀之, 杉浦康夫 (*Neuroscience Research* **65**(suppl) S215, 2009)

松本歯科大学推進研究費による研究

浦野浩子, 浅沼直和, 金銅英二, 富田美穂子, 奥村雅代, 中村貴美: 歯髄炎モデルによる痛覚の解析-TRPチャンネルの関与と役割-

中野敬介, 川上敏行, 松浦幸子, 富田美穂子: 口腔腫瘍の細胞分化における形態形成調節因子の解析
田所 治, 安藤 宏, 富田美穂子, 浅沼直和, 宇都野 創, 井上勝博: カエル味蕾を構成する諸細胞の機能形態的分類および副交感神経終末の関与についての免疫組織化学的検討

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小野塚 実, 富田美穂子, 久保金弥, 兼松雅之: 口腔ケアによる高齢者の認知機能回路の賦活と再生 (基盤研究 B)



論文発表

Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Nakamura H, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. *J Cell Biol* **184**: 541-54.

Kobayashi Y, Udagawa N and Takahashi N (2009) Action of RANKL and OPG for osteoclastogenesis. *Crit Rev Eukaryot Gene Expr* **19**: 61-72.

Narita N, Kobayashi Y, Nakamura H, Maeda K, Ishihara A, Mizoguchi T, Usui Y, Aoki K, Simizu M, Kato H, Ozawa H, Udagawa N, Endo M, Takahashi N and Saito N (2009) Multiwalled carbon nano-

tubes specifically inhibit osteoclast differentiation and function. *Nano Lett* **9**: 1406–13.

Takahashi M, Mizoguchi T, Uehara S, Nakamichi Y, Yang S, Naramoto H, Yamashita T, Kobayashi Y, Furusawa K, Udagawa N, Uematsu T and Takahashi N (2009) Docetaxel inhibits bone resorption through suppression of osteoclast formation and function in different manners. *J Bone Miner Metab* **27**: 24–35.

Uchiyama M, Nakamichi Y, Nakamura M, Kinugawa S, Yamada H, Udagawa N and Miyazawa H (2009) Dental pulp and periodontal ligament cells support osteoclastic differentiation. *J Dent Res* **88**: 609–14.

Koide M, Kinugawa S, Ninomiya T, Mizoguchi T, Yamashita T, Maeda K, Yasuda H, Kobayashi Y, Nakamura H, Takahashi N and Udagawa N (2009) Diphenylhydantoin inhibits osteoclast differentiation and function through suppression of NFATc1 signaling. *J Bone Miner Res* **24**: 1469–80.

Tomimori Y, Mori K, Koide M, Nakamichi Y, Ninomiya T, Udagawa N and Yasuda H (2009) Evaluation of pharmaceuticals with a novel fifty-hour animal model of bone loss. *J Bone Miner Res* **24**: 1194–205.

Luiz de Freitas PH, Li M, Ninomiya T, Nakamura M, Ubaidus S, Oda K, Udagawa N, Maeda T, Takagi R and Amizuka N (2009) Intermittent PTH administration stimulates pre-osteoblastic proliferation without leading to enhanced bone formation in osteoclast-less *c-fos*^{-/-} mice. *J Bone Miner Res* **24**: 1586–97.

Kawahara I, Koide M, Tadokoro O, Udagawa N, Nakamura H, Takahashi N and Ozawa H (2009) The relationship between calcium accumulation in osteoclast mitochondrial granules and bone resorption. *Bone* **45**: 980–6.

その他の学術著作物

中道裕子, 小林泰浩, 宇田川信之 (2009) RANKL/RANK/OPG システムと骨吸収性疾患. *細胞* **41**: 312–5.

中村美どり, 中道裕子, 中村浩志, 宇田川信之 (2009) 破骨細胞の形成と骨吸収. *日本臨床* **67**: 889–96.

中村美どり, 宇田川信之, 上松隆司, 下平滋隆, 田原秀晃, 脇谷滋之 (2009) ヒト自己培養骨髄間葉系細胞移植を用いた歯槽骨再生の可能性. *THE BONE* **23**: 303–9.

小出雅則, 宇田川信之 (2009) 炎症性骨吸収における破骨細胞. *腎と骨代謝* **22**: 33–41.

特別講演

Bone Forum in Hanno (第4回) 2009年1月
破骨細胞の分化と骨吸収メカニズム: 宇田川信之
神戸大学大学院医学研究科「グローバル COE セミナー」2009年2月

新規の骨粗鬆症治療薬開発を目指した破骨細胞研究: 宇田川信之

佐久長聖高等学校大学模擬授業 2009年7月

世界に発信! 骨の研究は歯学部から: 宇田川信之

日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会 (第4回) 2009年10月

歯槽骨の再生を目指した破骨細胞・骨芽細胞・歯髄細胞に関する基礎的研究: 宇田川信之 (第4回日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会プログラム抄録集: p7–8, 2009)

千葉県十二歯科大学同窓会・校友会懇話会 (第30回) 2009年10月

骨は生きている-骨再生医療の発展を目指して-: 宇田川信之

学会発表

日本再生医療学会総会 (第8回) 2009年3月5日–6日

Cell Processing Center を利用した骨再生療法の確立: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 内橋隆行, 下平滋隆, 脇谷滋之, 中村美どり, 宇田川信之, 古澤清文

日本薬学会年会 (第129回) 2009年3月

ラットジペプチジルペプチダーゼⅢの金属結合部位の性質: 廣瀬順造, 深澤加与子, 秦季之, 小野行雄 (要旨集4: p81)

第19回金属の関与する生体関連反応シンポジウム 2009年6月

銅イオンで置換した Dipeptidyl Peptidase Ⅲはなぜ活性を発現するのか?: 廣瀬順造, 深澤加与子, 秦季之, 小野行雄 (講演要旨集 p72)

松本歯科大学学会総会 (第68回) 2009年7月11日

A novel phyto-steroid, Alisol-B, suppresses RANKL-induced osteoclastogenesis in vitro: Ji-Won Lee, 永井和夫, 禹濟泰, 高橋直之, 宇田川信之, 小林泰浩

日本骨代謝学会学術集会 (第27回) 2009年7月23–25日

活性型ビタミンD3による M-CSF 非依存的な破骨細胞形成における IL-34 の役割: 中道裕子, 宇田川信之, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之 (第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 157, 2009)

細胞周期の停止した静止期破骨細胞前駆細胞 (QOP) の性状解析-QOP は B 細胞マーカーを発現している-: 武藤昭紀, 溝口利英, 荒井敦, 小林

泰浩, 中道裕子, 吉成伸夫, 宇田川信之, 高橋直之(第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 192, 2009)

c-Fos 遺伝子欠損マウスを用いた静止期破骨細胞前駆細胞(QOP)の解析-c-FosはRANKの発現を誘導しQOP分化を制御する-: 荒井 敦, 溝口利英, 武藤昭紀, 小林泰浩, 川原一郎, 中村美どり, 宇田川信之, 山田一尋, 高橋直之(第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 208, 2009)

骨吸収関連遺伝子改変マウスにおける歯槽骨吸収及びビスフォスフォネートの効果: 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 保田尚孝, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之(第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p237, 2009)

RANKL投与骨量減少症モデルマウスによるdenosumab様抗ヒトRANKL中和抗体の迅速評価: 富盛賀也, 森かおる, 小出雅則, 中道裕子, 二宮 禎, 宇田川信之, 保田尚孝(第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 207, 2009)

Alisol-B suppresses osteoclast differentiation through mediating JNK 1 pathway: Ji-Won Lee, Kobayashi Y, Udagawa N, Takahashi N, Nagai K and Je-Tae Woo(第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p217, 2009)

歯科基礎医学会学術大会(第51回)2009年9月9-11日

OPG 遺伝子欠損マウスにおいては著しい歯槽骨吸収を呈する: 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 新井嘉則, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之(*J Oral Biosci* 51 Suppl: p 65, 2009)

大理石骨病マウスを用いたBMP誘導性異所性骨形成の解析: 中村美どり, 溝口利英, 高橋直之, 宇田川信之(*J Oral Biosci* 51 Suppl: p 65, 2009)

日本口腔インプラント学会学術大会(第39回)2009年9月25-27日

陽イオン加工チタニウムインプラントのin vivoにおける骨形成促進効果の組織学的研究, 八上公利, 伊藤和也, 中村美どり, 村上広樹, 宇田川信之(日本口腔インプラント学会誌: 第22巻, p233)

日本生化学会大会(第82回)2009年10月21日-23日ジペプチジルペプチダーゼ(DPP)Ⅲの活性中心を構成する極性アミノ酸残基の役割: 深澤加與子, 廣瀬順造, 秦 孝之, 小野行雄(プログラム: 81, P281)

日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会(第4回)2009年10月25日

骨吸収遺伝子がマウスの歯槽骨吸収に及ぼす影響: 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 新井嘉則, 小林泰浩, 吉成伸夫, 高橋直之, 宇田川信之(第4回日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会プログラム抄録集: p15, 2009)

破骨細胞分化に特化した前駆細胞は血流を介して

破骨細胞形成部位に遊走する: 武藤昭紀, 溝口利英, 荒井 敦, 小林泰浩, 宇田川信之, 高橋直之, 吉成伸夫(第4回日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会プログラム抄録集: p 25, 2009)

松本歯科大学学会例会(第69回)2009年11月14日

OPG 遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収に対する骨吸収抑制剤の効果: 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 新井嘉則, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之

チタンインプラント表面加工の違いによる骨形成促進効果のin vivoにおける組織学的研究: 八上公利, 伊藤和也, 中村美どり, 村上広樹, 宇田川信之, 定岡 直, 中根 卓, 笠原 香, 柳沢 茂, 矢ヶ崎 雅

31st American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) Annual Meeting, 2009年9月11-15日

The role of splenic IL-34 in CSF-1-independent osteoclastogenesis induced by active vitamin D₃: Nakamichi Y, Udagawa N, Mizoguchi T, Kobayashi Y, Takahashi N(演題番号 A09001774)

Rapid evaluation of a denosumab-like anti-human RANKL neutralizing monoclonal antibody with sRANKL-treated bone loss model: Tomimori Y, Mori K, Koide M, Nakamichi Y, Ninomiya T, Udagawa N and Yasuda H(演題番号 A09002377)

第26回内藤カンファレンス オステオバイオロジー 2009年11月4-7日

Ror2-mediated noncanonical Wnt signaling enhances RANKL-induced osteoclast formation in physiological and pathological conditions: Kobayashi Y, Maeda K, Ishihara A, Uehara S, Takada I, Kato S, Nishita M, Minami Y, Marumo K, Udagawa N, Takahashi N(第26回内藤カンファレンス プログラム抄録集: p63, 2009)

The role of splenic IL-34 in CSF-1-independent osteoclastogenesis induced by active vitamin D₃: Nakamichi Y, Udagawa N, Mizoguchi T, Kobayashi Y, Takahashi N(第26回内藤カンファレンス プログラム抄録集: p65, 2009)

Characterization of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors: Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Kobayashi Y, Penninger JM, Takahashi N(第26回内藤カンファレンス プログラム抄録集: p72, 2009)

松本歯科大学推進研究費による研究

宇田川信之, 宮沢裕夫, 山田一尋, 細矢明宏, 中道裕子, 中村美どり: 歯髓細胞の有する石灰化機構のメカニズム解明

洞澤功子, 山下照仁, 上原俊介: 純チタン板上に

おける新バイオ界面の形成-各種足場材料の検討とその固定法-

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

宇田川信之, 小出雅則, 中村美どり, 中道裕子, 上原俊介: 歯槽骨破壊を阻止するための新規治療法開発の基礎研究 (基盤研究 B)

宮沢裕夫, 中村浩志, 中村美どり, 中道裕子, 宇田川信之: 歯髓細胞による硬組織再生機構の解明 (基盤研究 B)

中村美どり, 宮沢裕夫, 中村浩志, 中道裕子, 宇田川信之: 歯髓・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究 (基盤研究 C)

深澤加典子, 中道裕子, 上原俊介, 中村美どり, 宇田川信之: 歯髓細胞を用いた硬組織再生の試み (基盤研究 C)

宇田川信之, 中道裕子, 小林泰浩, 上原俊介, 山下照仁: 破骨細胞が分泌する新規骨形成誘導因子の同定 (挑戦的萌芽研究)

中村浩志, 山下照仁, 中村美どり, 小出雅則, 宇田川信之, 宮沢裕夫: LPS シグナルを用いた口腔粘膜疾患モデルの開発 (挑戦的萌芽研究)

上原俊介: 破骨細胞が分泌する Wnt による骨代謝制御機構の解明 (若手研究 B)



論文発表

Hattori T, Nakano K, Kawakami T, Tamura A, Ara T and Wang PL (2009) Therapy for nifedipine-induced gingival overgrowth by saireito in rats. Eur J Med Res 14 : 497-501.

Imamura Y, Fujigaki Y, Oomori Y, Ouryouji K, Yanagisawa S, Miyazawa H and Wang PL (2009) Transcriptional regulation of the salivary histatin gene: Finding of a strong positive regulatory element and its binding protein. J Biochem 145 : 279-88.

Imamura Y, Oda A, Katahira T, Bundo K, Pike KA, Ratcliffe MJH and Kitamura D (2009) BLNK binds active H-RAS to promote B cell receptor-mediated capping and ERK activation. J Biol Chem 284 : 9804-13.

Imamura Y, Fujigaki Y, Oomori Y, Usui S and Wang PL (2009) Cooperation of salivary protein histatin 3 with heat shock cognate protein 70 relative to the G_i/S transition in human gingival fibroblasts. J Biol Chem 284 : 14316-25.

Ara T, Kurata K, Hirai K, Uchihashi T, Uematsu

T, Imamura Y, Furusawa K, Kurihara S and Wang PL (2009) Human gingival fibroblasts are critical in sustaining inflammation in periodontal disease. J Periodontol Res 44 : 21-7.

Fujinami Y, Fukui T, Nakano K, Ara T, Fujigaki Y, Imamura Y, Hattori T, Yanagisawa S, Kawakami T and Wang PL (2009) The effects of cigarette exposure on rat salivary proteins and salivary glands. Oral Dis 15 : 466-71.

Fujigaki Y, Imamura Y, Oomori Y, Ouryouji K, Miyazawa H and Wang PL (2009) Polymorphism of salivary histatin gene and periodontal disease in the Japanese population. J Int Acad Periodontol 11 : 220-5.

Kamemoto A, Ara T, Hattori T, Fujinami Y, Imamura Y and Wang PL (2009) Macrolide antibiotics like azithromycin increase lipopolysaccharide-induced IL-8 production by human gingival fibroblasts. Eur J Med Res 14 : 309-14.

学会発表

日本薬理学会年会 (第82回) 2009年 3月
歯肉線維芽細胞のカルシウムチャネルに対するニフェジピンの作用: 服部敏己, 王 宝禮 (J Pharmacol Sci 109(Suppl. 1) : 177, 2009)

第68回松本歯科大学学会総会 2009年 7月
タバコ煙暴露が及ぼすラット唾液・唾液腺への影響: 福井達也, 藤波義明, 中野敬介, 荒 敏昭, 今村泰弘, 服部敏己, 川上敏行, 王 宝禮 (第68回松本歯科大学学会講演要旨集 1)

ヒト歯肉線維芽細胞を用いた *in vitro* 実験系に対する半夏瀉心湯の抗炎症作用の検討: 中園洋大, 荒 敏昭, 今村泰弘, 王 宝禮 (第68回松本歯科大学学会講演要旨集 3)

第51回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 2009年 9月

唾液ヒスタチンによるヒト歯肉線維芽細胞の細胞周期制御: 今村泰弘, 押領司 謙, 藤波義明, 荒 敏昭, 宮沢裕夫, 王 宝禮 (J Oral Biosci 51(Suppl) : 147)

歯肉線維芽細胞を用いた歯周病モデルに対する漢方薬の基礎医学的研究: 王 宝禮, 荒 敏昭, 藤波義明, 今村泰弘, 服部敏己 (J Oral Biosci 51(Suppl) : 146)

歯肉線維芽細胞におけるニフェジピンの [Ca²⁺]_i 上昇作用への Ca²⁺チャネルの関与の有無について: 服部敏己, 王 宝禮 (J Oral Biosci 51(Suppl) : 160)

初年次教育学会第2回大会 2009年 9月

自己を知る試み - 「良き歯科医師」への第一歩 - : 瀬村江里子, 金銅英二, 増田裕次, 今村泰弘, 田中忠芳 (初年次教育学会第2回大会プログラム 10)

第4回日本禁煙科学学会学術総会, 金沢, 2008年11

月24-25日

齧蝕モデル動物へのタバコ煙曝露の影響

藤波義明, 上田青海, 福井達也, 今村泰弘, 王宝禮

学術講演

王宝禮：歯周病における経口抗菌薬のガイドラインを考える, 2009年1月, 第25回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い

王宝禮：口の渇き, 口の悪臭, 味覚の異常, 舌の痛み, 歯周病, 喫煙へのあなたのお悩みにお答えします。-西洋医学・東洋医学を融合して歯科医師が治す最先端治療-, 2009, 岡谷市口腔衛生推進研修会市民公開講座

王宝禮：歯周病を内服による抗菌剤で治すとは-アジスロマイシンによる歯周病治療を考える-, 2009年2月, 萩市歯科医師会学術講演会

王宝禮：わが口腔内科学-口腔乾燥, 舌痛, 口臭, 味覚障害, 口内炎, 歯周病, 禁煙に対する最新薬物療法を教えます-, 2009年2月, 九州お茶の水会学術講演会

王宝禮：歯周病を内服による抗菌剤で治すとは-アジスロマイシンによる歯周病治療を考える-, 2009年3月, 神戸市歯科医師会学術講演会

王宝禮：バイオフィルム感染症としての歯周病抗菌薬物療法の展開研究, 2009年3月, 第82回日本薬理学会年会シンポジウム

王宝禮：口腔乾燥症, 味覚障害, 口臭, 舌痛症, 歯周病, 禁煙に対する最先端薬物療法-歯科医療における西洋医学, 東洋医学の融合化を目指して, 2009年3月, 香川県保険医協会医科歯科合同セミナー学術講演会

王宝禮：西洋医学・東洋医学の融合を目指して-アジスロマイシンによる歯周病抗菌薬物療法, そして口腔疾患に対する漢方薬物療法を教えます-, 2009年5月, 松本歯科大学同窓会高知県学術講演会

王宝禮：口腔バイオフィルム感染症の病態解明, 2009年5月, 2009年度口腔四学会合同研修会

王宝禮：バイオフィルム感染症としての歯周病治療とは-アジスロマイシンを用いた歯周病薬物療法の有効性-, 2009年5月, 前橋市歯科医師会学術講演会

王宝禮：バイオフィルム感染症としてのう蝕・歯周病最先端薬物療法, 2009年5月, 和歌山市歯科医師会学術講演会

王宝禮：歯科医療に対する考え方・生き方を変える, 内科的歯科治療の追及-歯周病抗菌薬物療法・漢方薬・サプリメント・禁煙-, 2009年5月, 第1回学際企画講演会

王宝禮：歯科医療に対する考え方・生き方を変える, 内科的歯科治療の追及-歯周病抗菌薬物療法・

漢方薬・サプリメント・禁煙-, 2009年5月, 第2回学際企画講演会

王宝禮：アジスロマイシンを用いた歯周病抗菌薬物療法の考え方, 2009年6月, 宇都宮市歯科医師会学術講演会

王宝禮：王教授の口腔疾患に対する漢方薬物療法教えます!, 2009年7月, 日本歯科東洋医学会北海道支部学術研修会

王宝禮：口腔乾燥, 舌痛, 味覚障害, 口内炎, 歯周病, う蝕, 禁煙に対する私の薬物療法を教えます, 2009年9月, 松本歯科大学校友会千葉県支部

王宝禮：「口腔不定愁訴に対する漢方治療」-口腔乾燥症・口臭・味覚障害・舌痛症-, 2009年9月第6回愛媛東洋医学カンファレンス (COME)

王宝禮：口腔不定愁訴に対する漢方治療, 2009年9月, 第1回日本臨床精神救急学会学術大会・総会

王宝禮：あなたのお口に悩みにお答えします。~口腔乾燥症, 口臭, 口内炎, 舌痛症, 味覚障害, 歯周病~。健康グレードアップながの21, NPO法人長野県歯科衛生士会, 第6回県民公開講座, 2009, 10月11日

王宝禮：口腔疾患に対する西洋医学・東洋医学の融合的薬物療法。-口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症, 口臭, 口内炎, 歯周病-。飯田下伊那歯科医師会飯田下伊那薬剤師会, 学術講演会 2009年10月

王宝禮：小児歯科診療室における歯科医師, 歯科衛生士のための禁煙治療学, 第28回日本小児歯科中部地方大会および総会, 2009年10月

王宝禮：「先生は歯科医療の未来を語れますか?」-何故こうなったのか, そして私達は何をすべきか-, 千葉県同窓会, 関東ブロック研修会, 2009年10月

王宝禮：「歯周外科とは?そして歯周内科とは?」平成21年度愛知県歯科衛生士会研修会, 2009年11月

王宝禮：「最新口腔内科学的歯科医療の追求-歯周病抗菌薬物療法, 口腔漢方治療」埼玉歯科医師会学術研究会・埼玉歯科医師会第2支部学術講演会, 2009年11月

王宝禮：「バイオフィルム感染症としての歯周病抗菌薬物療法とは」-アジスロマイシンを用いた歯周病薬物治療の有効性-, 第9回南大阪口腔疾患勉強会, 2009年11月

王宝禮：口腔疾患を訴える国民に漢方薬を届けるために-日本歯科東洋医学会の役割-, 日本歯科東洋医学会第27回学術大会, 2009年11月

王宝禮：バイオフィルム感染症としての歯周病抗菌薬物療法とは-アジスロマイシンを用いた歯周病薬物療法の有効性-, 第18回藤沢口腔科学会, 2009年12月

王宝禮：「基礎と臨床から歯周病に対する抗菌薬

物療法を考える」, 第38回医療共済会 学術講演会,
2009年12月

松本歯科大学推進研究費による研究

荒 敏昭: 漢方薬による口腔疾患治療法の開発

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

王 宝禮: 漢方薬による歯周疾患治療への応用と
その作用機序解明 (基盤研究 C)

今村泰弘: 抗炎症薬開発に向けた唾液蛋白質ヒス
タチンの機能解明 (基盤研究 C)

その他の研究助成金による研究

王 宝禮: バイオフィルム感染症としての歯周治
療 (独立行政法人物質・材料研究機構研究助成金)

口腔細菌学講座

論文発表

Kikuchi U, Ohara N, Ueda O, Hirai K, Shibata Y, Nakayama K and Fujimura S (2009) *Porphyromonas gingivalis* mutant defective in a putative extracytoplasmic function sigma factor shows a mutator phenotype. *Oral Microbiol Immunol* 24 : 377-83.

その他の学術著作物

菊池有一郎 (2009) 歯周病原細菌 *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は口腔レンサ球菌が産生する過酸化水素を利用して, 宿主免疫応答から免れている. *The Bone* 23 : 116-7.

学会発表

第82回日本細菌学会総会 2009年3月

Porphyromonas gingivalis の PPK 遺伝子挿入変異株の作製: 上田青海, 菊池有一郎, 上松隆司, 平井 要, 柴田幸永, 藤村節夫 (日細菌誌 64 : 157, 2009)

Porphyromonas gingivalis ECF シグマ因子 PG 0162変異株の性状解析: 菊池有一郎, 大原直也, 上田青海, 平井 要, 柴田幸永, 雪竹英治, 中山浩次, 藤村節夫 (日細菌誌 64 : 162, 2009)

第47回日本小児歯科学会 2009年5月

小児期における歯周病原性細菌の検出状況について-歯肉炎との関連について-: 齋藤珠実, 上田青海,

小口久雄, 岩崎 浩, 宮沢裕夫 (小児歯科雑誌 47 : 394, 2009)

第51回歯科基礎医学会 2009年9月

銀担持光触媒のう蝕原性レンサ球菌バイオフィルムへの効果: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 藤村節夫 (*Japan Assoc Oral Biol* 51 : Suppl 130, 2009)

第28回日本小児歯科学会中部地方会 2009年10月

小児における歯周病原性菌の検出について: 川端明美, 齋藤珠実, 川端宏之, 上田青海, 田中みづき, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

第4回日本禁煙科学会学術総会 2009年10月

齶蝕モデル動物へのタバコ煙曝露の影響: 藤波義明, 上田青海, 福井達也, 今村泰弘, 王 宝禮

第54回日本口腔外科学会総会学術大会2009年10月

口腔乾燥症に対する口腔保湿剤 (フィットエンジェル®) の有用性: 小野裕輔, 上松隆司, 上田青海, 古澤清文

第69回松本歯科大学学会 2009年11月

銀担持光触媒のう蝕原性レンサ球菌への殺菌効果: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 木曾有紀子, 大石真太郎, 宮下みどり, 柴田幸永, 吉澤英樹, 伊藤充雄, 藤村節夫

松本歯科大学推進研究費による研究

藤村節夫: 歯周病原菌のペプチダーゼ系の研究

平井 要: 各種細菌性プロテアーゼによる炎症惹起の差異

菊池有一郎: タイリングアレイ法を用いた *P. gingivalis* ECF シグマ因子群の解析

日本学術振興会科学研究費による研究

上田青海: ポリリン酸の歯周病原細菌に対する抗菌活性とその影響 (若手研究 B)

口腔病理学講座

著 書

長谷川博雅, 川上敏行, 中野敬介, 横井隆政, 吉成伸夫, 木村晃大, 片瀬直樹, 長塚 仁, 永山元彦, 前田初彦, 小山英樹, 齋藤一郎 (2009) 長谷川博雅監修 口腔の病態を診る, デンタルダイヤモンド社, 東京.

賀来 亨, 榎木恵一 編, 青葉孝昭, 宇都宮忠彦, 岡田裕之, 川上敏行, 窪田展久, 佐藤かおり, 猿田樹理, 田谷雄二, 長谷川博雅, 前田初彦, 三田村次郎, 山本浩嗣 (2009) スタンダード口腔病態病理学, 学建書院, 東京

亀山洋一郎, 川上敏行, 久保勝俊, 佐藤恵美子, 佐藤一芳, 杉田好彦, 谷口邦久, 槻木恵一, 中野敬介, 長谷川博雅, 前田初彦 (2009) 病理学概論, 永末書店, 京都

論文発表

小林隆夫, 長谷川博雅 (2009) 肺血栓塞栓症と羊水塞栓症 (産科的塞栓). 産婦人科治療 **99**: 247-54.

小林隆夫, 長谷川博雅 (2009) 羊水塞栓症. 呼吸 **28**: 393-8.

Siar CH, Oo VPA, Nagatsuka H, Nakano K, Ng KH and Kawakami T (2009) Angiogenic squamous dysplasia-like phenomenon in oral epithelial precursor lesions. Eur J Med Res **14**: 315-9.

Fujinami Y, Fukui T, Nakano K, Ara T, Fujigaki Y, Imamura Y, Hattori T, Yanagisawa S, Kawakami T and Wang PL (2009) The effects of cigarette exposure on rat salivary proteins and salivary glands. Oral Dis **15**: 446-71.

Chuah KS, Siar CH, Nakano K, Nagatsuka H, Khoo SP, Ng KH and Kawakami T (2009) Wingless-type protein-1 (Wnt-1) expression in primary conventional and unicystic ameloblastomas and their recurrent tumors. J Hard Tissue Biol **18**: 63-70.

Hattori T, Nakano K, Kawakami T, Tamura A, Ara T and Wang PL (2009) Therapy for nifedipine-induced gingival overgrowth by Saireito in rat. Eur J Med Res **14**: 497-501.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2009) Expression of HSP in dental root pulp cells due to experimental orthodontic mechanical stress. J Hard Tissue Biol **18**: 127-30.

渡邊武寛, 中野敬介, 村岡理奈, 清水貴子, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的牽引側における歯根膜線維芽細胞の免疫組織化学. J Hard Tissue Biol **18**: 175-80.

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的メカニカルストレスによりマウス歯根膜組織に発現する熱ショックタンパクの免疫組織化学的観察. J Hard Tissue Biol **18**: 193-8.

松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (2009) マウスの矯正学的牽引側歯根膜における BMP 組織化学的観察. J Hard Tissue Biol **18**: 181-4.

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Kimura A, Okafuji N, Tsujigiwa H, Hasegawa H and Nagatsuka H (2009) Hsitolpathological and immunohistochemical background of orthodontic treatment.

Int J Med Biol Front **15**(7/8): 591-615.

Ochiai T, Nagayama M, Nakamura T, Morrison T, Pilchak D, Kondo N, Hasegawa H, Song B, Serra R, Pacifici M and Koyama E (2009) Roles of the primary cilium component Polaris in synchondrosis development. J Dent Res **88**: 545-50.

Williams JA, Kondo N, Okabe T, Takeshita N, Pilchak DM, Koyama E, Ochiai T, Jensen D, Chu ML, Kane MA, Napoli JL, Enomoto-Iwamoto M, Ghyselinck N Chambon P, Pacifici M and Iwamoto M (2009) Retinoic acid receptors are required for skeletal growth, matrix homeostasis and growth plate function in postnatal mouse. Dev Biol **328**: 315-27.

行待美咲, 宮城圭子, 長谷川博雅 (2009) 上顎臼歯部に発生し不完全に埋伏した癒合歯の1症例. 松本歯学 **35**: 243-8.

学会発表

87th General Session & Exhibition of International Association for Dental Research Miami, April, 2009

Roles of primary cilia in cranial base development and growth: Ochiai T, Nagayama M, Nakamura T, Hasegawa H, Song B, Serra R, Pacifici M and Koyama E (Program book: p124)

日本病理学会総会 (第98回) 2009年5月

Ameloblastoma と ameloblastic carcinoma における HSP27の発現: 中野敬介, 川上敏行 (日病会誌 **98**: 360, 2009)

Malaysian Dental Association Annual Dental Meeting (66th), Penang, Malaysia, June 2009.

Notch signaling molecules in ameloblastoma: Siar CH, Ng KH, Nagatsuka H, Nakano K and Kawakami T

全国 IT 活用教育方法研究発表会 2009年6月

医療面接学習における双方向教育の試み: 音琴淳一, 金銅英二, 岡藤範正, 倉澤郁文, 長谷川博雅: (http://www.juce.jp/archives/houhou_2009/b-03.pdf)

松本歯科大学学会 (第68回) 2009年7月

タバコ煙暴露が及ぼすラット唾液・唾液腺への影響: 福井達也, 藤波義明, 中野敬介, 荒 敏昭, 今村泰弘, 服部敏己, 川上敏行, 王 宝禮 (松本歯学 **35**: 224, 2009)

総合歯科医療に関する学術研究セミナー2009 2009年7月

無線端末を用いた医療コミュニケーション教育の試み: 音琴淳一, 金銅英二, 岡藤範正, 倉澤郁文, 宮沢裕夫, 長谷川博雅, 森本俊文 (事後抄録集 p32-3)

頭蓋底軟骨結合の発生と成長における一次繊毛の役割：落合隆永，永山元彦，Maurizio Pacifici，Eiki Koyam，長谷川博雅（松本歯学 35：225-6，2009）

日本臨床口腔病理学会総会（第20回）2009年7月
口腔粘膜の境界悪性病変におけるデスモゾームタンパク質の異常発現：相澤聡一，落合隆永，中野敬介，木村晃大，川上敏行，長谷川博雅（プログラム・抄録集 p86；Oral Med Pathol 14：75，2009）

35th ADEE Association for Dental Education in Europe meeting (Helsinki, Finland), August 2009

The practice and approach toward dental students and dental faculty in Center for Excellence in Teaching and Learning：Okafuji N, Otagoto J, Semura, E, Tomida M, Furukawa H, Masuda Y, Miyazawa H, Yoshizawa H, Kurasawa I and Hasegawa H（Program and abstract p53）

Roles of Primary Cilia in Cranial Base Synchronosis Development：落合隆永，永山元彦，Eiki Koyama，長谷川博雅（プログラム・抄録集 p 105；Oral Med Pathol 14：78，2009）

硬組織再生生物学会総会（第18回）2009年9月
エナメル上皮腫の悪性変化と HSP 27の発現：中野敬介，Siar CH，川上敏行（プログラム・抄録集 p 53；J Hard Tissue Biol 18：168，2009）

歯科基礎医学会総会（第51回）2009年9月

メカニカルストレスの惹起するマウス牽引側歯根幕細胞における骨芽細胞分化関連因子の免疫組織学的検討：松田浩和，村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（J Oral Biosci 51(S)：116，2009）

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜細胞における HSP70の局在変化：村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（J Oral Biosci 51(S)：145，2009）

Roles of primary Cilia component Polaris in cranial base synchronosis development and growth：落合隆永，永山元彦，中村卓史，長谷川博雅（J Oral Biosci 51(S)：81 and 97，2009）

2009 FDI Annual World Dental Congress, Singapore, September 2009. Notch receptors and their ligands in ameloblastomas：Siar CH, Kawakami T, Nakano K, Nagatsuka H and Ng KH

日本矯正歯科学会大会（第68回）2009年11月

実験的歯科矯正治療により惹起されるマウス牽引側歯根膜細胞分化関連因子の免疫組織化学：松田浩和，村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p161）

歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜組織における HSP 変化：村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p 162）

Conference of Asian International Association of

Dental Traumatology (4th), Beijing, China, November 2009.

Biological basis of tissue reaction to orthodontic injury stimulation：Okafuji N and Nakano K（Program book p9-10）

松本歯科大学推進研究費による研究

中野敬介：口腔腫瘍の細胞分化における形態形成調節因子の解析

落合隆永，中野敬介，上松隆司，古澤清文，長谷川博雅：細胞診検体の口腔癌遺伝子診断への応用

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

川上敏行，長塚 仁，中野敬介：骨吸収を惹起する増殖性病変における細胞分化の分子調節機構（基盤研究 C）

中野敬介，岡藤範正，川上敏行：メカニカルストレスが惹起する細胞分化の分子調節機構（基盤研究 C）



論文発表

Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M, and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. J Cell Biol 184：541-54.

永沢 栄，小幡明彦，新井嘉則，吉田貴光，黒岩昭弘，伊藤充雄（2009）人歯3次元モデルの作成-ボクセルモデル-. 松本歯学 35：1-7.

吉田貴光，田村 郁，河瀬雄治，永沢 栄，伊藤充雄（2009）コバルトクロム合金と合金金タイプ4のレーザー溶接に関する研究. 日本口腔インプラント誌 22：36-44.

三浦 滋，藤本茂樹，大江健史，江頭有三，永沢 栄（2009）接着材でコーティングしたアルミナ粉末によるサンドブラスト処理が接着強さに与える効果. 日本口腔インプラント誌 22：106-14.

早野圭吾（2009）インプラント体の構造と強度に関する研究. 松本歯学 35：249-60.

学会発表

歯科チタン学会（第22回）2009年2月
インプラント用チタン材の熱処理温度と疲労破壊

の関係：吉田貴光，田村 郁，山添正稔，堀口浩治，安楽照男，溝口利英，永沢 栄，伊藤充雄（チタンと歯科臨床 7：34，2009）

87th General Session & Exhibition of the IADR, April, 2009

Relationship between Heat Treatment Temperature and Fatigue Failure of Titanium : Yoshida T, Tamura K, Yamazoe M, Mizoguchi T, Kawase Y, Niuro T, Nagasawa S and Ito M (Abstract USB memory)

Hardness and Metallographic Structure of Commercial Titanium wires and Implants : Tamura K, Yoshida T, Yamazoe M, Mizoguchi T, Niuro T, Kawase Y, Nagasawa S and Ito M (Abstract USB memory)

The influence of titanium dioxide doped phosphate-based glasses on MC3T3-E1 : Mizoguchi T, Yoshida T, Tamura K, Yamazoe M, Nagasawa S, Abou Neel EA, Knowles JC and Ito M (Abstract USB memory)

日本歯科理工学会（第53回）2009年4月

2ピース型ジルコニアインプラントの機械的性質について：吉田貴光，田村 郁，永沢 栄，溝口利英，柏原建記，伊藤充雄（歯科材料・器械 28：111，2009）

埋没後経過時間と casting 精度：竹内 賢，永沢 栄，吉田貴光，田村 郁，河瀬雄治，山添正稔，伊藤充雄（歯科材料・器械 28：125，2009）

松本歯科大学学会（第68回）2009年7月

人歯3次元モデルの作成 第4報 -乳歯モデル-：永沢 栄，吉田貴光，田村 郁，新井嘉則，宇津野 創，田所 治，伊藤充雄（松本歯学 35：229-30，2009）

人歯3次元モデルの作成 第5報 -全顎モデル-：永沢 栄，吉田貴光，田村 郁，新井嘉則，福井壽男，伊藤充雄（松本歯学 35：230-1，2009）

European Conference on Biomaterials, September, 2009

Mechanical properties of 2-piece-type zirconia implants : Yoshida T, Tamura K, Nagasawa S, Mizoguchi T, Kashiwabara T, Ito M (Abstract CD-ROM)

日本口腔インプラント学会（第39回）2009年9月

構成材料の違いがインプラントの強度におよぼす影響 -チタンとジルコニアとの比較-：早野圭吾，永沢 栄，吉田貴光，田村 郁，山添正稔，新納亨，河瀬雄治，伊藤充雄（日本口腔インプラント 22 (SP)：233，2009）

チタン，Ti-6Al-4V合金と歯科用貴金属合金の組み合わせによる金属イオンの溶出：山添正稔，安楽照男，堀口浩治，吉田貴光，田村 郁，永沢 栄，伊藤充雄（日本口腔インプラント 22 (SP)：

234，2009）

歯科用インプラント材料としてのチタン及びチタン合金の機械的性質：田村 郁，江頭有三，丸籾雅義，前川修一郎，市川博彰，谷口哲也，江黒 徹，伊藤充雄（日本口腔インプラント 22 (SP)：234，2009）

チタン材に接着した接着材の接着強さと熱膨張量の関係：河瀬雄治，吉田貴光，田村 郁，山添正稔，溝口利英，竹内 賢，河瀬聡一郎，永沢 栄，伊藤充雄（日本口腔インプラント 22 (SP)：260，2009）

日本歯科理工学会（第54回）2009年10月

インプラント体の強度に対する試験方法の影響 -有限要素法による検討-：永沢 栄，吉田貴光，溝口利英，田村 郁，山添正稔，伊藤充雄（歯科材料・器械 28：365，2009）

その他の学術発表

日本歯科色彩学会（第17回）必修講習会2009年7月

光と色の見え方について-クベルカ・ムンクセオリーとその限界-：永沢 栄（歯科の色彩 15，2009）

日本歯科理工学会中部支部夏期講習会 2009年8月

3D画像の有用性：永沢 栄

松本歯科大学推進研究費による研究

吉田貴光：カゼインによる安全性の高い歯牙模型の開発



著 書

柳沢 茂（分担執筆）（2009）新口腔保健学，1版，66-72，225-34，医歯薬出版，東京。

論文発表

Fujinami Y, Fukui T, Nakano K, Fujigaki Y, Imamura Y, Hattori T, Yanagisawa S, Kawakami T and Wang PL (2009) The effects of cigarette exposure on rat salivary proteins and salivary glands. Oral Diseases 15：466-71.

学会発表

第20回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会 2009年8月

簡易測定機器を用いた屋外喫煙所における環境タ

パコ煙の拡散状況調査：定岡 直，笠原 香，八上公利，中根 卓，小口久雄，柳沢 茂

第4回信州公衆衛生学会 2009年8月

環境タバコ煙の曝露状況調査：定岡 直，柳沢 茂，中根 卓，八上公利，小口久雄，笠原 香（信州公衆衛生学会雑誌 4：9，2009）

第58回日本口腔衛生学会・総会 2009年10月

口腔粘膜細胞における炎症性サイトカイン誘発性一酸化窒素産生に対するAHCCによる抑制効果の研究：八上公利，定岡 直，西澤幹雄，代田達夫，笠原 香，中根 卓，矢ヶ崎 雅，柳沢 茂（口腔衛生学会雑誌 59：382，2009）

生活習慣調査票における歯科保健項目への項目反応理論による解釈：中根 卓，柳沢 茂，定岡 直，小口久雄，笠原 香，八上公利（口腔衛生学会雑誌 59：382，510）

第69回松本歯科大学学会，2009年11月14日

チタンインプラント表面加工の違いによる骨形成促進効果のin vivoにおける組織学的研究：八上公利，伊藤和也，中村美どり，村上広樹，宇田川信之，定岡 直，中根 卓，笠原 香，柳沢 茂，矢ヶ崎 雅

その他の学術発表

AHCC 国際研究報告会（第17回）2009年7月

AHCCは間葉系幹細胞の炎症性サイトカインによるNO産生を抑制し骨芽細胞への初期分化を維持する：八上公利，西澤幹雄，代田達夫，柳沢 茂，矢ヶ崎 雅

松本歯科大学推進研究報告会，2009年8月17-18日
幾何構造理論による骨誘導能と永続的維持能を持つチタニウム繊維体を用いたインプラント体の開発：八上公利，久保木芳徳，関 康夫，上松隆司，中村美どり，柳沢 茂。

歯科保存学第11講座

著 書

横井隆政，吉成伸夫（分担執筆）（2009）口腔の病態を診る，第1版，42-45，デンタルダイヤモンド社，東京。

西田英作，吉成伸夫（分担執筆）（2009）DHstyle増刊号 歯周1st，78-79，デンタルダイヤモンド社，東京。

横井隆政，吉成伸夫（分担執筆）（2009）ザ・ペリオドントロジー，第1版，280-283，末永書店，東京。

吉成伸夫（分担執筆）（2009）糖尿病患者に対する歯周病治療ガイドライン，日本歯周病学会，東京。

吉成伸夫，西田英作（分担執筆）（2009）歯周病予

防のストラテジー8つのチャレンジと36のアンサー，第1版，111-4，医歯薬出版，東京。

論文発表

Champagne C, Yoshinari N, Oetjen J, Riché E, Beck J and Offenbacher S (2009) Gender Differences in Systemic Inflammation and Atheroma Formation Following Porphyromonas gingivalis Infection in Heterozygous Apolipoprotein E-Deficient Mice. J Periodont Res 44 : 569-77.

Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Nakamura H, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. J Cell Biol 184 : 541-54.

豊田哲郎，村上 弘，伊藤正樹，吉成伸夫，服部正巳（2009）インプラントと天然歯を支台とした上顎コースス義歯症例．心身科学 1：9-14。

西田英作，横井隆政，窪川恵太，阪中孝一郎，匹田雅久，吉成伸夫（2009）植込型除細動器に対する歯科用レーザーの安全性に関する研究．日本レーザー歯学会誌 20：54-61。

その他の学術著作物

三木 学，内田啓一，藤木知一，宇津野 創，黒岩博子（2009）抜歯後縦隔部にまで及んだ皮下気腫の1例．日口診誌 22：317-20。

三木 学，内田啓一，浅輪貴行，上原大輔，深澤常克，吉成伸夫，田口 明（2009）Signa HDxt® 1.5 T (testa) によるMRI診断：復位を伴う顎関節円板前方転移の1例．松本歯学 35：29-32。

三木 学，内田啓一，浅輪貴行，上原大輔，深澤常克，吉成伸夫，田口 明（2009）MR sialographyの有用性．松本歯学 35：33-4。

学会発表

日本歯周病学会春季学術大会（第51回）2009年5月

松本歯科大学病院受診患者における実態調査-歯周病科受診患者のデンタルエックス線写真による検討：三木 学，内田啓一，窪川恵太，西田英作，横井隆政，吉成伸夫，田口 明

日本歯科保存学会春季学術大会（第130回）2009年6月

アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用の解析：佐藤将洋，横井由紀子，河瀬雄治，安西正明，吉成

仲夫, 山本昭夫, 笠原悦男

松本歯科大学学会 (第68回) 2009年7月

新規歯小嚢マーカー分子, F-spondin の機能解析: 西田英作, 吉成伸夫

日本骨代謝学会 (第27回) 2009年7月

細胞周期の停止した静止期破骨細胞前駆細胞 (QOP) の性状解析-QOP は B細胞マーカーを発現している-: 武藤昭紀, 溝口利英, 荒井 敦, 小林泰浩, 中道裕子, 吉成伸夫, 宇田川信之, 高橋直之

c-Fos 遺伝子欠損マウスを用いた静止期破骨細胞前駆細胞 (QOP) の解析-c-Fos は RANK の発現を誘導し QOP 分化を制御する-: 荒井 敦, 溝口利英, 武藤昭紀, 小林泰浩, 川原一郎, 中村美どり, 宇田川信之, 山田一尋, 高橋直之

日本神経科学大会 (第32回) 2009年9月

Modulation of jaw position by cortical stimulation: Ishihara I, Adachi T, Toi S, Morimoto T and Masuda Y

日本歯周病学会秋季学術大会 (第52回) 2009年10月

糖尿病合併症の実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究 (JDPC study) のベースライン時所見: 稲垣幸司, 菊池毅, 野口俊英, 川浪雅光, 古市保市, 島内英俊, 吉江弘正, 山田 了, 和泉雄一, 新田 浩, 沼部幸博, 山本松男, 吉成伸夫, 村上伸也, 西村英紀, 永田俊彦, 内藤 徹, 野口和行, 伊藤公一

日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会 (第4回) 2009年10月

ライフワークとしての歯科衛生士~もっと輝く歯科衛生士を目指して~: 宮島結香

骨吸収遺伝子がマウスの歯槽骨吸収に及ぼす影響: 小出雅則, 二宮 禎, 中村みどり, 新井嘉則, 小林泰浩, 吉成伸夫, 高橋直之, 宇田川信之

音波ブラシのプラーク除去効果: 池上奈那, 宮島結香, 蛭江由季, 三澤美幸, 関口迪子, 岡本成美, 中島靖子, 西田英作, 窪川恵太, 海瀬聖仁, 河合悠, 石原磯子, 小松 寿, 吉成伸夫

破骨細胞分化に特化した前駆細胞は血流を介して破骨細胞形成部位に遊走する: 武藤昭紀, 溝口利英, 荒井 敦, 小林泰浩, 宇田川信之, 高橋直之, 吉成伸夫

松本歯科大学病院来院患者のパノラマエックス線写真による歯科実態調査: 三木 学, 内田啓一, 山田真一郎, 窪川恵太, 阪中孝一郎, 横井隆政, 吉成伸夫, 田口 明

内藤カンファレンス プログラム抄録集 (第26回) 2009年11月

Characterization of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors: Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Kobayashi Y, Penninger JM and Takahashi N

日本レーザー歯学会総会・学術大会 (第21回) 2009年11月

植え込み型除細動器に対する歯科用レーザーの安全性に関する研究: 西田英作, 横井隆政, 窪川恵太, 阪中孝一郎, 匹田雅久, 吉成伸夫

愛知学院大学歯学会学術大会 (第75回) 2009年12月

弱い持続嚙締めによる咬筋の変化: MRI による解析: 有地淑子, 佐久間重光, 吉成伸夫, 泉 雅浩, 清水幹雄, 栗田賢一, 有地榮一郎

研修会・講演会

平成20年度名古屋市熱田区歯科医師会学術講演会 2009年3月

「安定した歯肉を求めて」: 吉成伸夫

健康づくり教室公開講座2009年3月

「口や歯から見えてくる心身の健康」: 吉成伸夫

平成20年度名古屋市中区歯科医師会学術講演会 2009年3月

「最新の歯周治療-再生療法の手技と予後」: 吉成伸夫

松本歯科大学・松本歯科大学病院 公開講座 2009年4月

「歯周病予防とケアで心身ともに健康に」: 吉成伸夫

平成21年度第1回愛知学院大学歯学部同窓会ポストグラデュエートコース 2009年5月

「歯肉付着入門 -臨床的な立場から-」: 吉成伸夫

平成21年度岡山大学歯学部特別講義: 医局員セミナー, 学生講義 2009年7月

「血清アミロイドAを介した歯周病による動脈硬化症発症予測の検討」, 「安定した歯肉付着を考える」: 吉成伸夫

スタディーグループ日曜会 2009年7月

「歯周外科のベーシック (講義)」: 吉成伸夫

2009年松本歯科大学校友会本部・東海4支部共催学術講演会 2009年7月

「歯科界における先進医療の方向性-歯周組織再生療法 現在と将来-」: 吉成伸夫, 田口 明, 村上弘

長野県歯科医療管理学会講演会 2009年7月

「最新の歯周病治療 安定した歯肉付着を考える」

松本歯科大学病院セミナー 2009年8月

「歯周外科セミナー-アドバンスコース-」: 吉成伸夫

SBC 信越放送 2009年9月

「歯周病のはなし You スタ深志3丁目」: 吉成伸夫

スタディーグループ日曜会 2009年9月

「歯周外科のベーシック (実習)」: 吉成伸夫

松本歯科大学歯科衛生士会 2009年9月

「歯周病の診査, 診断法」: 吉成伸夫
 松本市歯科医師会主催第4回市民公開講座 2009年10月
 「-お口の健康と体の健康-歯周病予防とケアで心身ともに健康に」: 吉成伸夫, 前島信也
 平成21年度松本歯科大学校友会本部・関東4支部共催学術講演会 2009年10月
 「歯科界における先進医療の方向性-歯周組織再生療法 現在と将来-」: 吉成伸夫, 田口 明
 国際ソロプチミスト長野支部講演会 2009年10月
 「歯周病予防とケアで心身ともに健康に」: 吉成伸夫
 香川デンタルスタディークラブ例会 2009年11月
 「歯肉の付着を再考する」: 吉成伸夫
 校友会2009年度卒業後研修セミナー 2009年11月
 「全身疾患と歯周病」: 吉成伸夫
 第38回医療共済会学術講演会 2009年12月
 「最先端歯周病学 -基礎と臨床から歯周病に対する抗菌薬治療法を考える-」: 吉成伸夫, 王 宝禮

松本歯科大学推進研究費による研究

西田英作: 歯周病による動脈硬化症マーカー分子の解析

三木 学: ファントムを用いたMRIの歯科応用のための基礎的研究

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

吉成伸夫: Serum amyloid A を介した歯周病による動脈硬化症悪化程度の解明 (基盤研究 (C))

横井隆政: 歯周組織における FDC-SP とスタセリン遺伝子およびタンパク発現に関する研究 (若手研究 (B))

西田英作: F-spondin を用いた歯周病治療薬開発に関する基礎研究 (若手研究 (スタートアップ))

武藤昭紀: 静止期破骨細胞前駆細胞 (QOP) を用いた歯周病動態の解析 (若手研究 (スタートアップ))

田口 明, 吉成伸夫, 東 幸仁: 梗塞性心臓血管疾患リスク患者の早期スクリーニングのための口腔衛生指標の開発 (基盤研究 (C))

歯科保存学第2講座

学会発表

日本口腔インプラント学会 2009年3月
 コバルトクロム合金とタイプ4金合金のレーザー溶接に関する研究: 吉田貴光, 田村 郁, 河瀬雄治, 永沢 栄, 伊藤充雄

歯科材料・器械 2009年3月
 埋没後経過時間と铸造精度: 竹内 賢, 永沢 栄, 吉田貴光, 田村 郁, 河瀬雄治, 山添正稔, 伊藤充雄
 International Association For Dental Research 2009年4月
 Relationship between Heat Treatment Temperature and Fatigue Failure of Titanium: Yoshida T, Tamura K, Yamazoe M, Mizoguch T, Kawase Y, Ni-iro T, Nagasawa S and Ito M
 Hardness and Metallographic Structure of Commercial Titanium wires and Implants: Tamura K, Yoshida T, Yamazoe M, Mizoguch T, Ni-iro T, Kawase Y, Nagasawa S and Ito M
 日本抗加齢医学会総会 (第9回) 2009年5月
 口唇トレーニング効果の方向特異性: 佐藤将洋, 大石めぐみ, 中塚久美, 原 洋介, 安西正明, 山本昭夫, 笠原悦男, 増田裕司
 日本歯科保存学会 (第130回) 2009年6月
 アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用の解析: 佐藤将洋, 河瀬雄二, 安西正明, 山本昭夫, 笠原悦男

日本口腔インプラント学会 2009年8月
 チタン材に接着した接着材の接着強さと熱膨張量の関係: 河瀬雄治, 吉田貴光, 田村 郁, 山添正稔, 溝口利英, 竹内 賢, 河瀬聡一郎, 永沢 栄, 伊藤充雄
 構成材料の違いがインプラントの強度に及ぼす影響 チタンとジルコニアとの比較: 早野圭吾, 永沢 栄, 吉田貴光, 田村 郁, 山添正稔, 新納 亨, 河瀬雄治, 伊藤充雄
 日本歯科保存学会 (第131回) 2009年10月
 アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用の解析 (第2報): 佐藤将洋, 安西正明, 山本昭夫, 笠原悦男

歯科歯学第1講座

著 書

黒岩昭弘 (2009) 全部床義歯学サイドリーダー 第4版. 学建書院, 東京.

論文発表

渡邊 誠 (2009) 欠陥を内包したチタン製铸造クラスの機械的性質に関する研究. 松本歯学 35: 150-64.

その他の学術著作物

総義歯の立場からみた咬合 無歯顎の患者にどのように咬合を与えるか: 黒岩昭弘, 酒匂充夫, 谷内

秀寿, 宇田 剛 (日本歯科評論 807:61-72.)

学会発表

日本補綴歯科学会学術大会・総会 (第118回) 2009年6月6日

上顎臼歯の排列位置と舌房の容積に関する研究: 谷内秀寿, 黒岩昭弘, 酒匂充夫, 宇田 剛, 高村貴仁, 齋藤鉄平, 山口育子, 林 和永 (日本補綴歯科学会誌: 1・118: 131, 2009)

欠陥を内包したチタン製铸造クラスプの機械的性質に関する研究: 松山雄喜, 黒岩昭弘, 丸山雄介, 吉田茂生, 溝上真也, 小町谷美帆, 鈴木雄一郎, 竹田奈央, 渡邊 誠 (日本補綴歯科学会誌: 1・118: 217, 2009)

日本歯科保存学会学術大会・総会平成21年度春季大会 (第130回) 2009年6月11日

審美修復におけるレジンセメントの色調の研究-試験片の厚さが色調に及ぼす影響-: 秋山麻沙子, 黒岩昭弘, 酒匂充夫, 山田博仁, 安西正明, 山本昭夫, 笠原悦男 (日本歯科保存学雑誌: 52: 105, 2009春季特別号)

日本顎咬合学会学術大会・総会 (第27回) 2009年6月21日

各種人工歯が舌房の容積に及ぼす影響: 谷内秀寿, 黒岩昭弘, 丸山雄介, 松山雄喜, 米田隆紀, 藤森茂治, 海田健彦, 亀本有紀子, 長島里美 (日本顎咬合学会誌: 29・3: 169, 2009)

レジンセメントの色調がラミネートベニアの色に及ぼす影響-試験片の厚さに関する検討-: 秋山麻沙子, 黒岩昭弘, 山本昭夫, 宇田 剛, 黒岩博子, 井上義久 (日本顎咬合学会誌: 29・3: 169, 2009)

日本補綴歯科学会東海支部学術大会・総会 2009年11月28日

高齢者における多方位口唇閉鎖力の特徴: 山口正人, 黒岩昭弘, 高村貴仁, 内田昌治 (平成21年度日本補綴歯科学会東海支部プログラム・抄録集: 19, 2009)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

丸山雄介: 咬合の診断による短縮歯列の検証 (若手研究 B)

山口正人: 高齢者における口唇機能の重要性と補綴治療がこの機能に与える影響 (若手研究 B)



著書

山下秀一郎 (分担執筆) (2009) クラウンブリッジ

補綴学 第4版, 石橋寛二, 川添堯彬, 川和忠治, 福島俊士, 三浦宏之, 矢谷博文 (編著) インフォームドコンセント, 医歯薬出版, 東京

論文発表

Hashii K, Tomida M and Yamashita S (2009) Influence of changing the chewing region on mandibular movement. Australian Dental Journal 54: 38-44.

Katase - Akiyama S, Kato T, Yamashita S, Masuda Y and Morimoto T (2009) Specific increase in non-functional masseter bursts in subjects aware of tooth-clenching during wakefulness. Journal of Oral Rehabilitation 36: 93-101.

佐藤裕二, 北川 昇, 服部佳功, 山下秀一郎, 玉置勝司, 中村隆志 (2009) 日本の各大学における有床義歯検査用紙に関する研究. 日本補綴歯科学会誌 1: 55-63.

沼尾尚也, 山下秀一郎, 笠原隼男, 富田美穂子, 浅沼直和 (2009) 味の広がりを認識するのに必要な咀嚼回数をもとにした新たな味覚検査法の確立. 日本補綴歯科学会誌 1: 378-85.

新村弘子, 土屋総一郎, 滝嶋 博, 大島和成, 山下秀一郎 (2009) 三次元有限要素応力解析による下顎小白歯歯槽骨吸収に関する研究. 松本歯学 35: 144-9.

Nakatsuka Y, Yamashita S, Nimura H, Mizoue S, Tsuchiya S and Hashii K: Location of main occluding areas and masticatory ability in patients with reduced occlusal support. Australian Dental Journal (in press)

溝上真也, 山下秀一郎, 橋井公三郎, 中塚佑介 (2009) 咀嚼側の違いが下顎の咀嚼運動経路に及ぼす影響. 日本補綴歯科学会誌 (in press)

Kato T, Masuda Y, Kanayama H, Nakamura N, Yosida A and Morimoto T (2009) Heterogeneous activity level of jaw-closing and jaw-opening muscles and its association with arousal levels during sleep in guinea pig. Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol 298: 34-42.

その他の学術著作物

山下秀一郎 (2009) 最後方臼歯のみの遊離端欠損における補綴処置 短縮歯列をどう考えるか The Quintessence Year Book 2009 現代の治療指針 欠損・審美補綴と全治療分野 編

山下秀一郎, 橋井公三郎, 中塚佑介 学術投稿/アクティブエイジングで拓く明日の歯科医療 第4回 エイジングによる顎運動と運動制御機構 松本市歯科医師会会報 1 2009 vol. 355

学会発表

日本補綴歯科学会関西支部総会学術大会 2009年2月

新しいクラウンの評価基準について：中村隆志，佐藤裕二，北川 昇，服部佳功，山下秀一郎，玉置勝司，矢谷博文

International Association for Dental Research, 87th General Session of the IADR, April, 2009

Application of digital camera to determine occlusal vertical dimension. : Nakatsuka Y, Yamashita S, Hashii K and Kasahara T

Newly designed gustatory test based on progress of mastication. : Kasahara T, Yamashita S, Numao H, Tomida M, and Asanuma N

日本補綴歯科学会学術大会（第118回）2009年06月
新しく製作した模型歯を用いた築造窩洞形成シミュレーション実習 -穿孔の評価-：土屋総一郎，柳田史城，山下秀一郎

音楽経験者における顎関節症の疫学的研究：千葉由範，山下秀一郎，橋井公三郎，中塚佑介，溝上真也，笠原隼男

松本歯科大学学会（第68回）2009年7月

デジタルエックス線イメージングプレート取り扱い上の注意事項-背景の写り込みによるエラー像-：野々田 太，藤崎 昇，土屋総一郎，山下秀一郎

International Congress of Physiological Sciences, July, 2009.

Reducing effect of additional sensory stimuli on perception of pain. XXXVI, 27, Tomida M, Yamashita S, Onozuka M, Hirano Y, Tachibana A, Ando H and Asanuma N

Integrated Sleep Medicine Society Japan (ISMSJ) 学術集会（第1回）2009年9月

睡眠時無呼吸症候群患者の呼吸イベント後の覚醒応答に対する咀嚼筋・四肢筋活動の発現様相について：片瀬剛士，加藤隆史，谷口充孝，杉田淑子，山下秀一郎

歯科基礎医学会学術大会（第51回）2009年9月

安静時におけるモルモット閉口筋筋感覚ニューロン活動の変化：中村典正，加藤隆史，足立忠文，山下秀一郎，森本俊文，増田裕次

日本口腔インプラント学会中部支部学術大会（第30回）2009年11月

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した一例：寺本祐二，上松隆司，堂東亮輔，山下秀一郎，植田章夫

日本補綴歯科学会東海支部学術大会2009年11月

新しいマイクロ波重合型義歯床用レジン重合法の検討：後藤東太，中塚佑介，山下秀一郎，伊藤充雄

咀嚼を指標とした新たな味覚検査法の検討：笠原隼男，富田美穂子，浅沼直和，沼尾尚也，山下秀一郎

松本歯科大学推進研究費による研究

山下秀一郎：新しいマイクロ波レジン重合法の開発

藤崎 昇：歯科インプラントのための新規骨誘導法開発

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

片瀬志穂：非機能的な口腔顔面運動の発生を変動させる要因とその相互作用の解明（若手研究B）



論文発表

Yamaoka M, Takahashi Ma, Ishihama K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Age-related disruption of the lamina dura : evidence in the mandibular horizontal incompletely impacted third molar. Clin Interv Aging 4 : 451-6.

Yamaoka M, Ono Y, Takahashi Ma, Doto R, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Bone resorption in incompletely impacted mandibular third molars and acute pericoronitis. Clinical Cosmetic and Investigational Dentistry 1 : 7-12.

Yamaoka M, Ono Y, Takahashi Ma, Ishizuka M, Uchihashi T, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Acute inflammation in horizontal incompletely impacted third molar with radiolucency in the elderly. Clin Interv Aging 4 : 337-42.

Yamaoka M, Ono Y, Ishizuka M, Hasumi-Nakayama Y, Doto R, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Acute inflammation at a mandibular solitary horizontal incompletely impacted molar. International Journal of General Medicine 2 : 67-72.

Yamaoka M, Ono Y, Ishizuka M, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Radiolucency below the crown of mandibular horizontal incompletely impacted third molars and acute inflammation in men with diabetes. Clinical Cosmetic and Investigational Dentistry 1 : 27-34.

Takahashi Ma, Mizoguchi T, Uehara S, Nakamichi Y, Yang S, Naramoto H, Yamashita T, Kobayashi Y, Yamaoka M, Furusawa K, Udagawa N, Uematsu T and Takahashi N (2009) Docetaxel inhibits bone resorption through suppression of osteoclast formation and function in different manners. J Bone Miner Metab 27 : 24-35.

Okamoto R, Enomoto A, Koizumi H, Tanaka S,

Ishihama K and Kogo M (2009) Long-term potentiation of intrinsic excitability in trigeminal motoneurons. *Brain Res* (in press).

Koizumi H, Nomura K, Yokota Y, Enomoto A, Yamanishi T, Iida S, Ishihama K and Kogo M (2009) Regulation of trigeminal respiratory motor activity in the brainstem. *J Dent Res* **88** : 1048-53.

Ishihama K, Koizumi H, Wada T, Iida S, Tanaka S, Yamanishi T, Enomoto A and Kogo M (2009) Evidence of aerosolised floating blood mist during oral surgery. *J Hosp Infect* **71** : 359-64.

Idoji Y, Ishihama K, Iida S, Yamanishi H and Kogo M (2009) Mandibular fractures in severely developmentally disabled persons. *J Trauma* **66** : 46-9.

Wada T, Ishihama K, Yonemitsu K, Sumioka S, Yamada C, Higuchi M and Kogo M (2009) Blood contamination of environmental surfaces in outpatient oral surgery operatory. *Asian J Oral Maxillofac Surg* (in press).

Sugiura T, Inoue Y, Matsuki R, Ishii K, Takahashi Mi, Abe M and Shirasuna K (2009) VEGF-C and VEGF-D expression is correlated with lymphatic vessel density and lymph node metastasis in oral squamous cell carcinoma : Implications for use as a prognostic marker. *Int J Oncol* **34** : 673-80.

浦出雅裕, 田中徳昭, 嶋田 淳, 柴田考典, 古澤清文, 桐田忠昭, 山本哲也, 池邊哲郎, 北川義政, 倉科憲治, 瀬戸暎一, 福田仁一 (2009) ビスホスホネート投与と関連性があると考えられた顎骨髄炎ならびに顎骨壊死30症例に関する追跡調査 ～2年後の現状について～ 調査企画(拡大)委員会 日本口腔外科会誌 **5511** : 553-61.

宮下みどり, 中山洋子, 梅村哲弘, 山田秀史, 石濱孝二, 安田浩一, 山岡 稔, 古澤清文 (2009) 外科矯正術後の長期的な感覚異常の検討 口腔顔面神経機能学会誌 **13** : 10-2.

内橋隆行, 上松隆司, 高田匡基, 秋田大輔, 丸川和也, 中澤高志, 山岡 稔, 古澤清文 (2009) In vitro 内軟骨性骨化モデルにおけるポリリン酸の石灰化促進作用. 口腔組織培養学会誌 **18** : 29-36.

中村美どり, 宇田川信之, 上松隆司 (2009) ヒト自己培養骨髄間葉系細胞移植を用いた歯槽骨再生の可能性. *The BONE* **23** : 303-9.

その他の学術著作物

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療：ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 (BRONJ) 松本歯科医師会会報 **364** : 6-7.

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療：顎関節症. 松本歯科医師会会報 **365** : 6-7.

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療：進行性下顎頭吸収 (Progressive Condylar Resorption) 松本歯科医師会会報 **366** : 6-7.

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療：睡眠時無呼吸症候群 (Sleep Apnea Syndrome : SAS) (2009) 松本歯科医師会会報 **367** : 7-9.

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療：口腔癌 松本歯科医師会会報 **368** : 5-7.

小野裕輔, 上松隆司, 古澤清文 (2009) 口腔乾燥症における外用薬の有用性-アズレンスルホン酸ナトリウム含嗽剤とグリセリン・カルメロースナトリウム口腔保湿剤の使い分け- *デンタルハイジーン* **29** : 907-10.

学会発表

第8回日本再生医療学会総会 (東京) 3月5～6日

Cell processing center を利用した骨再生療法の確立 : 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 内橋隆行, 下平滋隆, 脇谷滋之, 中村美どり, 宇田川信之, 古澤清文

第87回国際歯科学研究会議 (IADR) (マイアミ) 4月1～4日

Cell migration and enzyme expression in tetraspanin-expressing cancer cells : Niwa T, Uematsu T, Takahashi Mi, Sugiura T, Shirasuna K, Yamaoka M and Furusawa K

Fundamental Investigation of Cell Processing System for Bone Regeneration : Takahashi Mi, Uematsu T, Teramoto Y, Doto R, Uchihashi T, Shimodaira S, Uemura T, Tahara H, Wakitani S, Udagawa N and Furusawa K

Inorganic Polyphosphate Induces Osteoblastic Differentiation : Uchihashi T, Uematsu T, Usui Y, Takahashi Ma, Takahashi Mi, Takada M, Niwa T, Yamaoka M and Furusawa K

Effect of Inorganic Polyphosphate on Chondrogenic Precursor Cell Line ATDC 5 : Takada M, Uematsu T, Uchihashi T, Takahashi Ma, Takahashi Mi, Michigami T, Yamaoka M and Furusawa K

α -N-acetylgalactosaminidase is a potential cellular immunodeficiency factor in cancer patients : Uematsu T, Doto R, Uchihashi T, Takahashi Mi, Yamaoka M and Furusawa K

第63回日本口腔科学会学術集会総会 (浜松) 4月17日

ポリリン酸は軟骨前駆細胞の分化を促進する Inorganic polyphosphate facilitates the chondrogenic differentiation. : 高田匡基, 上松隆司, 内橋隆行, 山岡 稔, 古澤清文

歯科治療時に発生するエアロゾルについて : 山田

秀史, 石濱孝二, 安田浩一, 中山洋子, 小野裕輔, 梅村哲弘, 宮下みどり, 山岡 稔, 古澤清文

培養自己骨髄間葉系細胞を用いた骨再生療法の確立: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 内橋隆行, 高橋美穂, 古澤清文

口腔癌細胞における DPP4 遺伝子ファミリーの発現: 丹羽 崇, 上松隆司, 高橋美穂, 古澤清文

最近5年間の当科における口腔乾燥症の治療成績: 小野裕輔, 上松隆司, 古澤清文

シアリルイス A, X を介した癌細胞の血管内皮細胞への接着に対する CD82/KAI1 の影響: 千北さとみ, 杉浦 剛, 安部正和, 高橋美穂, 石井広太郎, 下田みゆき, 小林洋輔, 白砂兼光

第27回日本骨代謝学会 (大阪) 年7月

ポリリン酸は軟骨前駆細胞の分化を促進し, 石灰化を促進する: 内橋隆行, 上松隆司, 高田匡基, 道上敏美, 古澤清文

The 32nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society Nagoya Sep 17th

Developmental changes of synapse related proteins in fetal rat trigeminal neurons. : Yamada H, Ishihama K, Yasuda K, Nakayama Y, Umemura T, Shimoji S, Okayama M, Yamada T, Yamaoka M and Furusawa K

2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation (PAPF), 1st Meeting of the IADR Asia/Pacific Region (APR)

第57回 JADR 学術大会 (中国, 武漢) 9月22~24日

Phenotypical Change in Tetraspanin-expressed cancer cells. : Uematsu T, Takahashi Mi, Niwa T, Uchihashi T, Takada T, Marukawa K, Nakazawa T, Akita D, Li X, Yamaoka M and Furusawa K

第68回日本癌学会学術総会 (横浜) 10月1~3日

Alteration in the Expression of Dipeptidyl Peptidases in Tetraspanin-Expressed Cancer cells. : 高橋美穂, 上松隆司, 丹羽 崇, 杉浦 剛, 山岡 稔, 古澤清文

第54回日本口腔外科学会総会・学術大会 (札幌) 10月9~10日

頬部に発生した筋周皮腫の一例 A case of myopericytoma of the cheek. : 高田匡基, 堂東亮輔, 高橋美穂, 内橋隆行, 寺本祐二, 高橋昌宏, 上松隆司, 古澤清文

下顎埋伏智歯抜歯における歯科用 CT を用いた術前評価の有用性: 山田高久, 石濱孝二, 安田浩一, 中山洋子, 梅村哲弘, 山田秀史, 宮下みどり, 伊藤香那, 山岡 稔, 古澤清文

下顎埋伏智歯抜歯におけるエアロゾルの発生要因について: 下地茂弘, 石濱孝二, 安田浩一, 山田秀史, 中山洋子, 梅村哲弘, 宮下みどり, 岡山政樹, 山岡 稔, 古澤清文

ラット三叉神経運動核におけるシナプス関連タンパクの発生的変化: 岡山政樹, 石濱孝二, 山田秀史, 安田浩一, 中山洋子, 梅村哲弘, 山田高久, 小笠原慶一, 山岡 稔, 古澤清文

培養癌細胞における DPP4 遺伝子ファミリーの発現: 丹羽 崇, 上松隆司, 高橋美穂, 古澤清文

口腔乾燥症に対する口腔保湿剤 (フィットエンジェル®) の有用性: 小野裕輔, 上松隆司, 上田青海, 古澤清文

第30回日本口腔インプラント学会中部支部総会・学術大会 (岐阜) 11月8日

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した一例: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 山下秀一郎, 植田章夫, 古澤清文

第69回松本歯科大学学会 (例会) 11月14日

口腔外科手術における3次元石膏造形モデルの有用性: 山田秀史, 石濱孝二, 梅村哲弘, 宮下みどり, 伊藤香那, 岡山政樹, 下地茂弘, 山田高久, 小笠原慶一, 中山洋子, 安田浩一, 山岡 稔, 古澤清文

第46回日本口腔組織培養学会学術大会 (東京) 12月5日

培養自己骨髄間葉系細胞を用いた骨再生療法の基礎的研究: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 高田匡基, 丹羽 崇, 丸川和也, 古澤清文

第13回日本顎顔面インプラント学会 (佐賀) 12月12日

培養骨髄間葉系細胞を骨再生療法に適用するための基礎的研究: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 高田匡基, 丹羽 崇, 丸川和也, 古澤清文

臨床研究厚生労働省認可

上松隆司: ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨増生法の確立 (厚生労働省発医政0910第1号: 平成21年9月10日)

松本歯科大学推進研究費による研究

上松隆司: 組織体性幹細胞を用いた顎骨再生療法の試み-自己骨髄間葉系幹細胞移植と臨床評価法の確立-

石濱孝二: 顎骨手術における骨密度・硬度の術前予測に関する組織・放射線学的検討

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

山岡 稔: 頭頸部癌細胞由来 RNA ヘリカーゼのクローニングと機能解析 (萌芽研究)

上松隆司: 骨吸収を促進する Nod ファミリーシグナルの解析 (基盤研究 C)

石濱孝二: 哺乳運動に関わる神経回路網の発達について (基盤研究 C)

寺本祐二：GMP 基準口腔組織再生療法の確立（若手研究 B）

内橋隆行：骨形成に関わるポリリン酸ホスファターゼの単離同定（若手研究 B）

丹羽 崇：自己骨髄間葉系幹細胞を用いた顎骨再生療法の確立（若手研究 B）



論文発表

Toritsu T, Yamada K, Fukui T, Yamaki M, Nakamura J and Saito I (2009) A cross-sectional study on the relationship between craniofacial morphology and the coronoid process. *Eur J Orthod* **31** : 613-9.

Tanaka T, Okumura M, Iwata K, Himeno K, Tokizaki T, Yamada K, Okafuji N, Kurihara S, Iwakami T and Kondo E (2009) Gene expression in trigeminal ganglion neurons in temporomandibular joint inflamed rats -Changes in transient receptor potential channels-Pain Research **24** : 147-58.

Yahata M, Yamada K, Hayashi T and Saito I (2009) Unilateral condylar bone deformity and slope of articular eminence related to mandibular asymmetry. *Cranio* **27** : 261-7.

Kawahara I, Koide M, Tadokoro O, Udagawa N, Nakamura H, Takahashi N and Ozawa H (2009) The Relationship between Calcium Accumulation in the osteoclast mitochondrial Granules and Bone Resorption. *Bone* **45** : 980-6.

Tadokoro O, Kawahara I, Radunovic VV and Inoue K (2009) Distribution of epithelial cells and their relationship to immunocompetent cells in rat periodontium : a confocal and transmission electron microscope study. *J Histochem Cytochem* **57** : 315-25.

Utsuno H, Kageyama T, Uchida K, Yoshino M, Oohigashi S, Miyazawa H and Inoue K (2009) Pilot study of facial soft tissue thickness differences among three skeletal classes in Japanese females. *Forensic Science International* **195** : 165. e1-5.

Moriyama K, Watanabe S, Iida M, Fukui S and Sahara N (2009) Morphological characteristics of upper jaw dentition in a gobiid fish (*Sicyopterus japonicus*) -A Micro-computed Tomography Study-J Oral Biosci **51** : 81-90.

Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Nakamura H, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka

H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. *J Cell Biol* **184** : 541-54.

Ara T, Kurata K, Hirai K, Uchihashi T, Uematsu T, Imamura Y, Furusawa K, Kurihara S and Wang PL (2009) Human gingival fibroblasts are critical in sustaining inflammation in periodontal disease. *J Periodontal Res* **44** : 21-7.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar C H and Kawakami T (2009) Expression of HSP in Dental Root Pulp Cells due to Experimental Orthodontic Mechanical Stress. *J Hard Tissue Biol* **18** : 127-30.

山田一尋 (2009) 矯正臨床における顎関節症に対する対応. 近畿東海矯正歯科学会雑誌 **44** : 1-6.

影山 徹 (2009) 松本歯科大学矯正歯科におけるインプラントアンカーを用いた矯正治療の現状. 甲北信越矯正歯科学会誌 **17** : 25-30.

渡邊武寛, 中野敬介, 清水貴子, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的牽引側における歯根膜線維芽細胞の免疫組織化学. *J Hard Tissue Biol* **18** : 175-80.

松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (2009) マウスの矯正学的牽引側歯根膜における BMP 組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **18** : 181-4.

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的メカニカルストレスによりマウス歯根膜組織に発現する熱ショックタンパクの免疫組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **18** : 193-8.

金山隼人, 荒井 敦, 大澤雅樹, 山田一尋 (2009) 歯科矯正学講義における形成的評価. *松本歯学* **35** : 139-43.

倉田和之, 村岡理奈, 富永憲俊, 杠 俊介, 近藤昭二, 山岡 稔, 山田一尋 (2009) 松本歯科大学病院矯正歯科における過去10年間の口唇裂・口蓋裂患者に関する実態調査. *日本口蓋裂学会雑誌* **34** : 261-72.

その他の学術著作物

荒井 敦 (2009) 海外文献紹介「インターフェロン調節因子8は破骨細胞形成を抑制することにより骨代謝を制御する」骨粗鬆症治療 **8** : 89.

学会発表

VitaminK and Aging 研究会 (第12回) 2009年2月 吸収窩体積計測による破骨細胞吸収活性評価法 : 川原一郎, 中原徳雄, 二宮 禎, 小澤英浩 (第12回)

VitaminK and Aging 研究会記録集)

日本物理学会 (第64回) 2009年3月

医科歯科系初年次学生のための物理系教育Ⅲ-講義と問題演習および実験実習とを連携させた授業実践- : 田中忠芳, 増田裕次, 熊井敏文, 川原一郎, 小出雅則, 奥村雅代, 大島和成

日本解剖学会 (第114回) 2009年3月

ラット歯周組織における上皮細胞の分布と免疫担当細胞との相互関係 : 田所 治, 川原一郎, 井上勝博 (Journal of Oral Biosciences 51 : 144, 2009)

日本骨形態計測学会 (第29回) 2009年5月

培養破骨細胞吸収活性への三次元計測法の応用 : 中原徳雄, 川原一郎, 小澤英浩

甲北信越矯正歯科学会シンポジウム (第24回) 2009年6月

松本歯科大学矯正歯科におけるインプラントアンカーを用いた矯正治療の現状 : 影山 徹 (プログラム抄録集 24 : 27, 2009)

甲北信越矯正歯科学会3大学交流セミナー2009年6月

斜頸に起因する顔面非対称と上顎右側側切歯の先天性欠如を伴う skeletal Class 3 症例 : 薄井陽平

甲北信越矯正歯科学会大会 (第24回) 2009年6月

松本歯科大学病院における矯正治療後の患者・保護者の意識について : 大鶴次郎, 影山康子, 山田一尋 (甲北信越矯正歯科学会大会抄録集 24 : 31, 2009)

矯正用インプラントアンカー (仮称) を用いた skeletal Class III 症例 : 堂東正輔 (甲北信越矯正歯科学会大会抄録集 24 : 41, 2009)

下顎両側中切歯と上顎右側第二小臼歯欠損を伴うアングルⅡ級ハイアングル症例 : 外園泰久 (甲北信越矯正歯科学会大会抄録集 24 : 54, 2009)

機能性要因による前歯部反対咬合症例 : 岸本英子 (甲北信越矯正歯科学会大会抄録集 24 : 55, 2009)

日本顎変形症学会総会 (第19回) 2009年6月

頭蓋縫合早期癒合症患者に対する骨延長術後の軟組織側貌変化について : 倉田和之, 村岡理奈, 大澤雅樹, 野口昌彦, 山田一尋 (日本顎変形症学会雑誌抄録集 19(2) : 141, 2009)

日本骨代謝学会 (第27回) 2009年7月

細胞周期の停止した静止期破骨細胞前駆細胞 (QOP) の性状解析-QOP は B 細胞マーカーを発現している- : 武藤昭紀, 溝口利英, 荒井 敦, 小林泰浩, 中道裕子, 吉成伸夫, 宇田川信之, 高橋直之 (第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集 : 192, 2009)

c-Fos 遺伝子欠損マウスを用いた静止期破骨細胞前駆細胞 (QOP) の解析-c-Fos は RANK の発現を誘導し QOP 分化を制御する- : 荒井 敦, 溝口利英, 武藤昭紀, 小林泰浩, 川原一郎, 中村美どり, 宇田川信之, 山田一尋, 高橋直之 (第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集 : 208, 2009)

First Asian Academic Congress for T. M. J 2009年9月

Morphological changes of the temporomandibular joint after SSRO in skeletal Class III with mandibular deviation. Kageyama T, Enami H, Komazaki Y and Yamada K.

ANALYSIS OF MASTICATORY MOVEMENT IN THE BITE-RAISED GUINEA PIGS : Kaniyama H, Masuda Y, Kato T, Adachi T, Arai Y, Yamada K, Morimoto T.

歯科基礎医学会学術大会・総会 (第51回) 2009年9月

モルモットを用いた実験的咬合高径低下 : 金山隼人, 加藤隆史, 足立忠文, 山田一尋, 森本俊文, 増田裕次 (J Oral Biosci 51 Suppl : 2009, 108)

メカニカルストレスの惹起するマウス牽引側歯根膜細胞における骨芽細胞分化関連因子の免疫組織化学的検討 : 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (J Oral Biosci 51 Suppl : 2009, 116)

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜細胞における HSP 70 の局在変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (J Oral Biosci 51 Suppl : 2009, 145)

三叉神経領域感覚-運動統合機構研究会 (第3回) 2009年10月

モルモット大脳皮質における咀嚼様顎運動誘発部位からの皮質内神経連絡の機能的役割 : 戸井尚子, 足立忠文, 加藤隆史, 吉田 篤, 金山隼人, 森本俊文, 増田裕次

日本口腔衛生学会総会 (第58回) 2009年10月

矯正治療必要度指標 (IOTN) と不正咬合の自己認識および診断結果との関連について : 大鶴次郎 (口腔衛生会誌 59(4) : 320, 2009)

日本咀嚼学会学術大会 (第20回) 2009年10月

学童期における多方位口唇閉鎖力に関する調査研究 : 大石めぐみ, 安富和子, 中塚久美子, 増田裕次 (日本咀嚼学会誌 19(2) : 111)

日本生化学会大会 (第82回) 2009年10月

p.gingivalis SOD の金属寛容性を発現するアミノ酸残基の検討 : 三原正志, 大澤雅樹, 山倉文幸, 山田一尋, 平岡行博

日本矯正歯科学会大会 (第68回) 2009年11月

側方偏位を伴う骨格性下顎前突症における下顎枝矢状分割骨切術施行後の下顎の非対称性の改善量と顎関節形態について : 影山 徹, 枝並宏治, 森山敬太, 駒崎佑介, 影山康子, 山田一尋 (第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 239, 2009)

Index of Orthodontic Treatment Need (IOTN) を用いた松本歯科大学新入生の不正咬合の自己評価に関する調査 : 大鶴次郎, 山田一尋 (第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 244, 2009)

松本歯科大学病院 矯正歯科における Goslon Yardstick を用いた上下顎歯列弓関係の評価：荒井 敦，倉田和之，大澤雅樹，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：249，2009）

矯正歯科治療前後における上下顎中切歯部歯槽骨の変化に関する研究：大澤雅樹，岸本英子，緒方貴美子，森山敬太，松田浩和，共田真紀，三原正志，田口 明，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：240，2009）

歯根膜リモデリングにおける CD34 陽性血管系幹細胞の動態：川原良美，山田一尋，川原一郎，小澤英浩（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：169，2009）

モルモットにおいて顎間ゴム装着が咬合高径に与える影響：金山隼人，増田裕次，森本俊文，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：141，2009）

実験的歯科矯正治療により惹起されるマウス牽引側歯根膜細胞における骨芽細胞分化関連因子の免疫組織化学的発現変化：松田浩和，村岡理奈，共田真紀，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：161，2009）

骨格性下顎前突者のガム咀嚼時における筋活動の相違：富永憲俊，金澤昌律，竹尾健吾，金山隼人，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：256，2009）

煎餅を用いた咀嚼機能と顔面形態および口腔周囲機能との関係：金澤昌律，村上円郁，富永憲俊，金山隼人，松尾浩一郎，河野正司，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：148，2009）

頭蓋縫合早期癒合症における Le Fort III 骨延長術後の咽頭気道形態の変化：倉田和之，富永憲俊，村岡理奈，野口昌彦，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：233，2009）

多方位口唇閉鎖力と顎顔面形態の関連性：村上円郁，中塚久美子，金澤昌律，水野瑠莉香，増田裕次，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：138，2009）

片側性口唇口蓋裂患者における口唇閉鎖力の方向的特異性：中塚久美子，村上円郁，大石めぐみ，増田裕次，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：247，2009）

口唇閉鎖力，舌圧と顎顔面形態の関連性について：堂東正輔，山田一尋（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：125，2009）

歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜組織における HSP の発現変化：村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：162，2009）

内藤カンファレンス（第26回）2009年11月
Characterization of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors : Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Kobayashi Y, Penninger JM and Takahashi N（プログラム抄録集：72，2009）

学術大会特別講演

近畿東海矯正歯科学会学術大会（第51回）2009年6月

矯正臨床における顎関節症に対する対応：山田一尋

講演会

新潟大学福井支部同窓会講演会2009年11月
歯科矯正治療と顎関節症：山田一尋（近畿東海矯正歯科学会雑誌 44(1)：44，2009）

長野県矯正研究会2009年12月

スタンダードエッジワイズ治療：山田一尋

松本歯科大学推進研究費による研究

山田一尋：矯正ワイヤーにおけるサンドブラスト処理を用いた場合の歯の移動と臨床メカニクスの確立

中塚久美子：顎変形症患者における多方位口唇閉鎖力について

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

影山 徹：加齢に伴う実験的歯の移動における歯根膜組織の改造活性能（若手研究 B）

荒井 敦：矯正力負荷により制御される破骨細胞ニッチの解析（若手研究 B）

金山隼人：咬合高径低下モデル動物の開発と生体変化の解明（若手研究 B）



論文発表

Taguchi A (2009) Panoramic radiographs for identifying individuals with undetected osteoporosis : The Japanese Dental Science Review 45 : 109 -20.

Higashi Y, Goto C, Hidaka T, Soga J, Nakamura S, Fujii Y, Hata T, Idei N, Fujimura N, Kihara Y and Taguchi A (2009) Oral infection-inflammatory pathway, periodontitis, is a risk factor for endothelial dysfunction in patients with coronary artery

disease. *Atherosclerosis* **206** : 604–10.

Morita I, Nakagaki H, Taguchi A, Kato K, Murakami T, Tsuboi S, Hayashizaki J, Inagaki K and Noguchi T (2009) Relationships between mandibular cortical bone measures and biochemical markers of bone turnover in elderly Japanese men and women. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod* **108** : 777–83.

Samopa F, Asano A and Taguchi A (2009) Automatic molar extraction from dental panoramic radiographs for forensic personal identification. *IEICE Trans. Information and Systems* **11** : 2287–90.

三木 学, 内田啓一, 浅輪貴行, 上原大輔, 深澤常克, 吉成伸夫, 田口 明 (2009) MR sialography の有用性. *松本歯学* **35** : 33–4.

三木 学, 内田啓一, 浅輪貴行, 上原大輔, 深澤常克, 吉成伸夫, 田口 明 (2009) Signa HDxt 1.5 T (tesla) による MRI 診断: 復位を伴う顎関節円板前方転位の 1 例. *松本歯学* **35** : 29–32.

Shinjo K, Muneyasu M, Hasegawa K, Asano A and Taguchi A (2009) A Detection method for carotid artery calcification in dental panoramic radiographs. *Proc. 2009 International Workshop on Smart Info-Media Systems in Asia (SISA 2009)*, 102–5.

Shinjo K, Muneyasu M, Fujita K, Asano A and Taguchi A (2009) Improvement of the detection method for carotid artery calcification in dental panoramic radiographs. *Proc. 2009 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems (ISPACS 2009)* 119–22.

Taguchi A (2009) Can predicting risk tool for osteoporotic fracture actually reduce the fractures? *BMJ*

三木 学, 内田啓一, 藤木知一, 宇都野 創, 黒岩博子 (2009) 抜歯後に縦隔部まで及んだ皮下気腫の 1 例. *日口診誌* **22** : 317–20.

Utsuno H, Kageyama T, Uchida K, Yoshino M, Oohigashi S, Miyazawa H and Inoue K (2009) Pilotstudy of facial soft tissue thickness differences among three skeletal classes in Japanese females. *Forensic Sci Int* **195** : 165. e1–e5.

学会発表

日本口腔外科学会教育研修会 (2009年口腔四学会合同研修会) (第31回) 2009年 2 月

顎骨壊死・骨髄炎の画像診断 (教育講演): 田口 明

日本外科系連合学会学術集会 (第34回) 2009年 6 月

骨粗鬆症治療薬としてのビスフォスフォネート系薬剤の歯科における功罪. ワークショップ(9) ビスフォスフォネート系薬剤と顎骨壊死 (招待シンポジスト): 田口 明

The 17th International Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology Aug 2009 Diagnosis of osteoporosis on panoramic radiographs (Invited keynote speaker): Taguchi A

Visual assessment of non-eroded thin cortex on panoramic radiographs in identifying women with osteoporosis: Osteoporosis Screening Project in Dentistry (OSPD): Taguchi A, Asano A, Ohtsuka M, Nakamoto T, Seki K, Okano T, White SC, Devlin H, Brooks SL, Van der Stelt PF, Jacobs R, Lindh C, Rohlin M, Choi SC and Horner K

日本骨代謝学会 (第27回) 2009年 7 月

顎骨壊死: 病態の理解と対応. 第27回日本骨代謝学会 (画像診断担当パネリスト): 田口 明

日本口腔外科学会教育研修会 (口腔四学会合同研修会) (第32回) 2009年 8 月

顎骨壊死・骨髄炎の画像診断 (教育講演): 田口 明.

15th Scientific and Refresher Course in Dentistry (KPPIKG 2009) Oct 2009

Dental Breakthrough in the 21st Century, Where Science Meets Technology. Triage screening for osteoporosis by dental panoramic radiographs (Invited main speaker): Taguchi A

日本歯科医学教育学会 (第28回) 2009年11月

シンポジウムⅢ「Evidenced-Based Education のための歯科医学教育研究のデザインと手法について」歯学教育研究における量的・質的解析法について (招待シンポジスト): 田口 明

新潟大学大学院医歯学総合研究科セミナー 2009年11月

パノラマ X 線写真から診る骨粗鬆症: HRT から Denosumab に至る骨粗鬆症治療薬と顎骨骨髄炎との関連を含めて (招待講演) 田口 明

回路とシステム 軽井沢ワークショップ (第22回) 2009年 4 月

歯科パノラマ X 線写真における石灰化領域の検出: 新庄勝之, 棟安実治, 花田良子, 浅野 晃, 田口 明

春季日本歯周病学会 (第52回) 2009年 5 月

松本歯科大学病院来院患者における歯科実態調査-歯周病科受診患者のデンタルエックス線写真による検討-: 三木 学, 内田啓一, 窪川恵太, 阪中孝一郎, 横井隆政, 吉成伸夫, 田口 明

松本歯科大学学会総会 (第68回) 2009年 7 月

デジタルエックス線イメージングプレート取り扱い上の注意事項-背景の写り込みによるエラー像-: 野々田 大, 藤崎 昇, 土屋総一郎, 内田啓一, 山下

秀一郎

日本顎関節学会総会（第22回）2009年7月

顎関節症の画像診断ガイドラインの策定：林孝文，佐野 司，庄司憲明，田口 明，筑井 徹，中山英二，村上秀明，末永重明，小林 馨，西山秀昌
骨格性下顎前突症における下顎矢状分割骨：切術後の顎関節の形態変化について：枝並宏治，影山 徹，田口 明，山田一尋

松本歯科大学学内推進研究報告会（第1回）2009年8月

パノラマエックス線写真による若年者における骨粗しょう症予備軍の早期スクリーニング手法の開発：田口 明

歯科放射線学における問題解決型自己学習支援システムの構築と開発の研究：内田啓一，田口 明，黒岩博子，杉野紀幸，藤木知一，音琴淳一，宇都野 創

パノラマエックス線写真を用いた「8020運動」の実態調査と歯周病予防管理システム構築への応用的研究：三木 学，佐藤徳志，内田啓一，窪川恵太，阪中孝一郎，横井隆政，吉成伸夫，田口 明

日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部学術大会（第29回）2009年8月

インプラント周囲炎の骨質規定マーカーとの関係 その4：奥寺俊允，相澤八大，増木英郎，鯨岡昌寿，田中かずさ，奥寺 元，田口 明。

ビスフォスフォネート服用患者におけるインプラントと骨質規定マーカーとの関係 その5。奥寺元，渡辺泰典，桜井 誠，鈴木正史，田口 明

International Workshop on Smart Info-Media Systems in Asia (SISA 2009) Oct 2009

A Detection method for carotid artery calcification in dental panoramic radiographs : Shinjo K, Muneyasu M, Hasegawa K, Asano A and Taguchi A

日本歯科放射線学会臨床画像大会（第14回）2009年10月

顎関節症の画像診断ガイドラインの策定について：林 孝文，佐野 司，庄司憲明，田口 明，筑井 徹，中山英二，村上秀明，末永重明，小林 馨，西山秀昌

日本歯周病学会中部地区大学日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会（第4回）2009年10月

松本歯科大学病院来院患者のパノラマエックス線写真による歯科実態調査：三木 学，内田啓一，山田真一郎，窪川恵太，阪中孝一郎，横井隆政，吉成伸夫，田口 明

日本矯正歯科学会（第68回）2009年11月

矯正歯科治療前後における上下顎中切歯部歯槽骨の変化に関する研究：大澤雅樹，宮野英子，緒方貴美子，森山敬太，松田浩和，共田真紀，三原正志，田口 明

日本歯科放射線学会関西・九州合同地方会（第29

回）2009年11月

MR IDEAL 像による弱い持続噛み締め時の咬筋変化の解析：有地淑子，田口 明，佐久間重光，三木学，浅輪貴行，内田啓一，吉成伸夫，平岩裕一郎，木瀬祥貴，泉 雅浩，内藤宗孝，勝俣明敏，有地榮一郎。

International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems (ISPACS 2009) December 7-9, 2009

Improvement of the detection method for carotid artery calcification in dental panoramic radiographs : Shinjo K, Muneyasu M, Fujita K, Asano A and Taguchi A

松本歯科大学推進研究費による研究

田口 明：磁気共鳴画像撮像法（MRI）によるT2マッピング及びIdealを用いた咀嚼筋異常の定量的診断のための基準値策定に関する研究

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

田口 明：梗塞性心臓血管疾患リスク患者の早期スクリーニングのための口腔衛生指標の開発（基盤研究C）



論文発表

Uchiyama M, Nakamichi Y, Nakamura M, Kinugawa S, Yamada H, Udagawa N and Miyazawa H (2009) Dental pulp and periodontal ligament cells support osteoclastic differentiation. J Dent Res 88 : 609-14.

その他の学術著作物

中村浩志 (2009) 噴射切削法の小児歯科領域への応用 -等価騒音レベルについて-. 歯界展望 特別号 : 289. 医歯薬出版。

中村美どり，中道裕子，中村浩志，宇田川信之 (2009) 破骨細胞の形成と骨吸収. 日本臨床 67 : 889-96. 日本臨床社。

学会発表

The 6th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP), Seoul, KOREA (April, 2009)

Questionnaire Survey Concerning Mouthguards Fabricated in Student Laboratory Training : Am-

emiya A, Nakajima K, Kurokawa K, Handa J, Shoumura M, Karasawa K, Ozawa T, Mishima O, Takeda T and Ishigami K

22nd Congress of the International Association of Pediatric Dentistry, Munich, Germany (June, 2009)

Basic research on biomaterials for restoration of primary teeth : Mizutani T, Nakayama A, Iwasaki H and Miyazawa H

35th ADEE Association for Dental Education in Europe meeting, Helsinki, Finland (August, 2009)

The practice and approach toward dental students and dental faculty in Center for Excellence in Teaching and Learning : Okafuji N, Otagoto J, Semura E, Tomida M, Furukawa H, Masuda Y, Miyazawa H, Yoshizawa H, Kurasawa I and Hasegawa H

日本小児歯科学会大会 (第47回) 2009年5月

抗菌性モノマー配合ボンディング材のフィッシャーシーラントへの応用 第2報 彩色試作品の検討 : 竹内瑞穂, 蓮見秀樹, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

小児期における歯周病原性細菌の検出状況について -歯肉炎との関連- : 齋藤珠実, 上田青海, 小口久雄, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

乳歯の修復における生体吸収性材料の応用に向けた基礎研究 (第1報) : 水谷智宏, 中山 聡, 高梨登, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

歯周病関連細菌と環境要因 : 青木伯永, 寺本幸代, 齋藤珠実, 福地輝代, 高橋勝昭, 小口久雄, 河村勝美, 宮沢裕夫

日本スポーツ歯科医学会学術大会 (第20回) 2009年7月

市販スポーツマウスガード材料の衝撃吸収緩和に関する実験的検討 (第2報) 厚さ4.0mmの材料について : 鷹股哲也, 橋井公三郎, 沼尾尚也, 山木貴子, 加藤優美子, 中村貴美, 安西正明, 正村正仁

上顎無歯顎患者に対しダブルレイヤードマウスガード (仮称) で対応した症例 : 橋井公三郎, 鷹股哲也, 沼尾尚也, 山木貴子, 加藤優美子, 中村貴美, 安西正明, 正村正仁

日本外傷歯学会学術大会 (第9回) 2009年10月

乳児期の外傷に対する試み : 副島之彦, 高田里絵, 室伏業緒, 栗原康生, 吾妻昭夫, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

歯への障害を緩和する生体吸収性根管内ポストの基礎研究 : 水谷智宏, 中山 聡, 内山 正, 高梨登, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

マウスガードの衝撃吸収能の向上 (第1報) デザインおよび使用材料による影響 : 黒川勝英, 小澤卓充, 正村正仁, 中島一憲, 武田友孝, 石上恵一

日本小児歯科学会中部地方会大会 (第28回) 2009年10月

各種歯牙保存液が培養線維芽細胞に及ぼす影響 :

大須賀直人, 正村正仁, 水島秀元, 紀田晃生, 宮沢裕夫

幼稚園での歯科健診とその事後評価について : 金澤真亨, 川原康秀, 北村武嗣, 浅田匡彦, 吾妻昭夫, 栗原康生, 副島之彦, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

小児における歯周病原性菌の検出について : 川端明美, 齋藤珠実, 川端宏之, 上田青海, 田中みずき, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

リガチャーワイヤーを用いた乳歯冠誤飲・誤嚥防止について : 木下友江, 立岩 朗, 川原康秀, 栗原康生, 佐野あゆ, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

う蝕症第2度における炭酸ガスレーザーの有効性 : 浅田匡彦, 林 美津子, 北村武嗣, 金澤真亨, 吾妻昭夫, 栗原康生, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

乳歯癒合歯ならびに先天性欠如歯と後継永久歯との関係について -第3報 10年前との比較- : 田中 文也, 立岩 朗, 木下友江, 大東史奈, 金澤真亨, 浅田匡彦, 吾妻昭夫, 副島之彦, 栗原康生, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

幼児期のう蝕活性と環境要因 -1歳6ヶ月児と3歳児について- : 寺本幸代, 福地輝代, 青木伯永, 松田厚子, 宮沢裕夫

講 演

山西医科大学口腔医院臨床特別セミナー (中国) 2009年4月

-Dental health for children- : 岩崎 浩

中国九三学社山西省医療衛生委員会 (中国) 2009年4月

「中国人小児の口腔健康を考える -乳歯齲蝕について-」 : 岩崎 浩

シンポジウム

日本歯科薬物療法学会 (第29回) シンポジウム 2009年6月

小児の歯内療法に用いる新たな薬剤の開発と最新の知見 間接覆髄法・直接覆髄法・断髄法を中心に : 中山 聡

展示・説明会

産学交流ネットワーク 2009 2009年9月

乳歯における生体吸収性材料を用いた根管内ポスト : 水谷智宏

イノベーション・ジャパン2009 -大学見本市- 2009年9月

乳歯における生体吸収性材料を用いた根管内ポスト : 水谷智宏, 中山 聡, 高梨 登, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

まつもと広域工業ものづくりフェア 2009年9月

スポーツマンのためのマウスガード作製機：正村正仁

松本歯科大学推進研究費による研究

宇田川信之，宮沢裕夫，山田一尋，細矢明宏，中道裕子，中村美どり：歯髄細胞の有する石灰化機構のメカニズム解明

青木伯永：齶蝕症関連遺伝子検索による齶蝕診断法の確立

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

宮沢裕夫，中村浩志，中村美どり，中道裕子，宇田川信之：歯髄細胞による硬組織再生機構の解明（基盤研究 B）

中村美どり，宮沢裕夫，中村浩志，中道裕子，宇田川信之：歯髄・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究（基盤研究 C）

中村浩志，山下照仁，中村美どり，小出雅則，宇田川信之，宮沢裕夫：LPS シグナルを用いた口腔粘膜疾患モデルの開発（挑戦的萌芽研究）

水谷智宏：PLLA ポリ-L-乳酸を用いた歯科修復材料の検討（若手研究 B）

その他の研究補助金による研究

青木伯永：歯周病関連細菌と環境要因（財団法人富徳会2009年度研究者助成）



著 書

穂坂一夫，小笠原 正（分担執筆）（2009）発達と発達遅滞，In：日本障害者歯科学会編：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科，34-41，医歯薬出版，東京。

松尾浩一郎：アメリカにおける摂食・嚥下リハビリテーション，嚥下食の考え方と現状。In：藤島一郎編：摂食・嚥下リハビリテーションと栄養管理，全日本病院出版会，2009. 9, pp.167-72.

松尾浩一郎，小笠原 正（2009）内分泌，栄養および代謝疾患。In：日本障害者歯科学会編：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科，156-9，医歯薬出版，東京。

森 貴幸，小笠原 正（分担執筆）（2009）悪性新生物，In：日本障害者歯科学会編：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科，159-162，医歯薬出版，東京。

小笠原 正（分担執筆）（2009）行動療法，In：日

本障害者歯科学会編：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科，238-45，医歯薬出版，東京。

小笠原 正（分担執筆）（2009）スペシャルニーズのある人の健康支援，概要，セルフケア，In：日本障害者歯科学会編：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科，260-5，医歯薬出版，東京。

小松知子，小笠原 正（分担執筆）（2009）知的障害のある人への歯科的支援，In：日本障害者歯科学会編：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科，281-2，医歯薬出版，東京。

論 文 発 表

小笠原 正（2009）「被虐待児と発達障害」歯科から。日本歯科医療福祉学会誌 14：13-8.

Matsuo K and Palmer JB（2009）Coordination of mastication, swallowing and breathing. Jpn Dent Sci Rev 45：31-40.

河瀬聡一郎，隅田佐知，岡田尚則，松尾浩一郎，穂坂一夫，小笠原 正（2009）非協力患者に対するプロポフォールによる行動調整法における至適鎮静度の指標に関する研究—閉眼，睫毛反射の消失，スムーズなバイトブロックの挿入，を比較検討して—。日歯麻誌 37：554-9.

水澤 愛，三井理恵子，山村清美，岡田尚則，河瀬聡一郎，松尾浩一郎，小笠原 正（2009）介助磨きには小さめの歯ブラシが効果的か。障歯誌 30：39-44.

隅田佐知，小笠原 正，脇本仁奈，河瀬瑞穂，穂坂一夫，松尾浩一郎，緒方克也（2009）発達と特性からみた自閉症児者の歯科適応。障歯誌 30：550-5.

Hosaka K, Jackson D, Pickrell JE, Heima M and Milgrom P（2009）Flumazenil reversal of sublingual triazolam A randomized controlled clinical trial. JADA 140：559-66.

学 会 発 表

17th Annual meeting of Dysphagia Research Society, 2009年3月

Relationship between stage II transport and breathing: Matsuo K, Palmer JB（学会若手奨励賞受賞）

The Korean Association for Disability and Oral Health 2009 Conference, 2009年4月

The Ability of Autistic Persons to Adapt to Dental Equipment: Sumida S, Toi S, Miyashita N, Matsuo K, Hosaka K and Ogasawara T

Effects to the counting method among patients with developmental disorders: Toi S, Sumida S, Hosaka K, Andou N and Ogasawara T

Is the smallish toothbrush effective by assistance

tooth-brushing? : Mizusawa A, Toi S, Sumida S, Matsuo K and Ogasawara T

日本有病者歯科医療学会 (第18回) 2009年4月

下顎臼歯部抜歯後に重症菌性感染を起こした重症心身障害者の一例: 隅田佐知, 小笠原 正, 酒井洋徳, 倉科憲治

日本老年歯科医学会 (第20回) 2009年6月

要介護高齢者におけるカンジタ検出の要因: 小笠原 正, 松尾浩一郎, 隅田佐知, 河瀬瑞穂, 穂坂一夫, 川瀬ゆか, 尾崎由衛, 柿木保明 (第20回日本老年歯科医学会プログラム・抄録集: 135, 2009)

咀嚼, 嚥下時の頸部回旋角度の違いによる食物の咽頭流入の変化: 脇本仁奈, 松尾浩一郎, 河瀬聡一郎, 岡田尚則, 安東信行, 戸井尚子, 小笠原 正 (第20回日本老年歯科医学会プログラム・抄録集: 154, 2009)

日本歯科医療福祉学会 (第15回) 2009年6月

重症心身障害児・者病棟入院者の口腔管理26年の結果: 望月慎恭, 穂坂一夫, 小笠原 正 (第16回日本歯科医療福祉学会プログラム・抄録集: 22, 2009)

第1回スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック ボウリング競技会 ヘルシーアスリートプログラムにおけるスペシャルスマイルズの参加報告: 岡本卓真, 加藤孝明, 佐々真由子, 岡本敬子, 山田和代, 加藤万理, 山口みどり, 坪井信二, 名和弘幸, 隅田佐知, 岡田尚則, 小笠原 正, 荒木章純, 中垣晴男, 福田 理 (第16回日本歯科医療福祉学会プログラム・抄録集: 27, 2009)

日本心身医学5学会合同集会 (第1回) 2009年6月

歯科医師に対する非機能的認知を特徴とした歯科恐怖症患者の1例: 穂坂一夫, 古川洋和

Modified Dental Anxiety Scale 日本語版 (MDAS-J) の作成: 信頼性と弁別的妥当性の検討: 古川洋和, 穂坂一夫

中部歯科麻酔研究会 (第41回) (第30回日本歯科麻酔学会中部地方会) 2009年7月

乳歯交換期に感染性心内膜炎を発症した一例: 定岡 直, 望月慎恭, 岩谷和夫, 隅田佐知, 河瀬聡一郎, 安東信行, 松尾浩一郎, 岡田芳幸, 穂坂一夫, 小笠原 正

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 (第15回) 2009年8月

シンポジウム3 「プロセスモデルの臨床応用」プロセスモデルとは: 松尾浩一郎 (日摂食嚥下リハ会誌 **13**: 255, 2009)

固形物と同時に摂取した液体へのトロミ付与が食物の咽頭流入へ及ぼす影響: 松尾浩一郎, 河瀬聡一郎, 脇本仁奈, 安東信行, 増田祐次, 小笠原 正 (日摂食嚥下リハ会誌 **13**: 468, 2009)

重度嚥下障害を呈した多系統萎縮症の3例: 望月千穂, 玉井 敦, 武井洋一, 大原慎司, 松尾浩一郎

(日摂食嚥下リハ会誌 **13**: 472, 2009)

頸部回旋法により食道入口部の開大を認めた眼咽頭遠位型ミオパチーの一症例: 河瀬聡一郎, 松尾浩一郎, 脇本仁奈, 望月千穂, 武井洋一, 大原慎司, 小笠原 正 (日摂食嚥下リハ会誌 **13**: 334, 2009)

頸部回旋位の角度と有効性についての検討—第3報 咽頭での嚥下までの食物の流れについての検討—: 脇本仁奈, 松尾浩一郎, 植松紳一郎, 穂坂一夫, 山村清美, 藤井 航, 馬場 尊, 小笠原 正 (日摂食嚥下リハ会誌 **13**: 334, 2009)

要介護高齢者への口腔ケア後の含嗽は必要か?: 岡田尚則, 湖城秀久, 長瀬 忍, 砂川秀樹, 上地智博, 真喜屋暁子, 比嘉良 喬, 河瀬聡一郎, 脇本仁奈, 松尾浩一郎, 小笠原 正 (日摂食嚥下リハ会誌 **13**: 446, 2009)

日本障害者歯科学会 (第26回) 2009年10月

障害者の口腔の加齢的特徴: 小笠原 正 (障歯誌 **30**: 189, 2009)

要介護高齢者における剥離上皮膜の研究 第3報 光顕的所見: 川瀬ゆか, 宮下展子, 清水直人, 河瀬聡一郎, 高井経之, 小島広臣, 榊原葉子, 尾崎由衛, 柿木保明, 小笠原 正 (障歯誌 **30**: 198, 2009)

トロミ調整食品を添加した液体と食物を同時摂取した時の咀嚼, 食物の咽頭流入, 呼吸の変化: 松尾浩一郎, 河瀬聡一郎, 脇本仁奈, 安東信行, 岩谷和夫, 小笠原 正 (障歯誌 **30**: 386, 2009)

メピバカインを使用した局所麻酔はヒト圧受容器反射感受性を維持する: 岡田芳幸, 岩谷和夫, 望月慎恭, 松尾浩一郎, 小笠原 正 (障歯誌 **30**: 486, 2009)

上気道閉塞が咀嚼・嚥下に及ぼす影響 —健常者でのノーズクリップを用いた予備的検討—: 河瀬聡一郎, 松尾浩一郎, 岩谷和夫, 望月慎恭, 脇本仁奈, 松村康平, 小笠原 正 (障歯誌 **30**: 394, 2009)

歯科感染症により気管切開を行った重症心身障害者の一例: 隅田佐知, 植松紳一郎, 河瀬瑞穂, 福澤雄司, 松尾浩一郎, 小笠原 正 (障歯誌 **30**: 215, 2009)

全身麻酔下で歯科治療を行った小頭性骨異形成性初期小人症の1例: 戸井尚子, 隅田佐知, 脇本仁奈, 岡田尚則, 榊原雅弘, 伊沢正彦, 穂坂一夫, 小笠原 正 (障歯誌 **30**: 255, 2009)

軽度発達障害者への歯科支援システムのガイドラインの検討 第1報 —保護者の要望—: 牧井寛万, 隅田佐知, 安東信行, 野原 智, 薦田 智, 副島之彦, 石倉行男, 穂坂一夫, 小笠原 正, 緒方克也 (障歯誌 **30**: 437, 2009)

義歯を誤飲した知的障害者の2症例: 岩谷和夫, 塚田久美子, 脇本仁奈, 大槻征久, 大槻真理子, 榊原雅弘, 松尾浩一郎, 穂坂一夫, 小笠原 正 (障歯誌 **30**: 213, 2009)

施設入所重症心身障害者の長期歯科管理の経験—その効果と問題点—：望月慎恭，岩谷和大，野原智，涓東淳行，三井貴信，正田行穂，平出吉範，小柴慶一，松尾浩一郎，穂坂一夫，小笠原 正，笠原浩（障歯誌 30：394，2009）

知的障害者におけるデンタルフロスのレディネス：山村清美，三井理恵子，水澤 愛，新井麻衣子，脇本仁奈，隅田佐知，安東信行，松尾浩一郎，穂坂一夫，小笠原 正（障歯誌 30：346，2009）

スペシャルオリンピックスにおけるマウスガードの認知度と使用経験：小林博昭，勝田 泉，峯村伸児，大井晃子，中村 通，岡本卓真，坪井信二，名和浩幸，岡田芳幸，小笠原 正，福田 理，高橋久雄，永島康弘（障歯誌 30：207，2009）

地域開催のスペシャルオリンピックスに参加したボランティアの意識：勝田 泉，小林博昭，峯村伸児，大井晃子，中村 通，坪井信二，隅田佐知，安東信行，小笠原 正，福田 理，笠原 浩，高橋久雄，永島康弘（障歯誌 30：208，2009）

一般開業歯科医院での障害者診療の現状と課題：大西めぐみ，横田 誠，藤崎美穂，上田亜耶，岩崎香代，小笠原 正（障歯誌 30：245，2009）

スペシャルオリンピックス日本 愛知におけるヘルシーアスリートプログラムでの歯科保健活動の成果：岡本卓真，加藤孝明，佐々真由子，溝口理知子，前田真弓，三浦郁代，山口みどり，岡本敬予，山田和代，小笠原 正，荒木章純，福田 理（障歯誌 30：367，2009）

当センターで管理している障害児（者）のう蝕活動性に関する検討：岡田尚則，津波みどり，比嘉紀子，垣花 賢，神元龍一，玉城英人，松島一夫，真喜屋睦子，比嘉良 喬，平塚正雄，小笠原 正（障歯誌 30：464，2009）

招待講演

The Korean Association for Disability and Oral Health 2009 Conference, April 26th, 2009

Ogasawara T (Invitation lecture) Status of Oral Health for Cerebral Palsy in Japan

門真市歯科医師会（門真）2009年2月21日

小笠原 正（招待講演）障害者歯科の最近のトピックス

長野市歯科医師会・臨床座談会（長野）2009年4月23日

小笠原 正（招待講演）診療所で起こりうる緊急事態への備え

広島県保険医協会（広島）2009年5月23日

小笠原 正，河瀬聡一郎（招待講演）「歯科救急医療セミナー」

広島県保険医協会（福山）2009年5月24日

小笠原 正，河瀬聡一郎（招待講演）「歯科救急医

療セミナー」

第15回日本歯科医療福祉学会（名古屋）2009年6月28日

小笠原 正（シンポジウム）虐待児と発達障害，歯科から

市立大町総合病院職員研修会（大町）2009年6月30日

小笠原 正（招待講演）開口困難な患者の口腔ケアの実際

沖縄県障害者歯科地域協力医研修（那覇）2009年7月12日

小笠原 正（招待講演）疾患の特性について

平成21年度長野県委託：8020運動推進特別事業（長野）2009年9月15日

小笠原 正（招待講演）障害児（者）の口腔ケアについて

第1回北海道障害者歯科臨床研究会講演会（札幌）2009年11月14日

小笠原 正（シンポジウム）対応が難しい患者の歯科医療—高次医療機関での対応—

平成21年度長野県委託事業「医療安全講習会」（上田）2009年11月28日

小笠原 正（招待講演）院内感染対策，医療安全，要介護高齢者の口腔ケア

平成21年度長野県委託事業「医療安全講習会」（松本）2009年11月29日

小笠原 正（招待講演）院内感染対策，医療安全，要介護高齢者の口腔ケア

平成21年度長野県委託事業「医療安全講習会」（伊那）2009年11月29日

小笠原 正（招待講演）院内感染対策，医療安全，要介護高齢者の口腔ケア

平成21年度長野県委託事業「医療安全講習会」（長野）2009年12月20日

小笠原 正（招待講演）院内感染対策，医療安全，要介護高齢者の口腔ケア

平成21年度長野県特別支援学校におけるモデル歯科保健事業（諏訪）2009年12月22日

小笠原 正，戸井尚子，山村清美，水澤 愛（招待講演）介助磨き指導

第4回食機能を考える会総会（飯田）2009年4月
松尾浩一郎（招待講演）アメリカにおける摂食・嚥下リハビリテーション

小県医師会学術講演会（上田）2009年5月

松尾浩一郎（招待講演）VEで見えるものVFで見えるもの

長野県歯科保健センター職員研修会（長野）2009年5月

松尾浩一郎（招待講演）歯科衛生士が関わる摂食・嚥下リハビリテーション

島根県保険医協会医科歯科合同研修会（松江）2009年5月

松尾浩一郎 (招待講演) アメリカにおける摂食・嚥下リハビリテーション

第10回日本言語聴覚学会・ランチョンセミナー (倉敷) 2009年6月

松尾浩一郎 (招待講演) 歯科医から見た摂食機能療法のあり方と食介護の現場におけるとろみ調整食品の使用実態と望ましい使い方について

第3回長野摂食・嚥下リハビリテーション研究会 (松本歯科大学) 2009年7月

松尾浩一郎 (招待講演) 訓練法, 代償法 Update-松本歯科大学校友会 富山県支部・学術講演会 (富山) 2009年7月

松尾浩一郎 (招待講演) 摂食・嚥下障害への適切な評価と対応

福岡県摂食・嚥下勉強会 (博多) 2009年9月

松尾浩一郎 (招待講演) 急性期から慢性期にかけての摂食・嚥下リハビリテーション

第11回佐賀リハビリテーション研究会 市民公開講座 (佐賀) 2009年9月

松尾浩一郎 (招待講演) 食べる生理 (Process Model) と摂食・嚥下リハへの応用

第3回摂食・嚥下障害看護認定看護師カンファレンス (名古屋) 2009年9月

松尾浩一郎 (招待講演) Evidence Based Practice-訓練法, 代償法 Update-

静岡県歯科医師会学術講演会 (静岡) 2009年11月

松尾浩一郎 (招待講演) 摂食・嚥下障害への最近の考え方

松本歯科大学推進研究費による研究

岡田芳幸: 交感神経性動脈圧反射感受性から見た麻酔薬の安全評価

小笠原 正: 摂食・嚥下障害者における剥離上皮膜の気道への影響

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

松尾浩一郎: 摂食・嚥下機能障害への呼吸調節機能障害の関与 (若手研究 B)

江草正彦, 宮脇卓也, 森 貴幸, 武田則昭, 小笠原 正: 地域主導型の障害者歯科における地域連携クリティカルパスの開発過程 (基盤研究 C)

その他の研究補助金による研究

松尾浩一郎: 口腔ケアのための簡易式リップオープナー (開口唇器) の開発 (シーズ発掘試験 A (発掘型), 科学技術振興機構)

柿木保明, 小笠原 正, 菊谷 武, 渡部 茂, 岸本悦央, 迫田綾子, 原 等子, 稲永清敏, 安細敏弘, 寺岡加代, 井上裕之, 松坂利之, 岩佐康行, 阪口

英夫, 清水良昭, 遠藤真美, 糸田昌隆, 真木吉信, 太田洋二郎: 唾液を指標とした口腔機能向上プログラム作成 (厚生労働科学研究費補助金・長寿科学総合研究事業)

松本歯学 36(1) 2010

論文発表

村田賢司, 加藤裕彦, 小原友美, 梅村真理, 石川素子, 松井秀行, 岸本寿子, 小谷順一郎 (2009) 歯科治療中に難治性の全身痙攣が発症した転換性障害の2症例. 日歯麻誌 **37**: 15-9.

織田秀樹, 姫野勝仁, 谷山貴一, 隅田佐知, 小笠原 正, 澁谷 徹 (2009) Duchenne型筋ジストロフィー患児の歯科治療時の全身麻酔経験. 日歯麻誌 **37**: 42-3.

Taniyama K, Oda H, Okawa K, Himeno K, Shikanai K and Shibutani T (2009) Psychosedation with Dexmedetomidine Hydrochloride during minor oral surgery. Anesth Prog **56**: 75-80.

山下智章, 河合峰雄, 村田賢司, 水野 誠, 釜田隆, 杉村智行, 高木景子, 西條 晃, 小谷順一郎 (2009) 知的障害を有する小児への日帰り全身麻酔下歯科治療時の前投薬はミダゾラムの経口投与が有効である. 日歯麻誌 **37**: 303-4.

大河和子, 織田秀樹, 谷山貴一, 鹿内恒樹, 中島 萌, 鹿内理香, 長江麻帆, 澁谷 徹 (2009) 松本歯科大学病院における歯科治療に対する全身麻酔症例の検討. 日歯麻誌 **37**: 572-3.

織田秀樹: レボプピバカインのラット歯髄神経への局所麻酔効果-歯髄電気刺激に伴う体性感覚誘発電位による評価-. 松本歯学 **35**: 270-83.

学会発表

松本歯科大学学会 (第68回) 2009年7月

松本歯科大学病院歯科麻酔科における11年間の精神鎮静法症例: 鹿内恒樹, 谷山貴一, 織田秀樹, 大河和子, 村田賢司, 中島 萌, 大野忠男, 鹿内理香, 長江麻帆, 澁谷 徹

中部歯科麻酔科研究会 (第41回) 2009年7月

集中的歯科治療のための全身麻酔-先天性心疾患を有する小児患者の検討: 中島 萌, 谷山貴一, 織田秀樹, 大河和子, 村田賢司, 鹿内恒樹, 大野忠男, 澁谷 徹

日本歯科麻酔学会総会・学術大会 (第37回) 2009年10月

静脈内鎮静法における鎮静深度の客観的評価法について: 谷山貴一, 織田秀樹, 中島 萌, 村田賢司, 鹿内恒樹, 大野忠男, 澁谷 徹

レボブピバカインのラット眼窩下孔への伝達麻酔効果：鹿内恒樹，織田秀樹，谷山貴一，中島 萌，澁谷 徹

先天性心疾患を有する小児患児における集中的歯科治療のための全身麻酔症例：中島 萌，谷山貴一，織田秀樹，大河和子，村田賢司，鹿内恒樹，大野忠男，鹿内理香，長江麻帆，澁谷 徹

12th International Dental Congress on Modern Pain Control, Oct, 2009

General Anesthesia for Dental Treatment in Children with Congenital Heart Diseases : Shibutani T, Taniyama K, Nakajima M, Murata K and Shikanai K

Local Anesthetic Efficacy of Levobupivacaine for Infiltration and Conduction Anesthesia in Rats : Shikanai K, Oda H, Taniyama K and Shibutani T

中部歯科麻酔科研究会（第42回）2009年12月

先天性筋緊張性ジストロフィー症が疑われた患者の全身麻酔経験：村田賢司，織田秀樹，谷山貴一，鹿内恒樹，中島 萌，大野忠男，澁谷 徹



著 書

柳沢 茂（分担執筆）（2009）新口腔保健学，1版，66-72，225-34，医歯薬出版，東京。

論文発表

Fujinami Y, Fukui T, Nakano K, Fujigaki Y, Imamura Y, Hattori T, Yanagisawa S, Kawakami T and Wang PL (2009) The effects of cigarette exposure on rat salivary proteins and salivary glands. *Oral Diseases* **15** : 466-71.

学会発表

平成21年度昭和大学共同研究-研究成果発表会-，東京，2009年3月20日

自己間葉系幹細胞ハイブリッド型人工骨によるインプラント周囲の骨再生に関する実験的研究：代田達夫，八上公利，西澤幹雄，久保木芳徳，新谷 悟。

松本歯科大学推進研究報告会，2009年8月17-18日
幾何構造理論による骨誘導能と永続的維持能を持つチタニウム繊維体を用いたインプラント体の開発：八上公利，久保木芳徳，関 康夫，上松隆司，中村美どり，柳沢 茂。

信州公衆衛生学会総会，2009年8月29日

環境タバコ煙の暴露状況調査：定岡 直，柳沢 茂，中根 卓，八上公利，小口久雄，笠原 香（信

州公衆衛生学会誌，第4巻，p72）

第39回日本口腔インプラント学会学術大会，2009年9月25-27日

陽イオン加工チタニウムインプラントのin vivoにおける骨形成促進効果の組織学的研究：八上公利，伊藤和也，中村美どり，村上広樹，宇田川信之。（日本口腔インプラント学会誌，第22巻，p233）

第54回日本口腔外科学会総会，2009年10月9-11日
陽イオン加工はチタニウム・インプラントへの直接的骨形成をin vivoにおいて促進する：八上公利，伊藤和也（日本口腔外科学会雑誌，第55巻，p278）

第58回日本口腔衛生学会総会，2009年10月10-11日
生活習慣調査票における歯科保健項目への項目反応理論による解釈：中根 卓，柳沢 茂，定岡 直，小口久雄，笠原 香，八上公利。（第58回日本口腔衛生学会総会講演集 p35）

口腔粘膜細胞における炎症性サイトカイン誘発性一酸化窒素産生に対するAHCCによる抑制効果の研究：八上公利，定岡 直，西澤幹雄，代田達夫，笠原 香，中根 卓，矢ヶ崎 雅，柳沢 茂。（第58回日本口腔衛生学会総会講演集 p29）

第69回松本歯科大学学会，2009年11月14日

チタンインプラント表面加工の違いによる骨形成促進効果のin vivoにおける組織学的研究：八上公利，伊藤和也，中村美どり，村上広樹，宇田川信之，定岡 直，中根 卓，笠原 香，柳沢 茂，矢ヶ崎 雅

その他の学術発表

17th International Symposium of AHCC Research Association. AHCC maintains the osteoblastic differentiation of mesenchymal stem cells, inhibiting NO production by the inflammatory cytokines. Yagami K, Nishizawa M, Shirota T, Yanagisawa S, Yagasaki T (2009年7月25-26日，ホテルロイトン札幌)

諏訪市歯科医師会医療安全講習会，医療安全とリスクマネジメント -GPにおける感染症対策-：2009年9月18日，諏訪歯科医師会館。

松本歯科大学推進研究費による研究

八上公利，植田章夫，上松隆司，山下秀一郎，黒岩昭弘，中村美どり，伊藤和也：陽イオン加工チタニウムインプラントのin vivoにおける骨形成促進効果の組織学的研究。



論文発表

Takamata T, Hashii K, Yamaki T, Numao H, Kato Y, Anzai M, Shoumura M and Okada Y (2009) Shock Absorption Characteristics of Commercial Custom-made Sports Mouthguard Materials. *Int J Sports Dent* 2 : 62-71.

Hashii K, Tomida M and Yamashita S (2009) Influence of changing the chewing region on mandibular movement. *Aust Dent J* 54 : 38-44.

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Kimura A, Okafuji N, Tsujigiwa H, Hasegawa H and Nagatsuka H (2009) Histopathological and immunohistochemical background of orthodontic treatment. *Int J Med Biol Front* 15 : 591-616.

渡邊武寛, 中野敬介, 村岡理奈, 清水貴子, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的牽引側における歯根膜線維芽細胞の免疫組織化学. *J Hard Tissue Biol* 18 : 175-80.

沼尾尚也, 山下秀一郎, 笠原隼男, 富田美穂子, 浅沼直和 (2009) 味の広がり認識するのに必要な咀嚼回数をもとにした新たな味覚検査法の確立. *日補綴会誌* 1 : 378-85.

学会発表

International Association for Dental Research, 87rd General Session of the IADR, March-April, 2009

Shock Absorption Characteristics of Commercial Sports Mouthguard Materials: Takamata T, Hashii K, Yamaki T, Numao H, Kato Y and Okafuji N

Application of Digital Camera to Determine Occlusal Vertical Dimension : Nakatsuka Y, Yamashita S, Hashii K and Kasahara T

Newly Designed gustatory test based on progress of mastication : Kasahara T, Yamashita S, Numao H, Tomida M and Asanuma N

日本解剖学会・全国学術集会 (第114回) 2009年3月

マウスの下顎頭軟骨発生における Notch シグナルの役割 : 川上敏行, 清水貴子 (プログラム・抄録集 p30)

日本補綴歯科学会学術大会 (第118回) 2009年6月

音楽経験者における顎関節症の疫学的研究 : 千葉由範, 山下秀一郎, 橋井公三郎, 中塚佑介, 溝上真也, 笠原隼男 (プログラム・抄録集 p166)

日本スポーツ歯科医学会・学術大会 (第20回) 2009年7月

市販スポーツマウスガード材料の衝撃吸収緩衝に関する実験的検討 第2報 厚さ4.0mmの材料について : 鷹股哲也, 橋井公三郎, 沼尾尚也, 山木貴子, 加藤優美子, 中村貴美, 安西正明, 正村正仁 (プログラム・抄録集 p72)

上顎無歯顎者に対しダブルレイヤードマウスガード (仮称) に対応した症例 : 橋井公三郎, 鷹股哲也, 沼尾尚也, 山木貴子, 加藤優美子, 中村貴美, 安西正明, 正村正仁 (プログラム・抄録集 p66)

学術講演会

鷹股哲也 「英国における歯科衛生士」

2009年3月15日 本学30周年記念棟 長野県歯科衛生士会中信支部主催研修会

鷹股哲也 「白く, きれいで美しい歯の話」

2009年4月29日 松本歯科大学病院 公開講座

鷹股哲也 「マウスガード材の粘弾性について」

2009年5月20日 東京医科歯科大学 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 スポーツ医歯学分野特別講義

鷹股哲也 「白く, きれいで美しい歯」

2009年6月20日 松本市松原公民館 松本市松原長寿会健康講座

鷹股哲也 「マウスガードで安心・安全なスポーツ」

2009年10月9日 佐久長聖高等学校

鷹股哲也 「マウスガードで安心・安全なスポーツ」

2009年11月24日 東京郁文館高等学校

鷹股哲也 「マウスガードで安心・安全なスポーツ」

2009年12月11日 松商学園高等学校



学会発表

第39回日本口腔インプラント学会総会・学術大会 (大阪) 9月25-27日

若年者に対してインプラント治療が行われ10年経過した1症例 : 森 亮太, 小松 史, 堂東亮輔, 植田章夫

第30回日本口腔インプラント学会中部支部総会・学術大会 (岐阜) 11月8日

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した一例 : 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 山下秀一郎, 植田章夫, 古澤清文

眼病

論文発表

Ohta K, Sano K, Imai H and Kikuchi T (2009) Cytokine and Molecular Analyses of Intraocular Lymphoma. *Ocul Immunol Inflamm* **17** : 142-7.

Ohta K, Sato A and Fukui E (2009) Spectral domain optical coherence tomographic findings at convalescent stage of acute zonal occult retinopathy. *Clin Ophthalmol* **3** : 423-8.

Hashimoto T, Takizawa H, Yukimura K and Ohta K (2009) Vogt-Koyanagi-Harada disease associated with brainstem encephalitis. *J Clin Neurosci* **16** : 593-5.

Masumoto J, Yamazaki T, Ohta K, Nakayama J and Agematsu K (2009) Interleukin-1 β suppression in Blau syndrome: comment on the article by Martin et al. *Arthritis Rheum* **60** : 2544-5.

太田浩一, 黒川 徹, 今井弘毅, 朱 さゆり, 菊池孝信 (2009) Blau 症候群同胞例の長期経過。あたらしい眼科 **26** : 542-6.

福井えみ, 佐藤敦子, 太田浩一 (2009) スペクトラルドメイン光干渉断層計 (Spectralis[®]) を用いて測定した健常眼の黄斑部網膜厚とその検者間での測定誤差。臨床眼科 **63** : 1145-9.

その他の学術著作物

太田浩一 (2009) Blau 症候群の病因と病態。眼科 **51** : 857-863

学会発表

The 10 th International Ocular Inflammation Society Congress, June, 2009

Slowly progressive autoimmune-like retinopathy: Ohta K, Sato A and Fukui E

Retinal expression of mu-crystallin in endotoxin-induced uveitis: Imai H, Ohta K, Yoshida A, Suzuki S and Kikuchi T

American Academy of Ophthalmology, October, 2009

Retinal thickness and volume measurements in myopia using Spectralis OCT : Ohta K, Sato A and Fukui E

日本眼科学会総会 (第113回) 2009年4月

黄斑部網膜厚と屈折度の相関における男女差について: 福井えみ, 佐藤敦子, 太田浩一

緩徐に進行した網膜自己抗体陽性患者の2例: 太田浩一, 佐藤敦子, 福井えみ, 吉田紀子, 菊池孝信

実験的自己免疫性ぶどう膜炎における μ -クリスタリンの検討: 山本裕香, 太田浩一, 鈴木 悟, 今井弘毅, 菊池孝信

日本眼炎症学会 (第43回) 2009年7月

自己免疫性網膜症様症例の SD-OCT 所見: 太田浩一, 佐藤敦子, 福井えみ, 菊池孝信

日本臨床眼科学会 (第63回) 2009年10月

片眼病変の強い原田病の2例: 山本裕香, 太田浩一, 家里康弘, 佐藤敦子, 朱 さゆり

アカントアメーバ角膜炎11例の検討: 今井 章, 深井教介, 北澤憲孝, 千葉 大, 小島秀伸, 太田浩一, 村田敏規

日本網膜硝子体学会 (第48回) 2009年12月

黄斑円孔手術後の黄斑網膜厚の変化: 太田浩一, 佐藤敦子, 福井えみ

網膜血管腫におけるスペクトラルドメイン光干渉断層計所見: 佐藤敦子, 福井えみ, 太田浩一

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

太田浩一: 眼内炎症におけるクリスタリンミューの機能解析 (基盤研究 C)

佐藤敦子: 再発性ぶどう膜炎における発現遺伝子の解析 (若手研究 B)

教育学位院出版センター

著 書

伊藤公一, 音琴淳一, 村井正大 (2009) 歯周ポケットの除去法, ザ・ペリオドントロジー, 1版, 148-55, 永末書店, 京都.

志賀 博, 細川隆司, 小川 匠, 小野高裕, 倉澤郁文ほか (2009) 統計の基本概念, 歯科臨床研究の統計ガイド, 1-47, 医歯薬出版, 東京.

論文発表

Otogoto J, Mogi M, Drop in transforming growth factor-alpha and osteoprotegerin level in gingival crevicular fluid from patients with gingivitis (2009) *J Immunoassay Immunochem* **30** : 305-12.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2009) Expression of HSP in dental root pulp cells due to experimental orthodontic mechanical stress. *J Hard Tissue Biol* **18** : 127-30.

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Okafuji N, Tsujigiwa H and Nagatsuka H (2009) Hsistopathological and immunohistochemical background of orthodontic treatment. *Int J Med Biol Front* **15** :

591-616.

渡邊武寛, 中野敬介, 村岡理奈, 清水貴子, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的牽引側における歯根膜線維芽細胞の免疫組織化学. *J Hard Tissue Biol* **18**: 175-80.

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的メカニカルストレスによりマウス歯根膜組織に発現する熱ショックタンパクの免疫組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **18**: 193-8.

松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (2009) マウスの矯正学的牽引側歯根膜における BMP 組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **18**: 181-4.

田中丈也, 奥村雅代, 岩田幸一, 姫野勝仁, 時崎匡史, 山田一尋, 岡藤範正, 栗原三郎, 岩上朋代, 金銅英二 (2009) 顎関節炎モデルラットにおける三叉神経節細胞の遺伝子発現 (TRP チャンネル群の動態), *日本疼痛学会誌* **24**: 147-58.

古川洋和, 松岡紘史, 樋町美華, 小林志保, 庄木晴美, 本谷 亮, 齋藤正人, 安彦善裕, 坂野雄二 (2009) 歯科治療恐怖に対する認知行動療法の有効性-メタ分析による検討-, *心身医学* **49**: 363-72.

古川洋和, 山内 剛, 中島 俊, 増田由依, 金澤潤一郎, 古川華江, 安藤孟梓, 永峯利幸, 吉岡拓哉, 坂野雄二 (2009) うつ病患者の服薬アドヒアランスに関する研究の展望, *日本心療内科学会誌* **13**: 175-80.

金銅英二, 音琴淳一, 瀬村江里子 (2009) 「医療人行動学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を展開して -人間性豊かな歯科医師育成に向けての取り組み- 松本歯科大学紀要 **38**: 215-8.

学会発表

35th ADEE Association for Dental Education in Europe meeting (Helsinki, Finland), August 2009

The practice and approach toward dental students and dental faculty in Center for Excellence in Teaching and Learning : Okafuji N, Otagoto J, Semura E, Tomida M, Furukawa H, Masuda Y, Miyazawa H, Yoshizawa H, Kurasawa I and Hasegawa H (Program and abstract p53)

4th AADT Conference of Asian International Association of Dental Traumatology (Beijing, China), November 2009.

Biological basis of tissue reaction to orthodontic injury stimulation : Okafuji N and Nakano K (Program book p9-10)

全国 IT 活用教育方法研究発表会 2009年 6月

医療面接学習における双方向教育の試み: 音琴淳一, 金銅英二, 岡藤範正, 倉澤郁文, 長谷川博雅:

(http://www.juce.jp/archives/houhou_2009/b-03.pdf)

日本情報科教育学会第2回全国大会 2009年 6月
歯科医学教育における情報リテラシーと情報モラル: 瀬村江里子, 岡藤範正, 倉澤郁文, 加藤隆史, 金山隼人, 伊藤高志, 松沢みわ子, 兼宗 進 (講演論文集 p77-78)

第1回日本心身医学会5学会合同集会 2009年 6月

過敏性腸症候群におけるストレスに対する認知的評価および対処行動の関連: 西郷達雄, 本谷 亮, 古川洋和, 坂野雄二 (プログラム・抄録集, 135)

歯科医師に対する非機能的認知を特徴とした歯科恐怖症患者の1例: 穂坂一夫, 古川洋和 (プログラム・抄録集, 183)

Modified Dental Anxiety Scale 日本語版 (MDAS-J) の作成: 信頼性と弁別的妥当性の検討: 古川洋和, 穂坂一夫 (プログラム・抄録集, 269)

総合歯科医療に関する学術研究セミナー2009 2009年 7月

無線端末を用いた医療コミュニケーション教育の試み: 音琴淳一, 金銅英二, 岡藤範正, 倉澤郁文, 宮沢裕夫, 長谷川博雅, 森本俊文: (事後抄録集 p 32-3)

歯科基礎医学会総会 (第51回) 2009年 9月

メカニカルストレスの惹起するマウス牽引側歯根膜細胞における骨芽細胞分化関連因子の免疫組織化学的検討: 松田浩和, 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (*J Oral Biosci* **51**(S): 116, 2009)

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜細胞における HSP 70 の局在変化: 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (*J Oral Biosci* **51**(S): 145, 2009)

第35回日本行動療法学会2009年10月

自己に向ける注意と思考制御方略が病理的心配に与える影響~大学生を対象とした研究~: 安藤孟梓, 古川洋和, 坂野雄二 (発表論文集, 556-7)

歯科治療に対する恐怖と受診の回避行動との関連-大学生を対象としたアナログ研究-: 古川洋和, 穂坂一夫 (発表論文集, 562-3)

日本歯科医学教育学会総会, 学術大会 (第28回) 2009年11月

医療面接講義におけるアンケート機能を有する無線端末の効果: 音琴淳一, 金銅英二, 岡藤範正, 倉澤郁文, 黒岩昭弘, 森本俊文 (プログラム・抄録集 p 69)

歯学部初年次教育における「情報リテラシー」の実践: 岡藤範正, 瀬村江里子, 横井由紀子, 岡田芳幸, 足立忠文, 倉澤郁文 (プログラム・抄録集 p99)

日本矯正歯科学会大会 (第68回) 2009年11月

実験的歯科矯正治療により惹起されるマウス牽引

側歯根膜細胞分化関連因子の免疫組織化学：松田浩和，村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p161）

歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜組織における HSP 変化：村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p 162）

松本歯科大学推進研究費による研究

岡藤範正，音琴淳一，内田啓一，穂坂一夫，織田秀樹：無線端末を用いた双方向型教育システムの構築

音琴淳一，岡藤範正，倉澤郁文：間違い探しを基盤とする洞察力育成医療教育システムの試作

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

中野敬介，岡藤範正，川上敏行：メカニカルストレスが惹起する細胞分化の分子調節機構（基盤研究 C）

古川洋和：歯科治療恐怖に対する認知行動療法プログラムの開発とその効果に関する実証的検討（若手研究（スタートアップ））

総合歯科医学研究所



著 書

須田立雄，小澤英浩，高橋榮明，田中 栄，中村浩彰，森 諭史（分担執筆）（2009）新骨の科学（一部改訂版）．医歯薬出版，東京．

論文発表

de Freitas PH, Li M, Ninomiya T, Nakamura M, Ubaidus S, Oda K, Udagawa N, Maeda T, Takagi R and Amizuka N (2009) Intermittent parathyroid hormone administration stimulates preosteoblastic proliferation without leading to enhanced bone formation in osteoclast-less *c-fos*^{-/-} mice. *J Bone Miner Res* **24** : 1586-97.

Kodama N, Nagata M, Tabata Y, Ozeki M, Ninomiya T and Takagi R (2009) A local bone anabolic effect of rhFGF2-impregnated gelatin hydrogel by promoting cell proliferation and coordinating osteoblastic differentiation. *Bone* **44** : 699-707.

Koide M, Kinugawa S, Ninomiya T, Mizoguchi T, Yamashita T, Maeda K, Yasuda H, Kobayashi Y, Nakamura H, Takahashi N and Udagawa N (2009) Diphenylhydantoin inhibits osteoclast differentiation and function through suppression of NFATc1 signaling. *J Bone Miner Res* **24** : 1469-80.

Tomimori Y, Mori K, Koide M, Nakamichi Y, Ninomiya T, Udagawa N and Yasuda H (2009) Evaluation of pharmaceuticals with a novel fifty-hour animal model of bone loss. *J Bone Miner Res* **24** : 1194-205.

Gonzales C, Hotokezaka H, Arai Y, Ninomiya T, Tominaga J, Jang I, Hotokezaka Y, Tanaka M and Yoshida N (2009) An in vivo 3D micro-CT evaluation of tooth movement after the application of different force magnitudes in rat molar. *Angle Orthodontist* **79** : 703-14.

Mizoguchi T, Muto N, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Nakamura H, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. *J Cell Biol* **184** : 541-54.

Hiraga T, Ninomiya T, Hosoya A, Takahashi M and Nakamura H (2009) Formation of bone-like mineralized matrix by periodontal ligament cells in vivo : a morphological study in rats. *J Bone Miner Metab* **27** : 149-57.

Narita N, Kobayashi Y, Nakamura H, Maeda K, Ishihara A, Mizoguchi T, Usui Y, Aoki K, Simizu M, Kato H, Ozawa H, Udagawa N, Endo M, Takahashi N and Saito N (2009) Multiwalled carbon nanotubes specifically inhibit osteoclast differentiation and function. *Nano Lett* **9** : 1406-13.

Kawahara I, Koide M, Tadokoro O, Udagawa N, Nakamura H, Takahashi N and Ozawa H (2009) The relationship between calcium accumulation in osteoclast mitochondrial granules and bone resorption. *Bone* **45** : 980-6.

Moriyama K, Watanabe S, Iida M, Fukui S and Sahara N (2009) Morphological characteristics of upper jaw dentition in a gobiid fish (*Sicyopterus japonicus*) : A micro-computed tomography study. *J Oral Biosci* **51** : 81-90.

その他学術著作物

溝口利英，小澤英浩（2009）生体内における破骨細胞形成部位決定機構の解析．*The Bone* **23** : 121-6.

成田伸代, 齋藤直人, 小澤英浩 (2009) 破骨細胞の分化と機能に対するカーボンナノチューブの影響. *The Bone* **23**: 235-9.

Sobhan Ubaidus, Sora Sultana, 織田公光, 小島拓, 李 敏啓, 鈴木礼子, 柳 鑄晟, 網塚憲生, 小澤英浩, 下村-黒木淳子 (2009) 骨細胞・骨細管系における FGF23 と DMP-1 の免疫局在. *The Bone* **23**: 361-6.

学会発表

Vitamin K & Aging 研究会 (第12回) 2009年2月
吸収窩体積計測による破骨細胞吸収活性評価法:
川原一郎, 中原徳雄, 二宮 禎, 小澤英浩 (Vitamin K & Aging 研究会抄録集, p15)

日本解剖学会総会 (第114回) 2009年3月
軟骨膜, 骨膜に存在する Thy-1 (CD90) 陽性細胞の骨芽細胞分化について: 中村浩彰, 雪田 聡, 平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎, 小澤英浩 (解剖学会雑誌第84巻抄録集 p138)

日本骨形態計測学会 (第29回) 2009年5月
培養破骨細胞吸収活性への三次元計測法の応用:
中原徳雄, 川原一郎, 小澤英浩 (日本骨形態誌第19巻抄録集)

In vivo マイクロ CT を用いた骨形態解析: 二宮 禎 (日骨形態誌 第19巻 抄録集 S50)

日本骨代謝学会 (第27回) 2009年7月
歯胚形成期のビスフォスフォネートの投与は歯の形成・萌出を障害し, 歯牙腫様病変を誘発する:
平賀 徹, 二宮 禎, 細矢明宏, 中村浩彰 (プログラム抄録集 p188)

軟骨膜・骨膜の Thy-1 (CD90) 陽性細胞の骨原生細胞としての役割: 中村浩彰, 雪田 聡, 平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎, 小澤英浩 (プログラム抄録集 p199)

骨吸収関連遺伝子改変マウスにおける歯槽骨吸収及びビスフォスフォネートの効果: 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 保田尚孝, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之 (プログラム抄録集 p237)

RANKL 投与骨量減少症モデルマウスによる denosumab 様抗ヒト RANKL 中和抗体の迅速評価:
富盛賀也, 森かおる, 小出雅則, 中道裕子, 二宮 禎, 宇田川信之, 保田尚孝 (プログラム抄録集 p207)

In-vivo micro CT forum (第1回) 2009年8月
in-vivo Micro CT の骨研究における有用性:
二宮 禎

歯科基礎医学会 (第51回) 2009年9月
OPG 遺伝子欠損マウスにおいては著しい歯槽骨吸収を呈する: 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 新井嘉則, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之 (*J Oral Biosci* **51** Suppl: 65, 2009)

骨芽細胞分化における SUMO 化修飾因子 UBC 9

の役割: 雪田 聡, 細矢明宏, 二宮 禎, 中村浩彰 (*J Oral Biosci* **51** Suppl: 81, 2009)

ヒト歯髄組織における Fibrillin-1 の分解が細胞分化および石灰化に及ぼす影響: 吉羽永子, 吉羽邦彦, 重谷佳見, 興地隆史, 細矢明宏, 中村浩彰, 小澤英浩 (*J Oral Biosci* **51** Suppl: 140, 2009)

31st ASBMR Annual Meeting, Colorado, USA, September, 2009

Administration of bisphosphonate during tooth development inhibits tooth formation and eruption, and induces odontomas: Hiraga T, Ninomiya T, Hosoya A and Nakamura H (*JSBMR* 2009)

Rapid evaluation of a denosumab-like anti-human RANKL neutralizing monoclonal antibody with sRANKL treated bone loss model: Yasuda H, Mori K, Koide M, Nakamichi Y, Ninomiya T, Udagawa N, Tomimori Y (*JSBMR* 2009)

日本外傷歯学会 (第9回) 2009年10月
in-vivo Micro CT の骨研究における有用性:
二宮 禎

日本矯正歯科学会 (第68回) 2009年11月
歯根膜リモデリングにおける CD 34 陽性血管系幹細胞の動態: 川原良美, 山田一尋, 川原一郎, 小澤英浩.

松本歯科大学学会 (第69回) 2009年11月

OPG 遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収に対する骨吸収抑制剤の効果: 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 新井嘉則, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之

日本学術振興会科学研究費による研究

二宮 禎, 中村浩彰, 平賀 徹, 小出雅則: 硬組織形成における組織幹細胞微小環境の解明 (基盤研究 C)

平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎, 小林泰浩: 骨髄癌幹細胞を核とする癌骨転移の成立・進展メカニズムの解明 (基盤研究 B)

平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎: 造血幹細胞ニッチを介した癌の骨転移成立機構の解明 (挑戦的萌芽)

中村浩彰, 細矢明宏, 雪田 聡, 二宮 禎: 歯根膜組織幹細胞の誘導と再生歯科医療の可能性 (挑戦的萌芽)

山下照仁, 高橋直之, 二宮 禎: 抗癌剤アクチゲニンの新しい骨吸収抑制機構の解明 (基盤研究 C)

溝口利英, 細矢明宏, 山下照仁, 中道裕子, 小出雅則, 二宮 禎: 骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明 (新学術領域研究)

その他の研究助成金による研究

小澤英浩, 二宮 禎: 牛乳・乳製品に含まれるラ

クトフェリンの組織幹細胞への作用と骨質改善に関する研究 (牛乳栄養学術委託研究)



論文発表

Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Nakamura H, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. *J Cell Biol* **184** : 541-54.

Hanada R, Leibbrandt A, Hanada T, Kitaoka S, Furuyashiki T, Fujihara H, Trichereau J, Paolino M, Qadri F, Plehm R, Klaere S, Kommenovic V, Mimata H, Yoshimatsu H, Takahashi N, von Haeseler A, Bader M, Kilic SS, Ueta Y, Pifl C, Narumiya S and Penninger JM (2009) Central control of fever and female body temperature by RANKL/RANK. *Nature* **462** : 505-9.

Kobayashi Y, Udagawa N and Takahashi N (2009) Action of RANKL and OPG for osteoclastogenesis. *Crit Rev Eukaryot Gene Expr* **19** : 61-72.

Narita N, Kobayashi Y, Nakamura H, Maeda K, Ishihara A, Mizoguchi T, Usui Y, Aoki K, Simizu M, Kato H, Ozawa H, Udagawa N, Endo M, Takahashi N and Saito N (2009) Multiwalled carbon nanotubes specifically inhibit osteoclast differentiation and function. *Nano Lett* **9** : 1406-13.

Takahashi M, Mizoguchi T, Uehara S, Nakamichi Y, Yang S, Naramoto H, Yamashita T, Kobayashi Y, Furusawa K, Udagawa N, Uematsu T and Takahashi N (2009) Docetaxel inhibits bone resorption through suppression of osteoclast formation and function in different manners. *J Bone Miner Metab* **27** : 24-35.

Uchiyama M, Nakamichi Y, Nakamura M, Kinugawa S, Yamada H, Udagawa N and Miyazawa H (2009) Dental pulp and periodontal ligament cells support osteoclastic differentiation. *J Dent Res* **88** : 609-14.

Koide M, Kinugawa S, Ninomiya T, Mizoguchi T, Yamashita T, Maeda K, Yasuda H, Kobayashi Y, Nakamura H, Takahashi N and Udagawa N (2009) Diphenylhydantoin inhibits osteoclast differentiation and function through suppression of NFATc1 signaling. *J Bone Miner Res* **24** : 1469-80.

Tomimori Y, Mori K, Koide M, Nakamichi Y, Ninomiya T, Udagawa N and Yasuda H (2009) Evaluation of pharmaceuticals with a novel fifty-hour animal model of bone loss. *J Bone Miner Res* **24** : 1194-205.

Luiz de Freitas PH, Li M, Ninomiya T, Nakamura M, Ubaidus S, Oda K, Udagawa N, Maeda T, Takagi R and Amizuka N (2009) Intermittent PTH administration stimulates pre-osteoblastic proliferation without leading to enhanced bone formation in osteoclast-less *c-fos*^{-/-} mice. *J Bone Miner Res* **24** : 1586-97.

Kawahara I, Koide M, Tadokoro O, Udagawa N, Nakamura H, Takahashi N and Ozawa H (2009) The relationship between calcium accumulation in osteoclast mitochondrial granules and bone resorption. *Bone* **45** : 980-6.

Shanmugarajan S, Kawanabe N, Koide M, Tsuruga E, Arroyo JE, Key LL Jr and Reddy SV (2009) IL-12 stimulates the osteoclast inhibitory peptide-1 (OIP-1/hSca) gene expression in CD4⁺ T cells. *J Cell Biochem* **10** : 104-11.

その他学術著作物

Takahashi N, Koide M, Noguchi T and Suda T (2009) Chapter 23 : Current paradigms of osteoblast-osteoclast interactions and bacterial pathogen-induced bone resorption. *Periodontal Medicine and Systems Biology*, 3rd Edition, Blackwell Publishing, Chichester, 379-94.

中道裕子, 小林泰浩, 宇田川信之 (2009) RANKL/RANK/OPG システムと骨吸収性疾患. *細胞* **41** : 312-5.

中村美どり, 中道裕子, 中村浩志, 宇田川信之 (2009) 破骨細胞の形成と骨吸収. *日本臨床* **67** : 889-96.

溝口利英, 小澤英浩 (2009) 生体内における破骨細胞形成部位決定機構の解析-細胞周期の停止した破骨細胞前駆細胞 (QOP) の同定-. *THE BONE* **23** : 121-6.

中村美どり, 宇田川信之, 上松隆司, 下平滋隆, 田原秀晃, 脇谷滋之 (2009) ヒト自己培養骨髄間葉系細胞移植を用いた歯槽骨再生の可能性. *THE BONE* **23** : 303-9.

高橋直之 (2009) 破骨細胞はなぜ骨だけで形成されるか? *THE BONE* **23** : 389-93.

小出雅則, 宇田川信之 (2009) 炎症性骨吸収における破骨細胞. *腎と骨代謝* **22** : 33-41.

溝口利英, 高橋直之 (2009) 骨細胞によるリン代謝調節機構. *腎と骨代謝* **22** : 281-8.

山下照仁 (2009) 海外文献紹介 : SIRT6 は, ヒス

トン H3 の 9 番目のリジン残基を脱アセチル化し、NF- κ B に依存する遺伝子発現と生物の寿命を制御する。THE BONE 23 : 99.

中道裕子 (2009) 海外文献紹介: M-CSF は、DAP 12 および β -catenin 経路を介して、マクロファージの増殖と生存を誘導する。THE BONE 23 : 476-7.

特別講演

Bone Forum in Hanno (第4回) 2009年1月
破骨細胞の分化と骨吸収メカニズム: 宇田川信之
神戸大学大学院医学研究科「グローバル COE セミナー」2009年2月

新規の骨粗鬆症治療薬開発を目指した破骨細胞研究: 宇田川信之

九州歯科大学大学院セミナー 2009年6月
破骨細胞前駆細胞の同定と動態: 高橋直之
硬組織研究セミナー (第5回) 2009年7月

Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo: 溝口利英

日本骨代謝学会学術集会 (第27回) 2009年7月

「ミニシンポジウム Bone Cell Topology」骨芽細胞/ストローマ細胞が支持する破骨細胞ニッチ: 溝口利英 (第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 117, 2009)

「ミニシンポジウム Osteoimmunology 11-3」炎症性骨疾患における Wnt シグナルの役割: 小林泰浩 (第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 143, 2009)

Sixth Meeting of Bone Biology Forum 2009年8月

Ror2-mediated noncanonical Wnt signaling stimulates physiological and pathological osteoclastogenesis in a cell autonomous manner: Kobayashi Y

佐久長聖高等学校大学模擬授業 2009年7月

世界に発信! 骨の研究は歯学部から: 宇田川信之

北海道大学大学院セミナー 2009年8月

破骨細胞前駆細胞の in vivo 動態: 高橋直之

ASBMR State-of-Art Lecture B 2009年9月

The basic biology of RANK/RANKL/OPG: Non-canonical Wnt signaling as a co-stimulatory pathway in osteoclastogenesis: Takahashi N

東京大学分子細胞生物学研究所・核内情報研究分野・OB 会セミナー 2009年7月

破骨細胞前駆細胞の誕生と供給における活性型ビタミン D₃ の役割: 中道裕子

運動器科学研究会 (第10回) 2009年9月

破骨細胞前駆細胞の同定と動態解析: 溝口利英

骨発生・再生研究会 (第12回) 2009年10月

生体内における破骨細胞前駆細胞の同定と性状解析: 溝口利英

日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会 (第4回) 2009年10月

歯槽骨の再生を目指した破骨細胞・骨芽細胞・歯髓細胞に関する基礎的研究: 宇田川信之 (第4回日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会プログラム抄録集: p7-8, 2009)

千葉県十二歯科大学同窓会・校友会懇話会 (第30回) 2009年10月

骨は生きている-骨再生医療の発展を目指して-: 宇田川信之

学会発表

日本再生医療学会総会 (第8回) 2009年3月5-6日
Cell Processing Center を利用した骨再生療法の確立: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 内橋隆行, 下平滋隆, 脇谷滋之, 中村美どり, 宇田川信之, 古澤清文

87th General Session & Exhibition of the IADR, 2009年4月1-4日

The influence of titanium-dioxide-doped phosphate-based glass on MC3T3-E1: Mizoguchi T, Yoshida T, Tamura K, Yamazoe M, Nagasawa S, Abou Neel EA, Knowles JC and Ito M (Abstract USB memory)

松本歯科大学学会総会 (第68回) 2009年7月11日

A novel phyto-steroid, Alisol-B, suppresses RANKL-induced osteoclastogenesis in vitro: 李智媛, 永井和夫, 禹濟泰, 高橋直之, 宇田川信之, 小林泰浩

日本骨代謝学会学術集会 (第27回) 2009年7月23-25日

活性型ビタミン D₃ による M-CSF 非依存的な破骨細胞形成における IL-34 の役割: 中道裕子, 宇田川信之, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之 (第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p157, 2009)

細胞周期の停止した静止期破骨細胞前駆細胞 (QOP) の性状解析-QOP は B 細胞マーカーを発現している-: 武藤昭紀, 溝口利英, 荒井敦, 小林泰浩, 中道裕子, 吉成伸夫, 宇田川信之, 高橋直之 (第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p192, 2009)

c-Fos 遺伝子欠損マウスを用いた静止期破骨細胞前駆細胞 (QOP) の解析-c-Fos は RANK の発現を誘導し QOP 分化を制御する-: 荒井敦, 溝口利英, 武藤昭紀, 小林泰浩, 川原一郎, 中村美どり, 宇田川信之, 山田一尋, 高橋直之 (第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p208, 2009)

骨吸収関連遺伝子改変マウスにおける歯槽骨吸収及びビスフォスフォネートの効果: 小出雅則, 二宮禎, 中村美どり, 保田尚孝, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之 (第27回日本骨代謝学会プログラ

ム抄録集：p237, 2009)

RANKL 投与骨量減少症モデルマウスによる denosumab 様抗ヒト RANKL 中和抗体の迅速評価：富盛賀也，森かおる，小出雅則，中道裕子，二宮 禎，宇田川信之，保田尚孝（第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p207, 2009）

Alisol-B suppresses osteoclast differentiation through mediating JNK1 pathway : Lee J-W, Kobayashi Y, Udagawa N, Takahashi N, Nagai K and Woo J-T（第27回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p217, 2009）

歯科基礎医学会学術大会（第51回）2009年9月9-11日

OPG 遺伝子欠損マウスにおいては著しい歯槽骨吸収を呈する：小出雅則，二宮 禎，中村美どり，新井嘉則，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之（*J Oral Biosci* **51** Suppl : p65, 2009）

大理石骨病マウスを用いた BMP 誘導性異所性骨形成の解析：中村美どり，溝口利英，高橋直之，宇田川信之（*J Oral Biosci* **51** Suppl : p 65, 2009）

日本口腔インプラント学会学術大会（第39回）2009年9月25-27日

陽イオン加工チタニウムインプラントの in vivo における骨形成促進効果の組織学的研究，八上公利，伊藤和也，中村美どり，村上広樹，宇田川信之（*日本口腔インプラント学会誌*：第22巻，p233）

日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会（第4回）2009年10月25日

骨吸収遺伝子がマウスの歯槽骨吸収に及ぼす影響：小出雅則，二宮 禎，中村美どり，新井嘉則，小林泰浩，吉成伸夫，高橋直之，宇田川信之（第4回日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会プログラム抄録集：p15, 2009）

破骨細胞分化に特化した前駆細胞は血流を介して破骨細胞形成部位に遊走する：武藤昭紀，溝口利英，荒井 敦，小林泰浩，宇田川信之，高橋直之，吉成伸夫（第4回日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会プログラム抄録集：p25, 2009）

松本歯科大学学会例会（第69回）2009年11月14日

OPG 遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収に対する骨吸収抑制剤の効果：小出雅則，二宮 禎，中村美どり，新井嘉則，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之

チタンインプラント表面加工の違いによる骨形成促進効果の in vivo における組織学的研究：八上公利，伊藤和也，中村美どり，村上広樹，宇田川信之，定岡 直，中根 卓，笠原 香，柳沢 茂，矢ヶ崎 雅

31st American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) Annual Meeting, 2009年9月11-15日

The role of splenic IL-34 in CSF-1-independent osteoclastogenesis induced by active vitamin D₃ : Nakamichi Y, Udagawa N, Mizoguchi T, Kobayashi Y and Takahashi N（第31回米国骨代謝学会プログラム抄録集：S125, 2009）

Rapid evaluation of a denosumab-like anti-human RANKL neutralizing monoclonal antibody with sRANKL-treated bone loss model : Yasuda H, Mori K, Koide M, Nakamichi Y, Ninomiya T, Udagawa N and Tomimori Y（第31回米国骨代謝学会プログラム抄録集：S437, 2009）

第26回内藤カンファレンス オステオバイオロジー 2009年11月4-7日

Ror2-mediated noncanonical Wnt signaling enhances RANKL-induced osteoclast formation in physiological and pathological conditions : Kobayashi Y, Maeda K, Ishihara A, Uehara S, Takada I, Kato S, Nishita M, Minami Y, Marumo K, Udagawa N and Takahashi N（第26回内藤カンファレンス プログラム抄録集：p63, 2009）

The role of splenic IL-34 in CSF-1-independent osteoclastogenesis induced by active vitamin D₃ : Nakamichi Y, Udagawa N, Mizoguchi T, Kobayashi Y and Takahashi N（第26回内藤カンファレンス プログラム抄録集：p65, 2009）

Characterization of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors : Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Kobayashi Y, Penninger JM and Takahashi N（第26回内藤カンファレンス プログラム抄録集：p72, 2009）

松本歯科大学推進研究費による研究

高橋直之，吉成伸夫，武藤昭紀，荒井 敦，中村浩彰，小出雅則，溝口利英：歯周組織における破骨細胞形成機構の in vivo 解析

宇田川信之，宮沢裕夫，山田一尋，細矢明宏，中道裕子，中村美どり：歯髓細胞の有する石灰化機構のメカニズム解明

洞澤功子，山下照仁，上原俊介：純チタン板上における新バイオ界面の形成-各種足場材料の検討とその固定法-

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

宇田川信之，小出雅則，中村美どり，中道裕子，上原俊介：歯槽骨破壊を阻止するための新規治療法開発の基礎研究（基盤研究B）

小林泰浩，高橋直之，平賀 徹，山下照仁，溝口利英：矯正治療への応用を目指した Wnt5a による歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明（基盤研究B）

宮沢裕夫，中村浩志，中村美どり，中道裕子，

宇田川信之：歯髄細胞による硬組織再生機構の解明 (基盤研究 B)

山下照仁, 高橋直之, 二宮 禎：抗癌剤アクチゲニンの新しい骨吸収抑制機構の解明 (基盤研究 C)

中村美どり, 宮沢裕夫, 中村浩志, 中道裕子, 宇田川信之：歯髄・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究 (基盤研究 C)

深澤加與子, 中道裕子, 上原俊介, 中村美どり, 宇田川信之：歯髄細胞を用いた硬組織再生の試み (基盤研究 C)

二宮 禎, 平賀 徹, 小出雅則, 中村浩彰：硬組織形成における組織幹細胞微小環境の解明 (基盤研究 C)

宇田川信之, 中道裕子, 小林泰浩, 上原俊介, 山下照仁：破骨細胞が分泌する新規骨形成誘導因子の同定 (挑戦的萌芽研究)

小林泰浩, 中道裕子：破骨細胞が分泌する Wnt は骨形成を誘導するか? (挑戦的萌芽研究)

中村浩志, 山下照仁, 中村美どり, 小出雅則, 宇田川信之, 宮沢裕夫：LPS シグナルを用いた口腔粘膜疾患モデルの開発 (挑戦的萌芽研究)

穴田貴久, 鈴木 治, 溝口利英：破骨細胞培養系における非侵襲的細胞回収装置の開発と応用 (挑戦的萌芽研究)

溝口利英, 中道裕子, 山下照仁, 細矢明宏, 二宮 禎, 小出雅則：骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明 (新学術領域研究：研究課題提案型)

溝口利英：骨芽細胞が発現する破骨細胞ニッチ形成因子の同定 (若手研究 B)

中道裕子：破骨細胞前駆細胞の誕生および供給における新規サイトカイン IL-34 の役割 (若手研究 B)

小出雅則：骨吸収関連遺伝子改変マウスを用いた歯周炎モデルの解析及び治療の開発 (若手研究 B)

JST シーズ発掘試験研究費による研究

小林泰浩：Ror2 受容体シグナル遮断による骨破壊阻害薬の開発



学会発表

日本薬学会年会 (第129回) 2009年 3月

ラットジペプチジルペプチダーゼⅢの金属結合部位の性質：廣瀬順造, 深澤加與子, 秦 季之, 小野行雄 (要旨集 4 : P81)

第19回金属の関与する生体関連反応シンポジウム 2009年 6月

銅イオンで置換した Dipeptidyl PeptidaseⅢはなぜ活性を発現するのか? : 廣瀬順造, 深澤加與子, 秦 季之, 小野行雄 (講演要旨集: 72)

日本生化学会大会合同大会 (第82回) 2009年10月
P. gingivalis SOD の金属寛容性を発現するアミノ酸残基の検討 : 三原正志, 大澤雅樹, 山倉文幸, 山田一尋, 平岡行博 (生化学 81(臨時増刊) : 258)

ジペプチジルペプチダーゼ (DPP) Ⅲの活性中心を構成する極性アミノ酸残基の役割 : 深澤加與子, 廣瀬順造, 秦 季之, 小野行雄 (生化学 81(臨時増刊) : 281)

松本歯科大学推進研究費による研究

平岡行博, 大澤雅樹, 小町谷美帆, 三原正志 : P. gingivalis スーパーオキシドジスムターゼの金属寛容性を発現するアミノ酸残基の検討

日本学術振興会科学研究費による研究

深澤加與子, 中道裕子, 上原俊介, 中村美どり, 宇田川信之：歯髄細胞を用いた硬組織再生の試み (基盤研究 C)



著 書

Kawakami T and Nagatsuka H (2009) Cell differentiation of neoplastic cells originating in the oral and craniofacial regions, Nova Science Publishers, New York, USA.

長谷川博雅, 川上敏行, 中野敬介, 横井隆政, 吉成伸夫, 木村晃大, 片瀬直樹, 長塚 仁, 永山元彦, 前田初彦, 小山英樹, 齊藤一郎 (2009) 長谷川博雅 監修 口腔の病態を診る, デンタルダイヤモンド社, 東京.

亀山洋一郎, 川上敏行, 久保勝俊, 佐藤恵美子, 佐藤一芳, 杉田好彦, 谷口邦久, 槻木恵一, 中野敬介, 長谷川博雅, 前田初彦 (2009) 亀山洋一郎, 前田初彦 編著 病理学概論, 永末書店, 東京.

賀来 亨, 槻木恵一, 青葉孝昭, 宇都宮忠彦, 岡田裕之, 川上敏行, 窪田展久, 佐藤かおり, 猿田樹理, 田谷雄二, 長谷川博雅, 前田初彦, 三田村治郎, 山本浩嗣 (2009) 賀来 亨, 槻木恵一 編集 スタンダード口腔病態病理学, 学建書院, 東京.

川上敏行 (分担執筆) (2009) 伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨 総編集 医学書院 医学大辞典 第2版, 医学書院, 東京.

論文発表

Nagatsuka H, Katase N, Han PP, Tsujigiwa H, Siar CH, Nakajima M, Naomoto Y, Tamamura R, Kawakami T and Gunduz M (2009) Heparanase and its related molecules in odontogenic tumors. *Oral Med Pathol* **13** : 81-9.

Siar CH, Oo VPA, Nagatsuka H, Nakano K, Ng KH and Kawakami T (2009) Angiogenic squamous dysplasia-like phenomenon in oral epithelial precursor lesions. *Eur J Med Res* **14** : 315-9.

Fujinami Y, Fukui T, Nakano K, Ara T, Fujigaki Y, Imamura Y, Hattori T, Yanagisawa S, Kawakami T and Wang PL (2009) The effects of cigarette exposure on rat salivary proteins and salivary glands. *Oral Dis* **15** : 446-71.

Chuah KS, Siar CH, Nakano K, Nagatsuka H, Khoo SP, Ng KH and Kawakami T (2009) Wingless-type protein-1 (Wnt-1) expression in primary conventional and unicystic ameloblastomas and their recurrent tumors. *J Hard Tissue Biol* **18** : 63-70.

Hattori T, Nakano K, Kawakami T, Tamura A, Ara T and Wang PL (2009) Therapy for nifedipine-induced gingival overgrowth by Saireito in rat. *Eur J Med Res* **14** : 497-501.

Nakano K, Hayashi T, Kawai H, Takei Y, Sato Y, Ando K, Ono Y, Jinno S, Kawakami T, Maeda H and Kawai T (2009) Cell culture in vivo by means of diffusion chamber system. *Dent Mater J* **28**(4) : 382-7.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2009) Expression of HSP in dental root pulp cells due to experimental orthodontic mechanical stress. *J Hard Tissue Biol* **18** : 127-30.

渡邊武寛, 中野敬介, 村岡理奈, 清水貴子, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的牽引側における歯根膜線維芽細胞の免疫組織化学. *J Hard Tissue Biol* **18** : 175-80.

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科矯正学的メカニカルストレスによりマウス歯根膜組織に発現する熱ショックタンパクの免疫組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **18** : 193-8.

松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (2009) マウスの矯正学的牽引側歯根膜における BMP 組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **18** : 181-4.

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Kimura A, Okafuji N, Tsujigiwa H, Hasegawa H and Nagatsuka H (2009) Histopathological and immunohis-

tochemical background of orthodontic treatment. *Int J Med Biol Front* **15** (7/8) : 591-616.

学会発表

日本解剖学会総会 (第114回) 2009年3月
マウスの下顎頭軟骨発生における Notch シグナルの役割: 川上敏行, 清水貴子 (解剖誌 **84**(S) : 69, 2009)

日本病理学会総会 (第98回) 2009年5月
Ameloblastoma と ameloblastic carcinoma における HSP27の発現: 中野敬介, 川上敏行 (日病会誌 **98** : 360, 2009)

Malaysian Dental Association Annual Dental Meeting (66th), Penang, Malaysia, June 2009.

Notch signaling molecules in ameloblastoma : Siar CH, Ng KH, Nagatsuka H, Nakano K and Kawakami T

松本歯科大学学会総会 (第67回) 2009年7月
タバコ煙暴露が及ぼすラット唾液・唾液腺への影響: 福井達也, 藤波義明, 中野敬介, 荒 敏昭, 今村泰弘, 服部敏己, 川上敏行, 王 宝禮 (松本歯学 **35** : 224, 2009)

日本臨床口腔病理学会総会 (第20回) 2009年7月
口腔粘膜の境界悪性病変におけるデスモゾームタンパク質の異常発現: 相沢聡一, 落合隆永, 中野敬介, 木村晃大, 川上敏行, 長谷川博雅 (プログラム・抄録集 p86 ; *Oral Med Pathol* **14** : 75, 2009)

硬組織再生生物学会総会 (第18回) 2009年9月
エナメル上皮腫の悪性変化と HSP 27の発現: 中野敬介, Siar CH, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p 53 ; *J Hard Tissue Biol* **18** : 168, 2009)

歯科基礎医学会総会 (第51回) 2009年9月
メカニカルストレスの惹起するマウス牽引側歯根膜細胞における骨芽細胞分化関連因子の免疫組織化学的検討: 松田浩和, 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (*J Oral Biosci* **51**(S) : 116, 2009)

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜細胞における HSP70の局在変化: 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (*J Oral Biosci* **51**(S) : 145, 2009)

2009 FDI Annual World Dental Congress, Singapore, September 2009.

Notch receptors and their ligands in ameloblastomas : Siar CH, Kawakami T, Nakano K, Nagatsuka H and Ng KH

日本矯正歯科学会大会 (第68回) 2009年11月
実験的歯科矯正治療により惹起されるマウス牽引側歯根膜細胞分化関連因子の免疫組織化学: 松田浩和, 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p161)

歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜組織における HSP 変化: 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p 162)

Conference of Asian International Association of Dental Traumatology (4th), Beijing, China, November 2009.

Biological basis of tissue reaction to orthodontic injury stimulation: Okafuji N and Nakano K (Program book p9-10)

2008 年分

歯科基礎医学会総会 (第50回) 2008年 9月

柴芥湯によるニフェジピン誘発性歯肉肥大の治療: 服部敏己, 中野敬介, 川上敏行, 王 宝禮 (J Oral Biosci 50(S): 199, 2008)

松本歯科大学推進研究費による研究

中野敬介: 口腔腫瘍の細胞分化における形態形成調節因子の解析

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

川上敏行, 長塚 仁, 中野敬介: 骨吸収を惹起する増殖性病変における細胞分化の分子調節機構 (基盤研究 C)

中野敬介, 岡藤範正, 川上敏行: メカニカルストレスが惹起する細胞分化の分子調節機構 (基盤研究 C)



論文発表

Mizoguchi T, Muto A, Udagawa N, Arai A, Yamashita T, Hosoya A, Ninomiya T, Yamamoto Y, Kinugawa S, Nakamura M, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Nagasawa S, Oda K, Tanaka H, Tagaya M, Penninger JM, Ito M, and Takahashi N (2009) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. J Cell Biol 184: 541-54.

永沢 栄, 小幡明彦, 新井嘉則, 吉田貴光, 黒岩昭弘, 伊藤充雄 (2009) 人歯3次元モデルの作成 -ボクセルモデル-. 松本歯学 35: 1-7.

吉田貴光, 田村 郁, 河瀬雄治, 永沢 栄, 伊藤充雄 (2009) コバルトクロム合金と金合金タイプ4のレーザー溶接に関する研究. 日本口腔インプラント誌 22: 36-44.

三浦 滋, 藤本茂樹, 大江健史, 江頭有三, 永沢 栄 (2009) 接着材でコーティングしたアルミナ粉末によるサンドブラスト処理が接着強さに与える効果. 日本口腔インプラント誌 22: 106-14.

学会発表

歯科チタン学会 (第22回) 2009年 2月

インプラント用チタン材の熱処理温度と疲労破壊の関係: 吉田貴光, 田村 郁, 山添正稔, 堀口浩治, 安楽照男, 溝口利英, 永沢 栄, 伊藤充雄 (チタンと歯科臨床 7: 34, 2009)

87th General Session & Exhibition of the IADR, April, 2009

Relationship between Heat Treatment Temperature and Fatigue Failure of Titanium: Yoshida T, Tamura K, Yamazoe M, Mizoguchi T, Kawase Y, Niuro T, Nagasawa S and Ito M (Abstract USB memory)

Hardness and Metallographic Structure of Commercial Titanium wires and Implants: Tamura K, Yoshida T, Yamazoe M, Mizoguchi T, Niuro T, Kawase Y, Nagasawa S and Ito M (Abstract USB memory)

The influence of titanium dioxide doped phosphate-based glasses on MC3T3-E1: Mizoguchi T, Yoshida T, Tamura K, Yamazoe M, Nagasawa S, Abou Neel EA, Knowles JC and Ito M (Abstract USB memory)

日本歯科理工学会 (第53回) 2009年 4月

2ピース型ジルコニアインプラントの機械的性質について: 吉田貴光, 田村 郁, 永沢 栄, 溝口利英, 柏原建記, 伊藤充雄 (歯科材料・器械 28: 111, 2009)

埋没後経過時間と鑄造精度: 竹内 賢, 永沢 栄, 吉田貴光, 田村 郁, 河瀬雄治, 山添正稔, 伊藤充雄 (歯科材料・器械 28: 125, 2009)

松本歯科大学学会 (第68回) 2009年 7月

人歯3次元モデルの作成 第4報 -乳歯モデル-: 永沢 栄, 吉田貴光, 田村 郁, 新井嘉則, 宇津野創, 田所 治, 伊藤充雄 (松本歯学 35: 229-30, 2009)

人歯3次元モデルの作成 第5報 -全顎モデル-: 永沢 栄, 吉田貴光, 田村 郁, 新井嘉則, 福井壽男, 伊藤充雄 (松本歯学 35: 230-1, 2009)

European Conference on Biomaterials, September, 2009

Mechanical properties of 2-piece-type zirconia implants: Yoshida T, Tamura K, Nagasawa S, Mizoguchi T, Kashiwabara T and Ito M (Abstract CD-ROM)

日本口腔インプラント学会 (第39回) 2009年 9月

構成材料の違いがインプラントの強度におよぼす影響 -チタンとジルコニアとの比較-：早野圭吾，永沢 栄，吉田貴光，田村 郁，山添正稔，新納亨，河瀬雄治，伊藤充雄（日本口腔インプラント **22** (SP)：233, 2009)

チタン，Ti-6Al-4V 合金と歯科用貴金属合金の組み合わせによる金属イオンの溶出：山添正稔，安楽照男，堀口浩治，吉田貴光，田村 郁，永沢 栄，伊藤充雄（日本口腔インプラント **22**(SP)：234, 2009)

歯科用インプラント材料としてのチタン及びチタン合金の機械的性質：田村 郁，江頭有三，丸籐雅義，前川修一郎，市川博彰，谷口哲也，江黒 徹，伊藤充雄（日本口腔インプラント **22**(SP)：234, 2009)

チタン材に接着した接着材の接着強さと熱膨張量の関係：河瀬雄治，吉田貴光，田村 郁，山添正稔，溝口利英，竹内 賢，河瀬聡一郎，永沢 栄，伊藤充雄（日本口腔インプラント **22**(SP)：260, 2009)

日本歯科理工学会（第54回）2009年10月
インプラント体の強度に対する試験方法の影響 -有限要素法による検討-：永沢 栄，吉田貴光，溝口利英，田村 郁，山添正稔，伊藤充雄（歯科材料・器械 **28**：365, 2009)

その他の学術発表

日本歯科色彩学会（第17回）必修講習会2009年7月

光と色の見え方について-クベルカ・ムンクセオリーとその限界-：永沢 栄（歯科の色彩 **15**, 2009)

日本歯科理工学会中部支部夏期講習会 2009年8月

3D 画像の有用性：永沢 栄

松本歯科大学推進研究費による研究

吉田貴光：カゼインによる安全性の高い歯牙模型の開発

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小林泰浩，高橋直之，平賀 徹，山下照仁，溝口俊英：矯正治療への応用を目指したWnt5aによる歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明（基盤研究 B）

穴田貴久，鈴木 治，溝口利英：破骨細胞培養系における非侵襲的細胞回収装置の開発と応用（挑戦的萌芽研究）

溝口利英，中道裕子，山下照仁，細矢明宏，二宮 禎，小出雅則：骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明（新学術領域研究：研究課題提案型）

溝口利英：骨芽細胞が発現する破骨細胞ニッチ形成因子の同定（若手研究 B）



論文発表

Wang R, Li X, Yang J, Xu Q and Yang Q (2009) Stress distribution of different metal framework for metal-ceramic crown by three-dimensional finite element analysis. *Journal of Modern Stomatology* **23** : 398-401.

Yamaoka M, Takahashi M, Ishihama K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Age-related disruption of the lamina dura : evidence in the mandibular horizontal incompletely impacted third molar. *Clin Interv Aging* **4** : 451-6.

Yamaoka M, Ono Y, Takahashi Ma, Doto R, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Bone resorption in incompletely impacted mandibular third molars and acute pericoronitis. *Clinical Cosmetic and Investigational Dentistry* **1** : 7-12.

Yamaoka M, Ono Y, Takahashi Ma, Ishizuka M, Uchihashi T, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Acute inflammation in horizontal incompletely impacted third molar with radiolucency in the elderly. *Clin Interv Aging* **4** : 337-42.

Yamaoka M, Ono Y, Ishizuka M, Hasumi-Nakayama Y, Doto R, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Acute inflammation at a mandibular solitary horizontal incompletely impacted molar. *International Journal of General Medicine* **2** : 67-72.

Yamaoka M, Ono Y, Ishizuka M, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Radiolucency below the crown of mandibular horizontal incompletely impacted third molars and acute inflammation in men with diabetes. *Clinical Cosmetic and Investigational Dentistry* **1** : 27-34.

Takahashi M, Mizoguchi T, Uehara S, Nakamichi Y, Yang S, Naramoto H, Yamashita T, Kobayashi Y, Yamaoka M, Furusawa K, Udagawa N, Uematsu T and Takahashi N (2009) Docetaxel inhibits bone resorption through suppression of osteoclast formation and function in different manners. *J Bone Miner Metab* **27** : 24-35.

Kawahara I, Koide M, Tadokoro O, Udagawa N, Nakamura H, Takahashi N and Ozawa H (2009) The relationship between calcium accumulation in osteoclast mitochondrial granules and bone resorp-

tion. Bone 45 : 980-6.

Tadokoro O, Kawahara I, Vaska Vandevska Radunovic and Inoue K (2009) Distribution of epithelial cells and their relationship to immunocompetent cells in rat periodontium : a confocal and transmission electron microscope study. J Histochem Cytochem 57 : 315-25.

内橋隆行, 上松隆司, 高田匡基, 秋田大輔, 丸川和也, 中澤高志, 山岡 稔, 古澤清文 (2009) In vitro 内軟骨性骨化モデルにおけるポリリン酸の石灰化促進作用. 口腔組織培養学会 18 : 29-36

その他の学術著作物

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療 : ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 (BRONJ) 松本歯科医師会会報 364 : 6-7.

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療 : 顎関節症. 松本歯科医師会会報第 65 : 6-7.

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療 : 進行性下顎頭吸収 (Progressive Condylar Resorption). 松本歯科医師会会報 366 : 6-7.

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療 : 睡眠時無呼吸症候群 (Sleep Apnea Syndrome : SAS). 松本歯科医師会会報 367 : 7-9.

上松隆司 (2009) 口腔外科疾患の診断と治療 : 口腔癌. 松本歯科医師会会報 368 : 5-7.

小野裕輔, 上松隆司, 古澤清文 (2009) 口腔乾燥症における外用薬の有用性-アズレンスルホン酸ナトリウム含嗽剤とグリセリン・カルメロースナトリウム口腔保湿剤の使い分け-. デンタルハイジーン 29 : 907-10.

学会発表

Vitamin K & Aging 研究会 (第12回) 2009年2月
吸収窩体積計測による破骨細胞吸収活性評価法 : 川原一郎, 中原徳雄, 二宮 禎, 小澤英浩 (Vitamin K & Aging 研究会抄録集, p15)

日本再生医療学会総会 (第8回) 2009年3月

Cell processing center を利用した骨再生療法の確立 : 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 内橋隆行, 下平滋隆, 脇谷滋之, 中村美どり, 宇田川信之, 古澤清文

日本物理学会 (第64回) 2009年3月

医科歯科系初年次学生のための物理系教育Ⅲ-講義と問題演習および実験実習とを連携させた授業実践 - : 田中忠芳, 増田裕次, 熊井敏文, 川原一郎, 小出雅則, 奥村雅代, 大島和成

日本解剖学会 (第114回) 2009年3月

ラット歯周組織における上皮細胞の分布と免疫担当細胞との相互関係 : 田所 治, 川原一郎, 井上勝博

(解剖学会雑誌第84巻)

国際歯科学研究会議 (IADR) (第87回) 2009年4月

Cell migration and enzyme expression in teraspanin-expressing cancer cells : Niwa T, Uematsu T, Takahashi Mi, Sugiura T, Shirasuna K, Yamaoka M and Furusawa K.

Fundamental Investigation of Cell Processing System for Bone Regeneration : Takahashi Mi, Uematsu T, Teramoto Y, Doto R, Uchihashi T, Shimodaira S, Uemura T, Tahara H, Wakitani S, Udagawa N and Furusawa K.

Inorganic Polyphosphate Induces Osteoblastic Differentiation : Uchihashi T, Uematsu T, Usui Y, Takahashi Ma, Takahashi Mi, Takada M, Niwa T, Yamaoka M and Fukasawa K.

Effect of Inorganic Polyphosphate on Chondrogenic Precursor Cell Line ATDC5.

Takada M, Uematsu T, Uchihashi T, Takahashi Ma, Takasashi Mi, Michigami T, Yamaoka M and Fukasawa K.

日本口腔科学会学術集会総会 (第63回) 2009年4月

ポリリン酸は軟骨前駆細胞の分化を促進する : 高田匡基, 上松隆司, 内橋隆行, 山岡 稔, 古澤清文
培養自己骨髄間葉系細胞を用いた骨再生療法の確立 : 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 内橋隆行, 高橋美穂, 古澤清文

口腔癌細胞における DPP4 遺伝子ファミリーの発現 : 丹羽 崇, 上松隆司, 高橋美穂, 古澤清文

最近5年間の当科における口腔乾燥症の治療成績 : 小野裕輔, 上松隆司, 古澤清文

日本骨代謝学会 (第27回) 2009年7月

ポリリン酸は軟骨前駆細胞の分化を促進し, 石灰化を促進する : 内橋隆行, 上松隆司, 高田匡基, 道上敏美, 古澤清文

リガク in-vivo Micro CT フォーラム2009年8月

Observation of Newly Formed Bone Surrounding Mini-implants Using Micro-CT : 武 峰, 李 憲起, 楊 静, 新井嘉則, 宮沢裕夫

JADR 学術大会 (第57回) 2009年9月

Antitumoral immunity by OK-432-conjugated tumor vaccine in mice cancer model : Li X, Uematsu T, J Yang, Takahashi M, Uchihashi T, Marukawa K, Akita D, Nakazawa T, Furusawa K.

Phenotypical Change in Tetraspanin-expressed cancer cells : Uematsu T, Takahashi Mi, Niwa T, Uchihashi T, Takada T, Marukawa K, Nakazawa T, Akita D, Li X, Yamaoka M and Furusawa K.

日本癌学会学術総会 (第68回) 2009年10月

Alteration in the Expression of Dipeptidyl Peptidases in Tetraspanin-Expressed Cancer cells :

高橋美穂, 上松隆司, 丹羽 崇, 杉浦 剛, 山岡 稔, 古澤清文。

日本口腔外科学会総会・学術大会(第54回)2009年10月

頬部に発生した筋周皮腫の一例 A case of myopericytoma of the cheek: 高田匡基, 堂東亮輔, 高橋美穂, 内橋隆行, 寺本祐二, 高橋昌宏, 上松隆司, 古澤清文。

培養癌細胞における DPP4 遺伝子ファミリーの発現: 丹羽 崇, 上松隆司, 高橋美穂, 古澤清文

頬部に発生した筋周皮腫の一例: 高田匡基, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 古澤清文。

口腔乾燥症に対する口腔保湿剤(フィットエンジェル)の有用性: 小野裕輔, 上松隆司, 上田青海, 古澤清文。

日本矯正歯科学会(第68回)2009年11月

歯根膜リモデリングにおける CD34陽性血管系幹細胞の動態: 川原良美, 山田一尋, 川原一郎, 小澤英浩。

日本口腔インプラント学会中部支部総会・学術大会(第30回)2009年11月

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した一例: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 山下秀一郎, 植田章夫, 古澤清文。

日本口腔組織培養学会学術大会(第46回)2009年12月

培養自己骨髄間葉系細胞を用いた骨再生療法の基礎的研究: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 高田匡基, 丹羽 崇, 丸川和也, 古澤清文。

日本顎顔面インプラント学会(第13回)2009年12月

培養骨髄間葉系細胞を骨再生療法に適用するための基礎的研究: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 高田匡基, 丹羽 崇, 丸川和也, 古澤清文。

臨床研究厚生労働省認可

上松隆司: ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨増生法の確立(厚生労働省発医政0910第1号:平成21年9月10日)

松本歯科大学推進研究費による研究

上松隆司: 組織体性幹細胞を用いた顎骨再生療法の試み-自己骨髄間葉系幹細胞移植と臨床評価法の確立-

日本学術振興会科学研究費による研究

李 憲起, 上松隆司, 楊 淑華, 高橋美穂, 丹波 崇: 口腔癌に対する腫瘍免疫療法の確立-OK432重合腫瘍ワクチンによる抗腫瘍効果-(基盤研究 C)

楊 淑華, 上松隆司, 李 憲起, 高橋美穂: 骨吸収を促進する Nod ファミリーシグナルの解析(基盤研究 C)



著 書

増田裕次(分担執筆)(2009)動物実験でできること. In 顎運動および筋電図検査法, 日本顎口腔機能学会(編)八木印刷, 徳島, 60-6.

論文発表

Katase-Akiyama S, Kato T, Yamashita S, Masuda Y and Morimoto T (2009) Specific increase in non-functional masseter bursts in subjects aware of tooth-clenching during wakefulness. J Oral Rehabil **36**: 93-101.

Yoshida A, Taki I, Chang Z, Iida C, Haque T, Tomita A, Seki S, Yamamoto S, Masuda Y, Moritani M and Shigenaga Y (2009) Corticofugal projections to trigeminal motoneurons innervating antagonistic jaw muscles in rats as demonstrated by anterograde and retrograde tract tracing. J Comp Neurol **514**: 368-86.

Shoda E, Kitagawa J, Suzuki I, Nitta-Kubota I, Miyamoto M, Tsuboi Y, Kondo M, Masuda Y, Oi Y, Ren K and Iwata K (2009) Increased phosphorylation of extracellular signal-regulated kinase in trigeminal nociceptive neurons following propofol administration in rats. J Pain **10**: 573-85.

Kumai T (2009) Extraction of the EPP component from the surface EMG. Journal of Visualized Experiments, Neuroscience Issue **34**.

加藤隆史, 増田裕次, 森本俊文(2009)咀嚼:「味」から「おいしさ」へ. 日本味と匂学会誌 **16**: 43-51.

安富和子, 足立忠文, 増田裕次(2009)小学校での歯科保健指導による咬合力と食嗜好の変化-噛み応えのある食品を毎日食べることで-. 日本咀嚼学会誌 **19**: 77-84.

小川倫子, 足立忠文, 山崎勝己, 久保田健稔, 濱田 傑(2009)パノラマ X線写真を用いた上顎洞底形態に関する研究. 日本口腔科学会雑誌 **58**: 89-96.

足立忠文, 山崎勝己, 久保田健稔, 小川倫子, 三木仁美, 松澤恵梨子, 谷 朋代, 辻 洋史, 濱田 傑(2009)急性期病院における口腔ケアの必要性に関する検討. 阪大歯学誌 **53**: 73-81.

久保田健稔, 足立忠文, 山崎勝己, 小川倫子,

濱田 傑 (2009) 歯性上顎洞炎が原因と考えられた鼻性視神経症の1例. 日本口腔外科学会雑誌 **55**: 236-40.

小川倫子, 久保田健稔, 足立忠文, 山崎勝己, 濱田 傑 (2009) 歯性上顎洞炎発症における歯科治療の関連について. 近畿大医誌 **34**: 137-42.

足立忠文, 山崎勝己, 久保田健稔, 小川倫子, 濱田 傑 (2009) OK-432局所注入療法により緩徐な治癒経過を辿った顎下型ガマ腫の1例. 近畿大医誌 **34**: 143-7.

山崎勝己, 足立忠文, 久保田健稔, 小川倫子, 岸野万伸, 濱田 傑 (2009) 索状構造物を認めた腺様菌原性腫瘍の1例. 日本口腔外科学会雑誌 **55**: 500-4.

学会発表

日本物理学会年次大会 (第64回) 2009年3月

医科歯科系初年次学生のための物理系教育Ⅲ-講義と問題演習および実験実習とを連携させた授業実践-: 田中忠芳, 増田裕次, 熊井敏文, 川原一郎, 小出雅則, 奥村雅代, 大島和成 (日本物理学会講演概要集 第64巻 第1号 第2分冊: 407, 2009)

36th International Congress of Physiological Sciences (IUPS 2009) 2009年7月

Oscillation of the endplate potential: Kumai T.

35th ADEE Association for Dental Education in Europe meeting 2009年8月

The practice and approach toward dental students and dental faculty in Center for Excellence in Teaching and Learning: Okafuji N, Otogoto J, Semura E, Tomida M, Furukawa H, Masuda Y, Miyazawa H, Yoshizawa H, Kurasawa I and Hasegawa H (Program and abstract p53)

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 (第15回) 2009年8月

固形物と同時に摂取した液体へのトロミ付与が食物の咽頭流入へ及ぼす影響: 松尾浩一郎, 河瀬総一郎, 脇本仁奈, 安東信行, 増田裕次, 小笠原正

歯科基礎医学会学術大会 (第51回) 2009年9月

モルモットを用いた実験的咬合高径低下: 金山隼人, 加藤隆史, 足立忠文, 山田一尋, 森本俊文, 増田裕次 (J Oral Biosci **51**(supple): 108, 2009)

安静時におけるモルモット閉口筋筋感覚ニューロン活動の変化: 中村典正, 加藤隆史, 足立忠文, 森本俊文, 増田裕次 (J Oral Biosci **51**(supple): 151, 2009)

Neuroscience 2009 日本神経科学会 (第32回) 2009年9月

Modulation of jaw position by cortical stimulation: Ishihara I, Adachi T, Toi S, Morimoto T and

Masuda Y (Neuroscience 2009 Program: 209, 2009)

The first asia academic congress for temporomandibular joint 2009年9月

Analysis of masticatory movement in the bite-raised guinea pigs: Kanayama H, Masuda Y, Kato T, Adachi T, Arai Y, Yamada K and Morimoto T.

日本リメディアル教育学会全国大会 (第5回) 2009年9月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築とe-Learningコンテンツの開発 I: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本リメディアル教育学会 第5回全国大会発表予稿集: 53-4, 2009)

自己を知る試み-「良き歯科医師」への第一歩-: 瀬村江里子, 金銅英二, 増田裕次, 今村泰弘, 田中忠芳 (初年次教育学会 第2回大会発表要旨集: 310-131, 2009)

日本物理学会2009年秋季大会 2009年9月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築 I: 田中忠芳, 大島和成, 増田裕次, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊 (日本物理学会講演概要集 第64巻 第2号 第2分冊: 310, 2009)

大学初年次物理系教育のためのe-Learningコンテンツの開発 I: 鍵山茂徳, 田中忠芳, 大島和成, 増田裕次, 江尻有郷, 並木雅俊 (日本物理学会講演概要集 第64巻 第2号 第2分冊: 310, 2009)

日本咀嚼学会学術大会 (第20回) 2009年10月

学童期における多方位口唇閉鎖力に関する調査研究: 大石めぐみ, 安富和子, 中塚久美子, 増田裕次 (日本咀嚼学会誌 **19**(2): 111)

三叉神経領域感覚-運動統合機構研究会 (第3回) 2009年10月

モルモット大脳皮質における咀嚼様運動誘発部位からの皮質内神経連絡の機能的役割: 戸井尚子, 足立忠文, 加藤隆史, 吉田 篤, 金山隼人, 森本俊文, 増田裕次

日本教育工学会研究会 2009年10月

大学初年次物理系教育のためのハイブリッド型e-Learningコンテンツの開発: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本教育工学会研究報告集 JSET **09-4**: 45-48, 2009)

日本矯正歯科学会 (第68回) 2009年11月

多方位口唇閉鎖力と顎顔面形態の関連性: 村上円都, 中塚久美子, 金澤昌律, 水野瑠莉香, 増田裕次, 山田一尋 (日本矯正歯科学会抄録集 **68**: 138, 2009)

モルモットにおいて顎間ゴム装着が咬合高径に与える影響: 金山隼人, 増田裕次, 森本俊文, 山田一尋 (日本矯正歯科学会抄録集 **68**: 141, 2009)

片側性口唇口蓋裂患者における口唇閉鎖力の方向特異性: 中塚久美子, 村上円都, 大石めぐみ, 増田裕次, 山田一尋 (日本矯正歯科学会抄録集 **68**: 247,

2009)

日本顎口腔機能学会学術大会 (第43回) 2009年11月

ラット三叉神経運動前ニューロン群に投射する大脳皮質と視床の連絡: 山本真也, 加藤隆史, 増田裕次, 佐藤文彦, 岡綾香, 滝育郎, 吉田篤

講演会

第6回顎口腔機能セミナー 日本顎口腔機能学会主催 2009年9月

顎口腔系の機能評価のための生理学: 増田裕次
産学交流ネットワーク2009 長野県テクノ財団主催 2009年9月

多方位口唇閉鎖力測定装置の開発: 増田裕次
新技術説明会 信州産学官連携機構主催 2009年11月

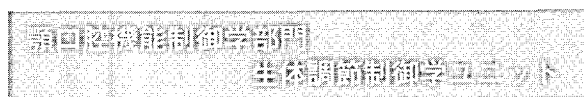
口唇の機能を測定するための多方位口唇閉鎖力測定装置: 増田裕次

松本歯科大学推進研究費による研究

足立忠文, 増田裕次, 王宝禮, 今村泰弘, 奥村雅代: 咀嚼機能再獲得過程での学習効果に関連した神経ネットワーク再構築を検討するためのモデル動物の作成

日本学術振興会科学研究費による研究

増田裕次, 吉田篤: 大脳皮質による複合的な咀嚼運動制御に関わる皮質-皮質間連絡の解明 (基盤研究C)



論文発表

Tanaka T, Okumura M, Iwata K, Himeno K, Tokizaki T, Yamada K, Okafuji N, Kurihara S, Iwakami T and Kondo E (2009) Gene expression in trigeminal ganglion neurons in temporomandibular joint inflamed rats. -Change in transient receptor potential channels- Pain Res 24: 147-58.

Yamaoka M, Ono Y, Takahashi Ma, Doto R, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Bone resorption in incompletely impacted mandibular third molars and acute pericoronitis. Clinical Cosmetic and Investigational Dentistry 1: 7-12.

Yamaoka M, Ono Y, Takahashi Ma, Ishizuka M, Uchihashi T, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa

K (2009) Acute inflammation in horizontal incompletely impacted third molar with radiolucency in the elderly. Clin Interv Aging 4: 337-42.

Yamaoka M, Ono Y, Ishizuka M, Hasumi-Nakayama Y, Doto R, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Acute inflammation at a mandibular solitary horizontal incompletely impacted molar. International Journal of General Medicine 2: 67-72.

Yamaoka M, Ono Y, Ishizuka M, Yasuda K, Uematsu T and Furusawa K (2009) Radiolucency below the crown of mandibular horizontal incompletely impacted third molars and acute inflammation in men with diabetes. Clinical Cosmetic and Investigational Dentistry 1: 27-34.

宮下みどり, 中山洋子, 梅村哲弘, 山田秀史, 石濱孝二, 安田浩一, 山岡稔, 古澤清文 (2009) 外科矯正術後の長期的な感覚異常の検討 口腔顔面神経機能学会誌 13: 10-2.

金銅英二, 音琴淳一, 瀬村江里子 (2009) 「医療人行動学 I・II・III」を展開して -人間性豊かな歯科医師育成に向けての取り組み- 松本歯科大学紀要 38: 215-22.

学会発表

日本口腔顔面痛学会総会・学術集会 (第14回) 日本顎関節学会総会・学術大会2009年7月 (東京)

神経損傷によるアロディニアと遺伝子発現の変化に対する Gabapentin の効果

奥村雅代, 金銅英二 (プログラム・抄録集第21巻, P. 38)

日本疼痛学会 (第31回) 2009年7月 (名古屋)

神経損傷によるアロディニアと遺伝子発現の変化に対する Gabapentin の効果

奥村雅代, 金銅英二 (PAINRES Vol. 24, No. 2, P. 65)

ORIGIN 神経科学セミナー (第11回) 2009年8月 (塩尻)

下歯槽神経切断モデルにおけるアロディニアと Gabapentin

奥村雅代, 金銅英二 (ORIGIN プログラム・抄録集 P. 9)

初年次教育学会大会 (第2回) 2009年9月 (兵庫)

自己を知る試み-「良き歯科医師」への第一歩-: 瀬村江里子, 金銅英二, 増田裕次, 今村泰弘, 田中忠芳 (発表要旨集 p130-1)

社団法人日本補綴歯科学会東海支部学術大会 市民フォーラム 2009年11月

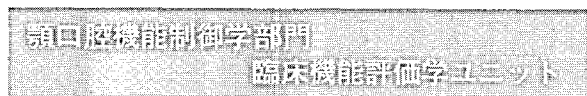
知っておきたい“あごとお口の痛み” -神経や脳の変化について- 金銅英二 (日本補綴歯科学会東海支部総会ならびに学術大会 プログラム・抄録集

P.10)

大阪口腔懇話会 特別講演(第30回) 2009年12月
口腔顔面痛の諸問題 -神経や脳の変化について
- 金銅英二

松本歯科大学推進研究補助金による研究

金銅英二: 三叉神経節神経細胞の侵害刺激に伴う
マイクロRNAの発現上昇の解析



著 書

山下秀一郎(分担執筆)(2009) クラウンブリッジ
補綴学 第4版, 石橋寛二, 川添堯彬, 川和忠治,
福島俊士, 三浦宏之, 矢谷博文(編著) インフォー
ムドコンセント, 医歯薬出版, 東京

論文発表

Hashii K, Tomida M and Yamashita S (2009) In-
fluence of changing the chewing region on mandi-
bular movement. Australian Dental Journal 54 :
38-44.

Katase-Akiyama S, Kato T, Yamashita S,
Masuda Y and Morimoto T (2009) Specific increase
in non-functional masseter bursts in subjects
aware of tooth-clenching during wakefulness. Jour-
nal of Oral Rehabilitation 36 : 93-101.

Ara T, Kurata K, Hirai K, Uchihashi T, Uematsu
T, Imamura Y, Furusawa K, Kurihara S and Wang
PL (2009) Human gingival fibroblasts are critical
in sustaining inflammation in periodontal disease.
J Periodontal Res 44 : 21-7.

渡邊武寛, 中野敬介, 村岡理奈, 清水貴子, 岡藤
範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科
矯正学的牽引側における歯根膜線維芽細胞の免疫組
織化学. J Hard Tissue Biol 18 : 175-80.

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤
範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (2009) 歯科
矯正学的メカニカルストレスによりマウス歯根膜組
織に発現する熱ショックタンパクの免疫組織化学的
観察. J Hard Tissue Biol 18 : 193-8.

田中丈也, 奥村雅代, 岩田幸一, 姫野勝仁, 時崎
匡史, 山田一尋, 岡藤範正, 栗原三郎, 岩上朋代,
金銅英二 (2009) 顎関節炎モデルラットにおける三
叉神経節細胞の遺伝子発現 (TRP チャンネル群の動
態), 日本疼痛学会誌 24 : 147-58.

佐藤裕二, 北川 昇, 服部佳功, 山下秀一郎, 玉置

勝司, 中村隆志 (2009) 日本の各大学における有床
義歯検査用紙に関する研究. 日本補綴歯科学会誌
1 : 55-63.

沼尾尚也, 山下秀一郎, 笠原隼男, 富田美穂子,
浅沼直和 (2009) 味の広がり認識するのに必要な
咀嚼回数をもとにした新たな味覚検査法の確立. 日
本補綴歯科学会誌 1 : 378-385.

新村弘子, 土屋総一郎, 滝嶋 博, 大島和成, 山下
秀一郎 (2009) 三次元有限要素応力解析による下顎
小白歯歯槽骨吸収に関する研究. 松本歯学 35 : 144
-9.

Nakatsuka Y, Yamashita S, Nimura H, Mizoue
S, Tsuchiya S and Hashii K : Location of main oc-
cluding areas and masticatory ability in patients
with reduced occlusal support. Australian Dental
Journal (in press)

溝上真也, 山下秀一郎, 橋井公三郎, 中塚佑介
(2009) 咀嚼側の違いが下顎の咀嚼運動経路に及ぼす
影響. 日本補綴歯科学会誌 (in press)

その他の学術著作物

山下秀一郎 (2009) 最後方白歯のみの遊離端欠損
における補綴処置 短縮歯列をどう考えるか The
Quintessence Year Book 2009 現代の治療指針
欠損・審美補綴と全治療分野 編

山下秀一郎, 橋井公三郎, 中塚佑介 学術投稿/ア
クティブエイジングで拭く明日の歯科医療 第4
回 エイジングによる顎運動と運動制御機構 松本
市歯科医師会会報 1 2009 vol.355

学会発表

日本補綴歯科学会関西支部総会学術大会 2009年
2月

新しいクラウンの評価基準について: 中村隆志,
佐藤裕二, 北川 昇, 服部佳功, 山下秀一郎, 玉置
勝司, 矢谷博文

International Association for Dental Research, 87
th General Session of the IADR, April, 2009

Application of digital camera to determine oc-
clusal vertical dimension. : Nakatsuka Y, Yama-
shita S, Hashii K and Kasahara T

Newly designed gustatory test based on progress
of mastication. : Kasahara T, Yamashita S, Numao
H, Tomida M and Asanuma N

日本補綴歯科学会学術大会(第118回) 2009年6月
新しく製作した模型歯を用いた築造窩洞形成シ
ミュレーション実習 -穿孔の評価- : 土屋総一郎,
柳田史城, 山下秀一郎

音楽経験者における顎関節症の疫学的研究: 千葉
由範, 山下秀一郎, 橋井公三郎, 中塚佑介, 溝上

真也, 笠原隼男

松本歯科大学学会 (第68回) 2009年7月

デジタルエックス線イメージングプレート取り扱
い上の注意事項

-背景の写り込みによるエラー像-: 野々田 太,
藤崎 昇, 土屋総一郎, 山下秀一郎

International Congress of Physiological Sciences,
July, 2009

Reducing effect of additional sensory stimuli on
perception of pain. XXXVI, 27, Tomida M, Yama-
shita S, Onozuka M, Hirano Y, Tachibana A, Ando
H and Asanuma N

Integrated Sleep Medicine Society Japan (ISMSJ)
学術集会 (第1回) 2009年9月

睡眠時無呼吸症候群患者の呼吸イベント後の覚醒
応答に対する咀嚼筋・四肢筋活動の発現様相につい
て: 片瀬剛士, 加藤隆史, 谷口充孝, 杉田淑子, 山下
秀一郎

歯科基礎医学会学術大会 (第51回) 2009年9月

安静時におけるモルモット閉口筋筋感覚ニューロ
ン活動の変化: 中村典正, 加藤隆史, 足立忠文, 山下
秀一郎, 森本俊文, 増田裕次

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜細
胞における HSP 70 の局在変化: 村岡理奈, 中野
敬介, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (J
Oral Biosci 51 (S) : 145, 2009)

日本矯正歯科学会大会 (第68回) 2009年11月

歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜組織におけ
る HSP 変化: 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 栗原
三郎, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p
162)

日本口腔インプラント学会中部支部学術大会 (第
30回) 2009年11月

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除
去した一例: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 山下
秀一郎, 植田章夫

日本補綴歯科学会東海支部学術大会2009年11月

新しいマイクロ波重合型義歯床用レジン重合法の
検討: 後藤東太, 中塚佑介, 山下秀一郎, 伊藤充雄
咀嚼を指標とした新たな味覚検査法の検討: 笠原
隼男, 富田美穂子, 浅沼直和, 沼尾尚也, 山下秀一郎

松本歯科大学推進研究費による研究

山下秀一郎: 新しいマイクロ波レジン重合法の開
発



論文発表

Uchiyama M, Nakamichi Y, Nakamura M, Kinu-
gawa S, Yamada H, Udagawa N and Miyazawa H
(2009) Dental pulp and periodontal ligament cells
support osteoclastic differentiation. J Dent Res
88 : 609-14.

Kikuchi U, Ohara N, Ueda O, Hirai K, Shibata Y,
Nakayama K and Fujimura S (2009) *Porphy-*
romonas gingivalis mutant defective in a putative
extracytoplasmic function sigma factor shows a
mutator phenotype. Oral Microbiol Immunol 24 :
377-83.

その他の学術著作物

中村浩志 (2009) 噴射切削法の小児歯科領域への
応用 -等価騒音レベルについて-. 歯界展望 特別
号 : 289. 医歯薬出版.

中村美どり, 中道裕子, 中村浩志, 宇田川信之
(2009) 破骨細胞の形成と骨吸収. 日本臨床 67 : 889
-96. 日本臨床社.

学会発表

22nd Congress of the International Association of
Pediatric Dentistry, Munich, Germany (June, 2009)

Basic research on biomaterials for restoration of
primary teeth : Mizutani T, Nakayama A, Iwasaki
H and Miyazawa H

35th ADEE Association for Dental Education in
Europe meeting, Helsinki, Finland (August, 2009)

The practice and approach toward dental stu-
dents and dental faculty in Center for Excellence in
Teaching and Learning : Okafuji N, Otagoto J, Se-
mura E, Tomida M, Furukawa H, Masuda Y, Miya-
zawa H, Yoshizawa H, Kurasawa I and Hasegawa
H

日本細菌学会 (第82回) 2009年3月

Porphyromonas gingivalis の PPK 遺伝子挿入変
異株の作製: 上田青海, 菊池有一郎, 上松隆司,
平井 要, 柴田幸永, 藤村節夫 (日細菌誌 64 : 157,
2009)

Porphyromonas gingivalis ECF シグマ因子 PG
0162 変異株の性状解析: 菊池有一郎, 大原直也, 上田
青海, 平井 要, 柴田幸永, 雪竹英治, 中山浩次,
藤村節夫 (日細菌誌 64 : 162, 2009)

日本小児歯科学会大会 (第47回) 2009年5月

抗菌性モノマー配合ボンディング材のフィッシャーシーラントへの応用 第2報 彩色試作品の検討：竹内瑞穂，蓮見秀樹，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫

小児期における歯周病原性細菌の検出状況について -歯肉炎との関連-：齋藤珠実，上田青海，小口久雄，岩崎 浩，宮沢裕夫

乳歯の修復における生体吸収性材料の応用に向けた基礎研究（第1報）：水谷智宏，中山 聡，高梨登，岩崎 浩，宮沢裕夫

歯周病関連細菌と環境要因：青木伯永，寺本幸代，齋藤珠実，福地輝代，高橋勝昭，小口久雄，河村勝美，宮沢裕夫

歯科基礎医学会（第51回）2009年9月

銀担持光触媒のう蝕原性レンサ球菌バイオフィームへの効果：平井 要，菊池有一郎，上田青海，柴田幸永，藤村節夫 (Japan Assoc Oral Biol 51: Suppl 130, 2009)

日本外傷歯学会学術大会（第9回）2009年10月

乳児期の外傷に対する試み：副島之彦，高田里絵，室伏菜緒，榎原康生，吾妻昭夫，岩崎 浩，宮沢裕夫

歯への障害を緩和する生体吸収性根管内ポストの基礎研究：水谷智宏，中山 聡，内山 正，高梨登，岩崎 浩，宮沢裕夫

日本小児歯科学会中部地方会大会（第28回）2009年10月

各種歯牙保存液が培養線維芽細胞に及ぼす影響：大須賀直人，正村正仁，水島秀元，紀田晃生，宮沢裕夫

幼稚園での歯科健診とその事後評価について：金澤真亨，川原康秀，北村武嗣，浅田匡彦，吾妻昭夫，榎原康生，副島之彦，岩崎 浩，宮沢裕夫

小児における歯周病原性菌の検出について：川端明美，齋藤珠実，川端宏之，上田青海，田中みずき，岩崎 浩，宮沢裕夫

リガチャーワイヤーを用いた乳歯冠誤飲・誤嚥防止について：木下友江，立岩 朗，川原康秀，榎原康生，佐野あゆ，岩崎 浩，宮沢裕夫

う蝕症第2度における炭酸ガスレーザーの有効性：浅田匡彦，林 美津子，北村武嗣，金澤真亨，吾妻昭夫，榎原康生，岩崎 浩，宮沢裕夫

乳歯癒合歯ならびに先天性欠如歯と後継永久歯との関係について -第3報 10年前との比較-：田中丈也，立岩 朗，木下友江，大東史奈，金澤真亨，浅田匡彦，吾妻昭夫，副島之彦，榎原康生，岩崎 浩，宮沢裕夫

幼児期のう蝕活性と環境要因 -1歳6ヶ月児と3歳児について-：寺本幸代，福地輝代，青木伯永，松田厚子，宮沢裕夫

松本歯科大学学会（第69回）2009年11月

銀担持光触媒のう蝕原性レンサ球菌への殺菌効果：平井 要，菊池有一郎，上田青海，木曾有紀子，

大石真太郎，宮下みどり，柴田幸永，吉澤英樹，伊藤充雄，藤村節夫

講演

山西医科大学口腔医院臨床特別セミナー（中国）2009年4月

-Dental health for children-：岩崎 浩

中国九三学社山西省医療衛生委員会（中国）2009年4月

「中国人小児の口腔健康を考える -乳歯齲蝕について-」：岩崎 浩

展示・説明会

イノベーション・ジャパン 2009 -大学見本市- 2009年9月

乳歯における生体吸収性材料を用いた根管内ポスト：水谷智宏，中山 聡，高梨登，岩崎 浩，宮沢裕夫

松本歯科大学推進研究費による研究

宇田川信之，宮沢裕夫，山田一尋，細矢明宏，中道裕子，中村美どり：歯髓細胞の有する石灰化機構のメカニズム解明

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

宮沢裕夫，中村浩志，中村美どり，中道裕子，宇田川信之：歯髓細胞による硬組織再生機構の解明（基盤研究B）

中村美どり，宮沢裕夫，中村浩志，中道裕子，宇田川信之：歯髓・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究（基盤研究C）

中村浩志，山下照仁，中村美どり，小出雅則，宇田川信之，宮沢裕夫：LPS シグナルを用いた口腔粘膜疾患モデルの開発（挑戦的萌芽研究）



著書

穂坂一夫，小笠原 正（分担執筆）（2009）発達と発達遅滞，In：日本障害者歯科学会編：スペシャルニーズデンティストリー-障害者歯科，34-41，医歯薬出版，東京。

柳沢 茂（分担執筆）（2009）新口腔保健学，1版，66-72，225-34，医歯薬出版，東京。

論文発表

Fujinami Y, Fukui T, Nakano K, Fujigaki Y, Imamura Y, Hattori T, Yanagisawa S, Kawakami T and Wang P-L (2009) The effects of cigarette exposure on rat salivary proteins and salivary glands. *Oral Diseases* **15** : 466-71.

Wang R, Li X, Yang J, Xu Q and Yang Q (2009) Stress distribution of different metal framework for metal-ceramic crown by three-dimensional finite element analysis. *Journal of Modern Stomatology* **23** : 398-401.

Hosaka K, Jackson D, Pickrell JE, Heima M and Milgrom P (2009) Flumazenil reversal of sublingual triazolam. A randomized controlled clinical trial. *JADA* **140** : 559-66.

河瀬聡一郎, 隅田佐知, 岡田尚則, 松尾浩一郎, 穂坂一夫, 小笠原 正 (2009) 非協力患者に対するプロポフォールによる行動調整法における至適鎮静度の指標に関する研究-閉眼, 睫毛反射の消失, スムーズなバイトブロックの挿入, を比較検討して-. *日歯麻誌* **37** : 554-9.

隅田佐知, 小笠原 正, 脇本仁奈, 河瀬瑞穂, 穂坂一夫, 松尾浩一郎, 緒方克也 (2009) 発達と特性からみた自閉症児者の歯科適応. *障歯誌* **30** : 550-5.

学会発表

The Korean Association for Disability and Oral Health 2009 Conference, April, 2009

The Ability of Autistic Persons to Adapt to Dental Equipment : Sumida S, Toi S, Miyasita N, Matsuo K, Hosaka K and Ogasawara T

Effects to the counting method among patients with developmental disorders : Toi S, Sumida S, Hosaka K, Andou N and Ogasawara T

日本老年歯科医学会 (第20回) 2009年6月

要介護高齢者におけるカンジタ検出の要因 : 小笠原 正, 松尾浩一郎, 隅田佐知, 河瀬瑞穂, 穂坂一夫, 川瀬ゆか, 尾崎由衛, 柿本保明 (第20回日本老年歯科医学会プログラム・抄録集 : 135, 2009)

日本歯科医療福祉学会 (第15回) 2009年6月

重症心身障害児・者病棟入院者の口腔管理26年の結果 : 望月慎恭, 穂坂一夫, 小笠原 正 (第16回日本歯科医療福祉学会プログラム・抄録集 : 22, 2009)

日本心身医学5学会合同集会 (第1回) 2009年6月

歯科医師に対する非機能的認知を特徴とした歯科恐怖症患者の1例 : 穂坂一夫, 古川洋和

Modified Dental Anxiety Scale 日本語版 (MDAS-J) の作成 : 信頼性と弁別的妥当性の検討 : 古川洋和, 穂坂一夫

中部歯科麻酔研究会 (第41回) (第30回日本歯科麻酔学会中部地方会) 2009年7月

乳歯交換期に感染性心内膜炎を発症した一例 : 定岡 直, 望月慎恭, 岩谷和夫, 隅田佐知, 河瀬聡一郎, 安東信行, 松尾浩一郎, 岡田芳幸, 穂坂一夫, 小笠原 正

信州公衆衛生学会総会, 2009年8月

環境タバコ煙の暴露状況調査 : 定岡 直, 柳沢 茂, 中根 卓, 八上公利, 小口久雄, 笠原 香 (信州公衆衛生学会誌, 第4巻, p 72)

松本歯科大学推進研究報告会, 2009年8月

幾何構造理論による骨誘導能と永続的維持能を持つチタニウム繊維体を用いたインプラント体の開発 : 八上公利, 久保木芳徳, 関 康夫, 上松隆司, 中村美どり, 柳沢 茂

リガク in-vivo Micro CT フォーラム (塩尻) 8月

Observation of Newly Formed Bone Surrounding Mini-implants Using Micro-CT : 武 峰, 李 憲起, 楊 静, 新井嘉則, 宮沢裕夫

in-vivo Micro CT を用いたラット歯髓断髄法の観察 : 大須賀直人, 楊 静

2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation (PAPF), 1st Meeting of the IADR Asia/Pacific Region (APR) 第57回 JADR 学術大会 (中国, 武漢) 9月

Antitumoral immunity by OK-432-conjugated tumor vaccine in mice cancer model Li X, Uematsu T, Yang J, Takahashi M, Uchihashi T, Marukawa K, Akita D, Nakazawa T and Furusawa K

日本障害者歯科学会 (第26回) 2009年10月

全身麻酔下で歯科治療を行った小頭性骨異形成性初期小人症の1例 : 戸井尚子, 隅田佐知, 脇本仁奈, 岡田尚則, 榊原雅弘, 伊沢正彦, 穂坂一夫, 小笠原 正 (障歯誌 **30** : 255, 2009)

軽度発達障害者への歯科支援システムのガイドラインの検討 第1報 -保護者の要望- : 牧井覚万, 隅田佐知, 安東信行, 野原 智, 薦田 智, 副島之彦, 石倉行男, 穂坂一夫, 小笠原 正, 緒方克也 (障歯誌 **30** : 437, 2009)

義歯を誤飲した知的障害者の2症例 : 岩谷和夫, 塚田久美子, 脇本仁奈, 大槻征久, 大槻真理子, 榊原雅弘, 松尾浩一郎, 穂坂一夫, 小笠原 正 (障歯誌 **30** : 213, 2009)

施設入所重症心身障害者の長期歯科管理の経験-その効果と問題点- : 望月慎恭, 岩谷和夫, 野原智, 渭東淳行, 三井貴信, 正田行穂, 平出吉範, 小柴慶一, 松尾浩一郎, 穂坂一夫, 小笠原 正, 笠原浩 (障歯誌 **30** : 394, 2009)

知的障害者におけるデンタルフロスのレディネス : 山村清美, 三井理恵子, 水澤 愛, 新井麻衣子, 脇本仁奈, 隅田佐知, 安東信行, 松尾浩一郎, 穂坂一夫, 小笠原 正 (障歯誌 **30** : 346, 2009)

第58回日本口腔衛生学会総会, 2009年10月

生活習慣調査票における歯科保健項目への項目反応理論による解釈: 中根 卓, 柳沢 茂, 定岡 直, 小口久雄, 笠原 香, 八上公利 (第58回日本口腔衛生学会総会講演集 p35)

口腔粘膜細胞における炎症性サイトカイン誘発性一酸化窒素産生に対するAHCCによる抑制効果の研究: 八上公利, 定岡 直, 西澤幹雄, 代田達夫, 笠原 香, 中根 卓, 矢ヶ崎雅, 柳沢 茂 (第58回日本口腔衛生学会総会講演集 p29)

第69回松本歯科大学学会, 2009年11月

チタンインプラント表面加工の違いによる骨形成促進効果のin vivoにおける組織学的研究: 八上公利, 伊藤和也, 中村美どり, 村上広樹, 宇田川信之, 定岡 直, 中根 卓, 笠原 香, 柳沢 茂, 矢ヶ崎雅

その他の学術発表

17th International Symposium of AHCC Research Association. AHCC maintains the osteoblastic differentiation of mesenchymal stem cells, inhibiting NO production by the inflammatory cytokines. Yagami K, Nishizawa M, Shirota T, Yanagisawa S and Yagasaki T (2009年7月25-26日, ホテルロイトン札幌)

諏訪市歯科医師会医療安全講習会

医療安全とリスクマネジメント -GPにおける感染症対策-: 八上公利, 2009年9月18日, 諏訪歯科医師会館.

松本歯科大学推進研究費による研究

楊 静, 武 峰, 李 憲起, 上松隆司, 宮沢裕夫: ラット脛骨の成長に対してインプラント周囲新生骨形成の影響-in-vivo Micro-CTによる解析-